

第九十回帝國議會 院 勞働關係調整法案委員會會議錄(速記)第十回

付託議案

勞働關係調整法案(政府提出)

昭和二十一年八月六日(火曜日)午前
十時二十六分開議

出席委員

委員長 逢澤 寬君

理事 江崎 眞澄君 理事 瀧澤 修作君
理事 竹田 儀一君 理事 岡部 得三君
理事 古賀喜太郎君 理事 伊藤卯四郎君
理事 松岡 駒吉君

飯國壯三郎君

大内 一郎君

村上 勇君

川崎 秀二君

橘 直治君

山下 春江君

辻井民之助君

今村 等君

山下 榮二君

木下 榮君

出席國務大臣

司法大臣

內務大臣

商工大臣

厚生大臣

運輸大臣

大藏大臣

出席政府委員

內務事務官

司法事務官

厚生事務官

吉武 惠市君

厚生事務官 富樫 總一君

商工事務官 吉田梯二郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席者

議員 布 利秋君

本日ノ會議ニ付シタ議案

勞働關係調整法案(政府提出)

○逢澤委員長 ソレデハ是カラ會

議ヲ始メマス、前日ニ引續キマシ

テ通告順ニ依リマシテ中原健次君

ニ質疑ヲ許シマス、中原健次君

○中原委員 私ハ勞働關係調整法

案ニ對シマシテ御質疑ヲ申上ゲマ

スル前ニ、我ガ日本ノ一大轉換ヲ

致シマシタ「ボツダム」宣言ノ受

諾後ニ於ケル所謂日本民主主義化

ノ爲ノ急速ナル各方面ノ動向ノ中

デ、取分ケ勞働組合運動ガ其ノ日

本民主化ヘノ重大ナル任務ヲ擔當

致シマシテ今日ニ及ンダノデアリ

マスガ、其ノ勞働組合運動ガ日本

民主化ノ爲ニ占ムベキ地位トデモ

申シマセウカ、此ノ事柄ハ言フマ

デモナク、「マツカーサー」司令

部ノ其ノ初メノ指示ノ中ニモゴザ

イマシタヤウニ、日本民主化ノ爲

ニハ勞働組合運動ノ健全ナル發達

ヲ先ズ期待スル、又從ヒマシテ勞

働組合運動ソレ自身ノ中ニ、其ノ

役割ノ大イナルモノヲ求メルト云

フ意味ノコトガ言ハレタコトハ申

スマデモゴザイマセスガ、斯カル

意味ニ於キマシテ、勞働組合運動

ガ日本ノ新ナル出發ノ爲メノ重

大ナル、而モ絶對條件デアル日本

民主化ノ爲ニ占ムベキ役割或ハ地

位、寧ロ地位ト申シマセウカ、

ソレニ付キマシテノ當局ノ御所見

ヲ一應伺ツテ置キタイト考ヘル者

デアリマス、是ハ政府當局全體ニ

對スル御尋ネデアルデアリマス

ガ、偶々大臣ガ御奏ヲ見マセスノ

デ、厚生省當局ニ於ケル其ノ中樞

的ナ役割ヲ持ツテオイデニナル局

長カラ、取敢ズ其ノ點ニ付テノ御

所見ヲ承ツテ置キタイと思フノデ

アリマス

○緒テ私ガ御尋ネヲ申上ゲタイ次

ノ點ハ、先般來勞働關係調整法ノ

上程ヲ繞リマシテ、巷間色々ナ流

布ガナサレテ居ルデアリマスシ

テ、其ノ謂フ所ハ、即チ日本社會

黨ガ今日勞働關係調整法ニ對シテ

全面的ナ反對ノ態度ヲ示シテ居ル

ト云フコトニ付テ、ソレハ其ノ最

初ニ於テ政府當局ガ本法案ヲ審議

檢討致シマスル場合ニ、勞働關係

諸團體其ノ他各方面ノ有力者、或

ハ國內ノ輿論ニ之ヲ問ウテ決定シ

タノデアツテ、今更日本社會黨ガ

之ニ反對ノ意思表示ヲスルト云フ

コトハ何ダカ行キ方違フテ居ル

カナヤウナ誤解ガ流レテ居ルノデ

アリマス、私ハ是ハ甚ダ遺憾ニ存

ズル者デアリマスガ、ソレニ關シ

マシテ茲ニ當局ヨリ最初ニ示サレ

マシタ即チ勞働法制審議會ノ答申

ナルモノデアリマスガ、此ノ答申

書ニ依リマス、少數意見トシテ

茲ニ七項目ニ互ル意見ガ明記サレ

テ居ルノデアリマス、又主ナル各

論ノ點ニ於テモ少數意見ガ散見サ

レルノデアリマスガ、トモアレ此

ノ少數意見ナルモノハ其ノ内容ヲ

檢討シテ見マスルト、勞働關係調

整法案其ノモノト相對峙スル見解

デアルト私ハ信ズルノデアリマ

ス、隨ヒマシテ既ニ勞務法制審議

會内ニ於テスラ明カニ本法案ニ對

スル反對ノ意思表示ガアツタト私

ハ見ルノデアリマス、而モ其ノ少

數意見ノ反對論者トシテ茲ニ五名

ノ名前ガ擧ゲラレテ居ル、即チ勞

働組合總同盟ノ會長デアアル我々ノ

先輩松岡駒吉氏ノ名前ヲ筆頭ニ、

志賀義雄、加藤勘十、荒畑勝三、

又勞働科學研究所ノ勝本新次ト云

フ風ナ人々ノ名前ガ茲ニ見受ケラ

レルノデアリマスガ、トモアレ其

ノ少數意見ノ抱懷者ハ本法案ニ對

シマシテ、一ツノ例ヲ取ツテ申シ

マス、此ノヤウナコトガ言ハレ

テ居リマス、即チ「勞働組合運動

發足ノ緒ニ於ケル若干ノ混亂ヲ對

象トシ直チニ斯カル制約ヲ爲スコ

トハ彈壓ト謂フノ外ナク要ハ當事

者ノ健全ナル自主的訓練ニ俟ツベ

キモノナルコト、尙ホ原則トシテ

勞働者ハ不當ナル爭議行爲ハ法規

ノ有無ニ拘ラズ爲スモノニ非ザル

コト」斯ウ云フコトヲ其ノ少數意

見要旨ノ中ニ見出スコトガ出來ル

ノデアリマス、又其ノ次ニモウ一

ツ例ヲ取リマス「調停仲裁ノ手

續ノ如キハ勞働組合法ノ改正又ハ

其ノ施行令等ニ於テ之ヲ爲スミ

ク、公益事業及ビ官公吏等ニ付テ

ハ其ノ勞働條件他ニ比シ良好ナラ

ザルニ拘ラズ爭議權ヲ制限禁止ス

ルハ不當ナルコト」斯ウ云フ文字

ガ見出サレ得ルノデアリマス、サ

ウデアリマスナラバ常ニ繰返シテ

厚生大臣ガ口ニシテ居ラレマス

所調一般ノ輿論ニ之ヲ問ウタト云

フ事柄ガ結果トシテハ果シテ其ノ

一般ノ輿論ニ應ヘタル勞働關係調

整法案デアラウカ、斯ウ云フ疑問

ガ起ツテ參ルノデアリマス、斯様

ニ申シマスルト、ソレハ少數意見

ナルガ故ニ之ヲ採上ゲル必要ガ

ナカツタト云フ御答辯ガ或ハアル

カモ知レマセヌケレドモ、此ノ少

數意見ノ抱懷者ハ少クトモ我ガ日

本ニ於ケル勞働階級即チ本法案ヲ

適用サレルベキ管ノ範圍ノ、即チ

國民中ニ於ケル一千萬ヲ算スル勞

働階級ノ利益ヲ、サウシテ又勞働

階級ノ願念ヲ正シク代表シ得ル答

ノ人々デアルコトハ言フマデモゴザイマセヌ、サウデアルナラバ審議會内ニ於ケル縱シソレガ少數意見デアツタニ致シマシテモ、職ツテ其ノ少數意見ノ背景ヲ考ヘマスナラバ、寧ロハ多數者ノ意見ヲ代表スル少數者ノ意見デアツタ、斯ウ云フ見解モ亦無理デハナイト私ハ考ヘル者デアリマス、隨ヒマシテ此ノ審議會ノ委員ノ構成等勿論ハ問題ニナリマスガ、此ノ審議會ノ決定ヲ絕對トハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テサウ云フ動キ、サウ云フ法案ニ對スル批判ガ茲ニ見出サレルト致シマスカラバ、本法案ヲ御作成ニナリマスル場合ニ先ツ以テ此ノ勤勞大衆ヲ眞實ニ代表スルデアラウ所ノ此ノ少數者ノ意見ヲ十分考慮シ採リ入レテ態度ヲ決定スベキコトコソガ所謂民主的ナ政府ノ當然爲スベキ態度デアルト私ハ考ヘル者デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ政府當局ハ此ノ少數意見ニ對シテドノヤウナ取扱ヒヲナサレタカ、此ノ點ヲ私劈頭ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、當時ノ大臣ハ樋カ芦田均氏デアツタト思ヒマスルガ、大臣ハ送リマシタガ、厚生省當局ハ依然トシテ其ノ儘ノ繼續デアアルコトハ言フマデモナイノデアリマシテ、願クハ厚生省當局ノ責任アル御答辯ヲ求メタイ考ヘル者デアリマス

○吉武政府委員 只今中原サンカラノ御質問デアリマスルガ、第一點ハ「ボツダム」宣言ニ基ク日本ノ民主化ニ於テ勞動組合運動ノ占ムル地位ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ御話デゴザイマス、私共モ民主化ニ於テ勞動組合運動ト云フモノガ非常ニ重要ナ地位ヲ占メテ居ルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論民主化ニ付テハ單ニ勞働關係バカリデナク、政治經濟行政文化各般ニ互ル問題ニ付テ檢討ヲ要スル問題デアリマスルノデ、唯勞動組合ダケト云フ譯ニハ參リマセヌガ、勞動組合運動ト云フモノガ其ノ主要ヲ要素ヲ占メテ居ルト云フコトハ私共モ考ヘテ居ルコトデアリマス、隨ヒマシテ勞動關係ノ法制ト致シマシテハイノ一番ニ昨年ノ暮ノ議會ニ之ヲ提案ヲ致シマシテ目下實施ヲシテ居ル譯デアリマス、既ニ三月一日カラ實施致シマシテ組合數モ八千ヲ超エ組合員モ三百萬ヲ超エントスル發展ヲシテ居ルト云フコトハ私共モ非常ニ喜ンデ居ル所デアリマス

次ニ本法案ニ對シテ勞動者ノ反對ガアルニモ拘ラズト云フ御意見デアリマスルガ、御話ノヤウニ法案ヲ制定致シマスルニ付キマシテハ、勞務法制度審議會ニ今年ノ一月カラ掛ケマシテ、其ノ後小委員會等ヲ開催シテ數箇月ニ互ツテ實ハ審議會ヲ重ネ、關係方面トモ詳細ナル打合せヲシテ居ツタノデアリマス、其ノ間勞動關係ノ方々ノ御意見モ勿論聴キ、之ヲ尊重シ採リ入レ、勞動者側ダケノ意見ニ依ツテハ出來上ツテ居リマセヌケレドモ、其ノ間ニ於テ勞動者側ノ御意見モ十分實ハ採リ入レナガラ作ツテ來タノデアリマス、唯御話ノ如ク、最後ノ勞務法制度審議會ニ於キマシテハ、勞動者側代表ハ全部反對ヲサレマシタ、此ノ點ハ事實デゴザイマスシ、又私共ノ甚ダ遺憾ニ思ヒ、残念ニ思ツテ居ル所デアリマスケレドモ、其ノ間ニ於キマシテハ、我々ハ出來ルダケ勞動者側ノ御意見モ聴キ、之ヲ尊重シナガラ實ハ來テ居リマス、只今御指摘ニナリマシタ少數派トシテノ意見、是等モ我々ハ決シテ之ヲ無視シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、一ツノ意見トシテ御述べニナリマシタ勞働爭議、爭議權ト云フモノハ基本的ナ人權デアアルカラ之ヲ制限スルノハ宜シクナイト云フ御意見デアリマス、我々ハ基本權ヲ無暗ニ制限シヨウト云フ考ヘハ毛頭ゴザイマセヌ、厚生大臣ガ屢々申シマシタヤウニ、公益擁護ノ爲ニハ憲法自體ニ於テモ考ヘテ居ル所デアアルカラ、最小限度ノ制限ハ已ムヲ得ナイ所デ、我々ハ此ノ法案ニ於テモ出來ルダケソレヲ制限シヨウト云フ努力ヲシテ居リマス、昨日來御審議會ニナリマシタ公益事業ノ指定モ、政府ガシヨウカト思ツタ時、指定シヨウト云フテモ、コソナニ勞動者側ノ過半數ノ、同意

ガナケレバ指定ガ出來ナイヤウデドウスルカト云フ御叱リモアリマシタガ、是等ノ點モ我々ハ無闇ニ擴ガルコトヲ避ケタイト云フ努力ノ一端デアリマス

次ニ、此ノ法律ヲ無理ニ出サナクテモ組合法ノ改正デ出來ルデヤナイカト云フ御意見、是ハ唯手續ナリ或ハ立法形式ノ相違ダケデアリマス、組合法デ改正シテ宜イモノナラバ、本法案デ手續ヲ決メルコトハ私ハ何等障礙ハナイモノデヤナイカ、斯様ニ存ジテ居ル譯デアリマス

尙ホ官吏ノ待遇改善等ニ於テ改善ノ方途ヲ講ジナイデ、斯ウ云フ法律ヲ作ルノハ宜クナイ、是ハ御尤モデアリマシテ、我々ハ此ノ法律制定ノ途中ニ於キマシテモ、官吏ノ待遇問題ガ偶々出デ居リマシタカラ、我々トシテモハ兎ニ角解決シナケレバイケナイト云ツテ努力モ致シテ居リマスガ、大體御承知ノヤウニ、七月分カラハ相當ノ改善ヲシテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ我々ハ足レリトハ考ヘテ居リマセヌノデ、今後ノ官吏ノ待遇改善ニ付キマシテモ、出來ルダケ努力シ、又ソレガ合理的ニ行ク方法ヲモ考ヘナケレバナラナイト存ジテ居ル次第デアリマス

尙ホモウ一點指摘サレテ居リマスル勞働保護法、或ハ勞働法ト云フモノヲ先ニ制定スベキデヤナイカト云フ反對論デアリマス、是モ

勿論勞働保護ニ關スル法律ヲ先ニ制定スル、急ガナケレバナラナイト云フ點ニ付キマシテハ御尤モデアリマスルガ、此ノ法律ガ出ナケレバ此ノ法律ガイケナイ、此ノ法律ガ出レバ是ガ宜イト云フダケノ反對ヲ、我々ハ之ヲ承服スル譯ニ行カナイノデアリマス、此ノ法律ハ度々申シマシタヤウニ、爭議ガ起ツタ場合、之ヲ如何ニシテ解決スルカト云フ、其ノ手續的ナ規定ガ一ツト、モウ一ツハ公益ヲ最小限度擁護スルト云フ點ニアルノデアリマスルカラ、公益擁護ノ爲ニハ、或ル程度必要ナモノハ制定ヲシテ行カナケレバナラナイト云フ感ジヲ持ツテ居ルノデアリマス、反對ノ意見ハ了承シテ居リマスルガ、何レモ大體ノコトハ私共採入レモシ、又考ヘテ居ル積リデアリマス、御諒承戴キタイト思ヒマス

○中原委員 反對、所謂少數意見ハ採入レテ居ルト云フ風ナ御言葉デアリマシタガ、是ハ洵ニ私遺憾ニ思フノデアリマシテ、採入レテ居レバ、モウト本法案ニ對シマスル根本的ナ所謂内容ノ相違ガ現ハレテ來ル筈デアリマス、斯様ニ信ズルモノデアリマス、内容ノ點ニ於テ、私ハ少數意見ノ指摘致シタ所ガ考慮サレテ居ラナイト云フコトハ、如何ナル言葉ヲ以テ致シマシテモ、之ヲ説明スルコトハ出來ナイト思ヒマス、問題ハ現實ナノデアリマシテ、所謂勞動關係調整

法ノ内容ヲ檢討致シマスルト、只今指摘致シマシタ一、二ノ點ニ付テモ勞働關係調整法ハ、何等ノレヲ考慮スルコトナク、ヒタ進ミニ最初ノ制定意圖ノ儘ニ突進シダモノデアルト云フコトガ考ヘラレマス、眞實ニ民衆ノ、取分ケ關係勞働大衆ノ要望或ハ意見ヲ斟酌スルコトガ出來タノデアリマスルナラバ、本法案ガ又生レ出デヤウ管モナカツタノデアリマシテ、此ノ點ハ唯公益云々ノ言葉ニ依ツテ一切「カバ」シ盡シテ、合理化セントスル努力ニ依ツテ一般ヲ納得セシメントスル當局ノ態度デアルト云フコト以外ニ考ヘラレマセヌ、私御尋ネテ致シタイ順序ガ可ナリ狂ツテ參リマスノデスガ、厚生大臣ガ今暫クノ時間デ御出席ニナルト云フ御話ガアリマスルト、司法、内務關係ノ政府委員ガ只今御出席デアルト伺ヒマスノデ、問題ヲ一足飛びニ致シマシテ、兩省關係ノ問題ニ觸レテ質問ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ最近勞働運動ノ動キニ對シマシテ、政府當局ハ急速ニ勞働運動壓殺ノ方針ニ態度ヲ轉換シタト云フ嫌ヒガ見エルト云フコト、ソレデアリマス、勞働組合運動ノ健全ナル成長ヲ眞實ニ念願サレルノデアリマスルナラバ、恐ラク行過ギノ取締リ、或ハ無理解ナ彈壓的ナル態度ハ生レテ來ナイ等デアルト私ハ信ズルモノデアリマスルガ、遺憾ナガラ最近

起リマスル一、二ノ例ヲ以テ之ヲ考ヘマスル時ニ、政府ガ急速ニ所謂資本ノ攻勢ニ協力致シマシテ、勞働階級ノ已ムニ已マレザル一ツノ爭議行爲ニ對シテ、之ヲ徒ラニ暴動視致シテ、無理解ナル迫害ガ其ノ上ニ加ヘラレツ、アルコトヲ思フデアリマス、其ノ最モ手近ナ例ヲ指摘致シマスルト、先般讀賣新聞ノ爭議ニ關聯致シマシテ、其ノ讀賣爭議ノ場合、之ヲ彈壓セント警察當局ノ執リマシタ措置、是ハ既ニ何人モ能ク承知スル所デアリマスガ、其ノ當時警察官ガ讀賣新聞ノ社内ニ入り込ミマシテ、暴力ヲ以テ従業員ヲ押ヘ付ケ、又中ニハ「ステッキ」ヲ首ニ引掛ケテ引摺リ廻シタト云フコトモ聞イテ居リマスルガ、聞クニ堪エナイ、見ルニ忍ビナイヤウナ、會ツテ軍國主義政府ガ指導致シマシタ當時ノ取締方針其ノ儘ノコトガ、現在ノ段階ニ於テ尙且繰返ハサレタコトガアツタノデアリマス、其ノ時慥カ五十數名ノ爭議團員ヲ檢束致シマシテ、其ノ中カラ五名デアリマシタカ、六名デアリマシタカラ起訴シタト云フ出來事ガ未ダ尙ホ耳ニ新タナルモノガアルノデアリマス、私共勞働階級運動ノ健全ナル發達、勞働階級運動ノ民主主義化ニ於ケル役割ヲ固ク信ジマスル者ハ、斯様ナ不祥ナル問題ニ對シマシテ、寧ロ斯カル問題ヲ激發致シタ其ノ對象ニ對シマシテ憎

惡ヲ、或ル意味ニ於テハ復讐ノ念サヘ感ズルモノデアリマス、而モ其ノ起訴致シマシタ六名ハ、其ノ結果ドウ云フ風ニナリマシタカ、此ノ點ニ付テ私、非常ニ氣遣ツテ居リマスルガ、私凡ソノコトハ聞イテ居リマスルガ、的確ナルコトヲ承知致シマセヌノデ、是ハ司法當局ニ此ノ六名ノ被起訴者ノ始末ガドノヤウニ落付イタカト云フコトヲ承ツテ置キタイ、又内務當局ニ對シテハ、先ニ申シタ警察官ノ暴行沙汰ニ付テ、内務當局ハドノヤウニ之ヲ御覽ニナツテオイデニ直接用ヒルコトヲ避ケテ、暴力團ヲ驅立テテ職場ニ之ヲ亂入セシメルト云フコトヲ聞及ンデ居ルノデアリマス、此ノヤウナ事柄ハ御承知デアルカナイカハ存ジマセヌケレドモ、假ニモ神聖ナル生産職場ノ中ニ暴力團ガ亂入シタト云フ出來事ハ、如何ナル寛容ナル氣持ヲ以テ臨ミマシテモ之ヲ許スコトハ出來難イノデアリマス、之ニ付キマシテ當局ハドノヤウナ御見解ヲ持ツテ居リマスカ、或ハ其ノ眞相ニ對シマシテ、ドノ程度マデノコトヲ御存知デアルカ、是モ承ツテ置キタイト存ジマス、是ハ獨リ讀賣新聞ダケノコトデハゴザイマセヌ、九州ノ三菱關係ノ鑛山ニ於テモ、先般大量ノ幹部ノ檢束騒ギガ起ツタコトヲ新聞紙ヲ通シテ聞キ及ンデ居リマスガ、此ノ檢束騒ギ

ト云フモノハ、唯表面ノ文字或ハ言葉ダケカラ受取りマス、已ムヲ得ズ其ノ身體ヲ保護スル爲ニ或ハ其ノ混亂ヲ取鎮メル爲ニ致シタル檢束ノ執行デアルト云フ風ニ説明サレルカモ知レマセヌケレドモ、決シテ眞相ハ其ノヤウナモノデハナイコトガ屢々ナデアリマス、此ノ檢束ト云フコトハ、言ヒ換ヘマスト所謂被支配階級ノ自由ナル行動ヲ、支配階級ノ意思ノ儘ニ引摺リ行カントスル爲ノ、所謂彈壓政策ノ一ツノ現ハレデアルト云フコトハ、私共其ノ長イ經驗ヲ通シテ十分承知致シテ居リマス、恐ラク三菱關係鑛山勞務者諸君組合ノ幹部ノ檢束事件ニ付キマシテモ、之ヲ其ノ現場ニ就イテ詳細ニ調べマシタラ、恐ラク許シ難キ事實ガ發見サレルデアラウト私ハ固ク信ジテ疑ヒマセヌ、甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、從來執リ來リマシタ政府當局ノ、依然トシテ軍國主義時代ニ於ケル政府ノ方針ヲ完全ニ拂拭シ去ルコトノ出來ナイ當局トシテハ、屢々繰返サレ易イコトナノデアリマシテ、斯様ナ出來事ニ付テ内務、司法兩當局ノ御見解ヲ一應伺ツテ置キタイト考ヘマス

○佐藤(藤)政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ、司法當局ノ御答ヘヲ致シタイト思ヒマス、先般讀賣新聞ノ爭議ニ關聯シマシテ、暴行騒擾等ガ起キマシテ、其ノ不祥事ニ當ツテ數名ノ被告人ニ付テ起訴ヲ見ルニ至リマシタコトハ洵ニ遺憾ナコトデゴザイマシタ、此ノ事件ノ公判ノ進行ニ付キマシテハ、目下取調中デアリマシテ、其ノ處分、成行等ニ付テハ、マダ分ツテ居リマセヌケレドモ、其ノ被告人ノ身柄ハ既ニ保釋中ノヤウニ報告ヲ受ケテ居リマス、尙ホ九州其ノ他ノ方々ニ起キマシタ勞働爭議ニ關シテ、内務省當局ノ官憲ガ爭議ニ彈壓ノ方針ヲ以テ臨ンデ居ルノデハナイカト云フヤウナ御意見ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、左様ナコトハ決シテナイノデアリマス、勞働組合法ニ於テ、勞働組合ノ健全ナル發達ノ爲ニ御互ヒニ勞働者ノ地位ノ向上、日本ノ經濟ノ興隆ノ爲ニ盡サナケレバナラヌ、サウ云フ目標ノ下ニ取締リヲ致シテ居ルノデアリマシテ、正當ナル爭議行爲ニ付テハ、決シテ干渉スルトカ、或ハ彈壓スルトカ云フコトハ毛頭ナイト存ジテ居リマス

○谷川政府委員 只今ノ司法當局ノ答辯デ、大概ヲ盡シテ居ルト思フノデアリマスガ、御尋ネノ點ニ付キマシテ、簡單ニ御答ヘヲ致シタイト思ヒマス、勞働運動ノ健全ナル發達ニ對シマシテハ、私共衷心カラ之ヲ望ンデ居ル所デアリマシテ、寧ロ警察當局ト致シマシテハ、職務ノ上カラ申シマシテモ、此ノ事ヲ衷心ヨリ念願ヲ致シテ居ル譯ナノデアリマス、色々御指摘

ニ相成リマシタケレドモ、彈壓トカ、或ハサウシタ健全ナル發達ヲ啄ムトカ云フヤウナ意圖ハ更々持ツテ居ナイノデアリマシテ、寧ロ反對ニ健全ナル發達ヲノミ念願シテ居ルヤウナ次第デアリマス、個個ノ爭議ニ隨伴シテ起リマス不法行為ノ取締ニ對シマシテハ、十分慎重ニ研究致シマシテ、對處致シテ居ルノデアリマシテ、警察當局自體ノ考ヘデ單獨ノ行動スルト云フヤウナコトハ、嚴ニ戒メテ居ル所デアリマス、司法當局トモ十分連絡ヲ取り、又事態ノ推移ニ對シマシテモ、十分ナル注意、研究ヲ遂ゲマシテ、萬已ムヲ得ザル場合ニ限リマシテ是ガ取締ニ當ツテ居ルト云フヤウナ有様デアリマシテ、御懸念ニナツテ居リマスヤウナ彈壓トカ或ハ之ニ對シテ警察官ガ昔アツタヤウナ考ヘデ進ンデ居ルト云フヤウナコトハ毛頭ゴザイマセヌノデ、此ノ點ハドウカ御諒解ヲ戴キタイト思ヒマス

○中原委員 私ハ政府ノ答辯ヲ伺ツテ居リマス間ニ感ジタコトデアリマスガ、言行一致ト云フ、實ニ簡單ナ慣習ノナ言葉ヲ思ヒ出スノデアリマス、言葉ト實際トガ屢々一致シテ居ラナイ、成程言葉タカニ付テ受取りマスナラバ洵ニ立派デアリマス、併シナガラ政府當局、殊ニ御答辯ニ關シテ私ガ特ニ御願ヒ致シタイ事柄ハ、上手ニ答辯スルト云フコトハ避ケテ戴キタ

イ、眞實ヲ以テ答辯シテ戴キタイノデアリマス、隨ヒマシテ只今御尋ね申上ゲマシタ中デ、私が最も重要視シテ居リマス暴力團ノ驅逐ニ關ルノ問題デアリマスガ、之ニハ聊カモ觸レテ戴ケナカッタノデアリマス、此ノヤウナ行方ハ見様ニ依リマス、警察官ガ先頭ニ立ツコトハ餘リニモ露骨ニ過ギルノデ、關聯性ノアル暴力團ヲ以テソレニ代行セシメル、斯ウ云フコトハ從來屢ミアツタコトデアリマスガ、又今回ノ讀賣爭議ニ於テモ、サウ云フ意圖ノ下ニ派遣サレタ暴力團デハナカラウカト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、本當ニ肚ヲ打割ツタ御答辯ガ求メタイノデアリマス、當局ノ御話ノヤウニ、健全ナル發達ヲ冀フ點ニ於キマシテ何人ニモ讓ラナイ當局ノ熱意ガアリマスナラバ、縱シ此ノ爭議ノ中ニ如何様ナル口實ガ見出サレタニシテモ、暴力團ヲ派遣シテ之ヲ驅逐セシメルト云フヤウナ事柄ヲ、何ガ故ニ看逃スノデアルカ、私ハ了解ニ苦シムモノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ答辯ヲ勇敢ニ其ノ儘率直ニ煩シタイト考ヘルノデアリマス

○谷川政府委員 如何ニモ警察ガ自分ノ責任ヲ回避スル爲ニ暴力團ノ使用ヲ事業主側ニ逡巡スルガ如キ御尋ねデアツタヤウデアリマスガ、全クソナ考ヘハ持ツテ居ナ

イノデアリマシテ、我が日本警察ハ今非常ナ窮境ニアルト雖モ、左様ナ卑怯ナモノデハナイト私ハ確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、繰返シテ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、警察ノ立場ハ何モ罷業者デアルトカ、事業主デアルトカ云フノデ、片方ダケヲ取締ルト云フ意圖ハ更ニナインノデアリマシテ、事業主デアリマシテモ、或ハ罷業團關係者デアリマシテモ、其ノ關係者ガ法ヲ犯スト云フヤウナ場合ニノミ取締ヲ致スノデアリマシテ、決シテ、依估量員ト云フヤウナコトハナイノデアリマシテ、此ノ點ハ能ク御諒解置キテ願ヒタイト思フノデアリマス、又爭議ノ對抗ノ一手段ト致シマシテ、事業主ガ暴力團ヲ使用致シテ居タト云フ事例モアルノデアリマス、最近モサウ云フヤウナ問題ガ發生ヲ致シマシテ、是ガ取締ニ努力ヲ致シテ居リマスルケレドモ、ソレガ今申上ゲマシタヤウニ、法ニ觸レルト云フヤウナ場合ニハ、警察ハ凡ユル力ヲ傾注致シマシテ、是ガ取締ノ任ニ當ル覺悟デゴザイマス

○中原委員 御説ハ能ク分ルノデアリマスガ、實際ガ一向解決致シマセヌ、暴力團ヲ警察ガ利用シタカ資本主ガ之ヲ利用シタカハ別ト致シマシテ、少クトモ暴力團ガ神聖ナル當ノ工場ノ中ニ、職場ノ中ニ闖入致シマシテ、暴行沙汰ヲ致シタト云フ事實アルノデアリマ

スガ、之ニ對シテ當局ハドノヤウナ御處置ヲナサツタカ、之ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○谷川政府委員 讀賣爭議ノ内容ニ付キマシテハ、事細カニ報告致シタイト思フノデアリマス、中ニハ非常ニ針小棒大ニアルコトナイコトヲ傳ヘラレテ居ルヤウデアリマシテ、非常ニ遺憾ト致シテ居ルノデアリマス、今御指摘ニナリマシタ爭議中ニ於キマシテ暴力團ガ暴力ヲ以テ爭議團或ハ爭議團ノ相手方ニ非常ナ壓迫ヲ加ヘタト云フ事實ガアリマスレバ、是モ能ク取調ベマシテ又御報告申上ゲタイト思ヒマスガ、今此處デハウツキリシタ記録ヲ持ツテ居リマセヌノデ、ハツキリシタコトヲ後刻御報告申上ゲタイト思ヒマス

○中原委員 色々内部的ニ「デリケート」ナ事情アルカノヤウナ御言葉デゴザイマシタガ、或ハサウデアアルカモ知レマセヌ、併シナガラ此ノ暴力團ノ取締云々ト云フコトニ付キマシテハ、未ダ尙ホ之ニ付テ此ノ場所デ御發表ガシ難イヤウナ複雑ナコトガアラウトモ考ヘラレマセヌ、少クトモ、其ノ先ニ於テハ五十餘名ノ爭議團員ヲ檢束シ、六名ヲ起訴マデ致シマシタ當局ガ、即チ此ノヤウナ嚴重ナル取締ヲナサツタ當局ガ暴力團ノ闖入ニ對シテハ只今ノ御答辯ノ如キ洵ニアヤフヤナ心ヲ以テ之ヲ御覽ニナラレルト云フコトハ、甚ダ私

ハ遺憾ニ存スルノデアリマス、此ノヤウナ事柄ハ、言換ヘマスナラバ、ヤハリ我々勞働階級ニ屬スル者ハ、斯クノ如キ政府ノ態度ニ對シテ納得シ難イモノヲ窺ヒ得ルノデアリマス、眞實ニ此ノ問題ニ對シテ誠意ヲ御持チデアリマスナラバ、所謂資本ニモ味方セズ勞働ニモ味方セズ中正公平ナル立場デ之ヲ取締ルト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、其ノコトガ眞實デアルナラバ、縱シ勞働者ニ對シテ加ヘタソレガ迫害デアツタニ致シマシテモ、ヤハリ勞働者ニ加ヘタ當局ノ取締方針ト同ジ方針ヲ以テ暴力團ニモ臨マルト云フコトデアツテコソ、初メテ公正妥當ナル政府當局ノ態度デアルト云フコトガ立證セラレルト私ハ考ヘルモノデアリマス、此ノ點ハ洵ニ遺憾デアリマシテ、若シ許サレルナラバハツキリ明白ナ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマスガ、只今ノ政府委員ノ御言葉デハ何ダカ所謂奧齒ニ物ノ挾マツタヤウナ感ジデアリマシテ、明確ニ此ノ點ヲ此處デ公表スルコトハ出来難イカトモ想像出來ルノデアリマスガ、若シサウデアリマスルナラバ御答辯ヲ此ノ場合求メナイコトニ致シマス、取敢ヘズ最後ニ内務、司法兩當局ニ御願ヒヨシテ置キタイノデアリマスガ、勞働組合運動ハ言フマデモナク勞働組合第一條ニ依ツテ、善良ナ意圖ノ下ニ行使サレテ居ル譯

ハ遺憾ニ存スルノデアリマス、此ノヤウナ事柄ハ、言換ヘマスナラバ、ヤハリ我々勞働階級ニ屬スル者ハ、斯クノ如キ政府ノ態度ニ對シテ納得シ難イモノヲ窺ヒ得ルノデアリマス、眞實ニ此ノ問題ニ對シテ誠意ヲ御持チデアリマスナラバ、所謂資本ニモ味方セズ勞働ニモ味方セズ中正公平ナル立場デ之ヲ取締ルト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、其ノコトガ眞實デアルナラバ、縱シ勞働者ニ對シテ加ヘタソレガ迫害デアツタニ致シマシテモ、ヤハリ勞働者ニ加ヘタ當局ノ取締方針ト同ジ方針ヲ以テ暴力團ニモ臨マルト云フコトデアツテコソ、初メテ公正妥當ナル政府當局ノ態度デアルト云フコトガ立證セラレルト私ハ考ヘルモノデアリマス、此ノ點ハ洵ニ遺憾デアリマシテ、若シ許サレルナラバハツキリ明白ナ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマスガ、只今ノ政府委員ノ御言葉デハ何ダカ所謂奧齒ニ物ノ挾マツタヤウナ感ジデアリマシテ、明確ニ此ノ點ヲ此處デ公表スルコトハ出来難イカトモ想像出來ルノデアリマスガ、若シサウデアリマスルナラバ御答辯ヲ此ノ場合求メナイコトニ致シマス、取敢ヘズ最後ニ内務、司法兩當局ニ御願ヒヨシテ置キタイノデアリマスガ、勞働組合運動ハ言フマデモナク勞働組合第一條ニ依ツテ、善良ナ意圖ノ下ニ行使サレテ居ル譯

デアリマス、隨ヒマシテ労働組合ガ當然其ノ労働權確認ノ建前ニ於キマシテ、團結權、罷業權ガ茲ニ法的ニ確認サレテ居ル場合デアリマスルノデ、此ノ労働組合運動ガ正常ニ發達スルト云フコトナラバ、此ノ與ヘラレマシタ労働權ノ保護ノ爲メノ團結權、罷業權ノ行使ニ付テハ之ヲ極力保護育成スル、即チ政府ノ良キ取計ヒニ依ツテ之ヲ逸脱セシメルノデハナクシテ、正シク成長發展セシメルト云フコトノ保護的ナ氣持ガソコニ溢レテ居ルコトヲ必要トスルノデアリマシテ、労働階級ガ團結致シマシテ俄カニ爭議行爲ニ移ツタト見ルヤ、直チニ之ヲ暴徒的ナ行爲デアルカノ如クニ斷ズル傾キガ屢ミ政府ニ從來アツタノデアリマシテ、其ノヤウナ物ノ考ヘ方ハ此ノ民主主義ヘノ新タナ出發ニ際シテ、政府ハ本當ニ心カラ其ノ認識、物ノ見方、考ヘ方ヲ改メルトコトガ必要ダト云フコトヲ私ハ御願ヒシテ置キマス、屢ミ戰犯ノ追究等ニ於キマシテ、所謂間違ツタ「イデオロギー」ヲ持チ、間違ツタ考ヘヲ持ツ者ニ對シマシテ、重要ナル要職ニ就クコトヲ拒ム取扱ガアルコトハ、又サウ云フ意味ガアルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、如何ニ言葉ノ上デ公平ダト申シマシテモ、其ノ公平ハ又見方ニ依リマスルト不公平ニナルノデアリマス、本當ニ心カラ現在ノ

段階ヲ眞實ニ理解スルコトノ出來ルコトガ、政府當局ノ椅子ニ居ル人々ノ絕對條件デアルト云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマシテ、此ノ點ヲ要請致シテ置ク次第デアリマス、司法、内務ニ對スル質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス、更ニ前ニ戻リマシテ、厚生大臣ニ對スル御尋ネヲ續ケタイト思ヒマス、話ノ順序ガ妙ニナリマシタガ、一應簡單ニ第一ニ質問致シマシタ點ヲ厚生大臣ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、即チ勞務法制審議會ノ答申書ニ依ル少數意見ガ考慮サル、コトナク労働關係調整法案ガ提案サレタモノデハナイカト云フコトヲ御尋ネ致シノデアリマスルガ之ニ對スル局長ノ答辯ハソチラデ一ツ御引繼ヲ願ヒタイ、私ノ申上ゲヨウト致シマスル要點ハ、即チ労働大衆ノ如何ナル反對ノ意圖ニモ拘ラズ、本法案ヲ通過セシメ、本法案ノ施行ニ依ツテ労働階級ノ爭議權ヲ抑ヘ甚ダシキハ之ヲ剝奪セントスル所ノ方向ヲ辿リツ、アルコトニ付テ私ハ御尋ネヲシヨウト思フノデアリマス、労働階級ガ全面的ニ此ノ法案ニ反對シテ居ルト云フコトハ最早厚生大臣ハ能ク御存ジデアルト私ハ信ジテ疑ヒマセヌ、所謂巷ニ或ハ文書ノ上ニ其ノ他各種各様ノ場所ニ於テ、労働大衆ハ労働關係調整法案ガ労働階級壓殺法デアルト云フ意味ニ於テ、決定的ナ反對運動ヲ起シテ居

ルコトデアリマス、今私ガ拾ヒ上ゲマシタ反對運動ノ動キヲ見マスルト、一番私ノ手近イ岡山地方カラ始マリスマガ、六月十日、岡山地方民主團體協議會ハ勞務管理彈壓反對労働委員會ヲ開催致シテ、其ノ陳情書ガ多分縣知事ヲ通シテコチラヘ參ツテ居ルト考ヘマス、又其ノ次ニハ七月十五日ニ對議會闘爭東京中央労働者大會ハ、所謂楠公銅像前ニ集マリマシテ、労働者大會ヲ催シ、其ノ決議ヲ以テ衆議院ニ代表者ヲ送ツタコトハ御存ジノ通りデアリマスガ、其ノ當日厚生大臣、植原國務大臣ハ其ノ陳情團ニ直接御接見ニナツテ居リマスノデ、内容ヲ能ク御存ジト考ヘマス、引續キマシテ、七月二十二日ニハ、全國官公職員労働組合協議會ノ決議ガ手交サレテ居ルノデアリマス、又七月二十四日ハ全日本鐵鋼産業労働組合全國大會ノ決議ガ又同様ナコトヲ致シテ居リマス、更ニ八月三日ニハ日本労働組合總同盟ノ第二回全國大會ハ、此ノ問題ニ付キマシテ絕對反對ノ意思表示ヲ決議致シマシタ、又昨日議會ノ周圍ヲ取圍ミマシタ「デモンストレーション」ハ實ニ整然トシテ行ハレマシタガ、是亦等シク労働關係調整法案ニ對スル反對ノ示威運動デアツタノデアリマス、其ノ他數ヘテ參リマス皆様が御迷惑ニ感ゼラレル程澤山ノ事實ガアルノデアリマスガ、此ノヤウナ

國ヲ舉ゲテ労働大衆ガ本法案ニ何ガ故ニ決定的反對ヲシテ居ルカト云フコトヲ十分御認識ガ載キタイノデアリマス、唯馬耳東風のニ此ノ蜂起ヲ聞キ迷サレルヤウナコトガアリマスナラバ、是デ民主日本建設ヘノ熱意ガ燃エル當局デアルト云フコトガ言ヘルナラバ、私ハ矛盾撞着モ甚ダシキモノガアルト思フノデアリマス、少クトモ全労働大衆ハ徒ラニモノニ反對シテ、徒ニ事ヲ構ヘテ參ツタモノデハゴザイマセヌ、長イ歴史ガ之ヲ證明致シマスル如クニ、「ストライキ」ガ起リマシテモ、其ノ「ストライキ」ハ誰カガ申シマスルヤウニ少數利己主義者ガ之ヲ煽動指導シテ、徒ラニ世ヲ攪亂スルト云フ行爲デアルト云フヤウナコトヲ斷ズル、正ニ、「ドン・キホーテ」的ナル洵ニ時代錯誤ノ甚シキ認識ヲスル人モ中ニハアルノデアリマスルガ、私ハ左様ナコトハ寧ロ洵ニ笑止千萬デアルト考ヘル、實際労働大衆ガ一ツノ爭議行爲ニ移リマスル爲ニハ、或ハ一ツノ示威運動ニ移リマス爲ニハ、相當慎重審議、内部ニ於テ火花ノ散リヤウナ討論ノ結果、其ノ策ヲ決定スルノデゴザイマシテ、決シテ不和雷同的ニ事ヲナスモノデナイノデアリマス、凡ソ労働者程自己ノ行動ニ對シテ慎重ヲ期スル者ハナク、又労働者ヲ組織付ケマシタ労働組合程其ノ行動ニ對シテ責任ヲ感ズルモ

ノハ少イノデアリマス、是ハ長イ間ノ概念ヲ先ヅ新タニシテ載キタイト私ハ思フ者デアリマスガ、労働組合ヲ見ルニ當リマシテ、殆ド認識不足モ亦極端ニ甚ダシイ人ガアルコトヲ私ハ憂ヘルノデアリマス、此ノヤウナ意味ニ於テ労働組合ガ此ノ反對示威運動ヲ續ケテ居リマスルコトデアリマスルガ、是等ノ全國的ナ労働大衆ノ反對意思表示ニモ拘ラズ、當局ハ最初ノ御方針通りニ否ガ應デモ先ヅ兎ニ角此ノ法案ヲ通過セシメル、斯ウ云フ御見解ヲ御持チデアルト致シマスルナラバ、私甚ダ遺憾デアリマスルガ、政府ガ屢ミ仰セラレマスルヤウニ、多數者ノ幸福ノ爲ニスル政治ト云フコトガ果シテ當ルカドウカニ疑問ヲ持ツノデアリマス、何トナレバ此ノ一千萬ヲ算スル労働者ノ此ノ要求ニ對シマシテ、若シ假ニ國民投票ヲ以テ問フナラバ結果ガドウナルデアラウカ、私ハ恐ラク國民ノ多數者ハ此ノ労働大衆ノ血ノ悲痛ナル叫ビニ對シテ共感シ、之ニ賛同ノ意ヲ表示スルデアラウコトヲ信ジテ疑ヒマセヌ、斯カル見解カラ兎モアレ、此ノ労働階級ノ反對運動ニ對シマシテ、尙且ツ政府ガ本法案ヲ遮ニ無二押切ツテ通過セシメントスル御考ヘデアアルカドウカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイト考ヘルモノデアリマス

○河合國務大臣 只今ノ御質問ニ

御答へ致シマス、色々先日來陳情ノ御方ニモ御目ニ掛カツテ御趣旨モ聽イテ見マシタ、ソレカラ又言葉ハ八十ナカウツカモ知レマセヌガ、我々ノ考ヘテ居ルコトモ御話シテ見マシタ、數回色々面デ御目ニ掛カリ、又世間ノ色々ナ反對ノ聲ニモ深甚ナル注意ヲ拂ツテ聽イテ居リマスガ、ドウシテモ反對ノ御方ニハ誤解ガアルト信ジテ居リマス、ソレデ段々話シテ行ク中ニ、大分御分り下サツタノデヤナイカ、個人的ニ見マシテ……ト云フ氣持モ私共ノ胸ニ映スル所モアリマス、唯甚ダ期間ガ短カカツタノデ、ソレカラ斯ウ云フ混亂時代デアリ勞務調整法ノ内容ニ付テ世間ニ十分周知セシメルト云フコトノ出來ナカツタコト、及ビ私共ハ微力デアリマシテ、十分我々ノ誠意ヲ酌ンデ貰フコトガマダ十分デナイト云フ點ニ付テハ、甚ダ遺憾ニ感じ取入ツテ居ル次第デアリマス、是ハ正シイコトハ正シイ、是ハコ、マデノコトハ主張ハ正シイト思ヒマス以上ハ自ラ解ケテ來ルモノト云フ風ニ、ソコニ私共ノ信念ヲ持ツテ居リマス、其ノ線ニ於テ進ム積リデアリマス、ドウゾ其ノ意味ヲ御諒承ノ上、何卒此ノ法律ハ無事通過スルヤウニ御盡力ノ程ヲ希望スル次第デアリマス

テ居リマス、併シナガラ大臣ガ言ハレマスルヤウニ段々分ツテ來テ吳レタト思フ、即チ勞働者モ納得シツ、アル、斯ウ云フ風ナ御所見ノヤウデアリマスルガ、ソコニ問題ノ本質ガ變ツテ來ル原因ガアルト思フノデアリマス、決シテ勞働者ハ納得シツ、アリマセヌ、益々反對ノ意思ヲ固メツ、アル一方デアリマス、若シ是ガ大臣ノ御説明デ勞働者ガ納得シツ、アルノデアリマスルナラバ、ドノ勞働組合モ直チニ方向轉換ヲスルデアリマセウ、然ルニ私ノ耳ニ致シマスル範圍デ考ヘマスルト、官公廳關係ノ職員組合ノ諸君ハ若シ本法案ガ通過スルヤウナコトガアルナラバ已ムヲ得ヌ最後ノ手段トシテ業務管理ヲ敢テ致シテモ、此ノ法案ニ對シテ反對ノ意思表示ヲスルト云フヤウナコトヲ申シテ居ルシ、又決議モ致シテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、サウ云フコトガ事實デアリマスルナラバ、勞働者ハ而モ指導者ノ諸君ト能ク會ツテオイデニナル筈デアリマスルガ、指導者諸君ハ能ク諒解シツ、アルト云フヤウナ御見解ハ、甚ダ遺憾ナガラ厚生大臣ノ獨斷デアリマシテ、實相トハ相離ル、コト遠イノデアリマス、斯クノ如ク致シマシテ、各勞働團體ハ全勞働大衆ノ一舉立上リニ依リマシテ、決定的ニ此ノ勞働階級壓殺ノ勞務關係調整法反對ノ行動ニ移ルデアラウト云フコト

ハ、今ヤ豫想サレツ、アルノデアリマス、若シサウ云フコトガアリマシタナラバ、政府當局ハソレニ對シテ如何様ナル責任ヲ御執リニナルノデゴザイマセウカ、而モ極ク是元ノ内閣、本省内ニ於ケル職員組合諸君ガ、其ノ意思ヲ特ニ固ク致シテ居ルト云フ現實ヲ見マスルナラバ、恐ラク政府當局ハ、此ノ職員組合ノ諸君ガ必ズ移ルデアラウ所ノ業務管理或ハ爭議ノ態勢ニ對シマシテ、之ニ徒ラナル彈壓ヲ以テ臨ムコトハ勿論出來ナイコトデアアルト信ジテ居リマスルガ、若シサウ云フコトニ對シテ彈壓ヲ以テ致シマスルナラバ、是レ亦問題ハ更ニ發展致シマシテ、國內ニ大騷動ガ起ラヌトモ限ラナイ、況ヤ左様ナ暴ナル方法ニ出ラレルトハ考ヘラレマセヌガ、此ノ業務管理ハ、言フマデモナク勞働組合ノ諸君ガ、自ラ責任ヲ持ツテ、秩序トサウシテ能率ノ業務管理ヲ遂行スルコトハ、今カラ豫想スルニ難クアリマセヌ、會テ東京都廳關係ノ諸君ノ業務管理ニ其ノ經驗ヲ見ル如ク、寧ロ是等關係者諸君ハ、ヨリ立派ナル業務ノ遂行ヲヤルデアアラウコトガ期待サレルノデアリマスルガ、何ハトモアレ、此ノ業務ニ依ツテ政府ノ理解ナキ此ノ法案ニ對スル態度ニ抗議スルト云フコトガ起リマスルナラバ、如何ナル御信念ニモ拘ラズ、現實ハ極メテ冷嚴デアリマス、此ノ冷嚴

ナル現實ハ、政府當局ニ對シマシテ不信任ノ抗議ヲ致スデアラウコトハ言フマデモゴザイマセヌ、ソレデモ尙且ツ之ヲ押切ルト云フコトガアリマスルナラバ、是ハ言フマデモナク勞務關係調整法案ヲ一方的立場カラ獨斷サレマシテ、即チ使用者的立場カラ獨斷サレマシテ、無理押シニ之ヲ勞務階級ニ強要スルモノデアアルト云フコトガ、結論トシテハ私ハ言ヘルノデハナイカ、萬一左様ナコトガ言ヘルト致シマスルナラバ、取りモ直サズ是ハ勞務階級ニ對シ、民主主義日本建設ヘノ意欲ニ燃エル勞働大衆ニ對スル惡意ノ挑戰デアアルト云フコトヲ私ハ中上ゲタイ、斯様ナコトヲ尙且ツ無視シテ、本法案ヲ固執ナサルト云フノデアリマスルカドウカ、私ニ應念ノ爲ニ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○河合國務大臣 私共ハ、官公組合ノ諸君ハ、政府ノ斷定シテ居リマス非法ナル爭議行為ニ御入りニナルモノトハ信ジマセヌ、此ノ日本ノ大切ナ時ニ、少數ノ官吏ガサウ云フ誤ツタコトヲナサイマシテ、國務ガソレニ依ツテ頓坐スル、停滯スルト云フヤウナコトハ是ハ國家ノ一大不祥事デアリマス、國民多數ト云フモノト、官廳ノ國務ト云フモノトノ間ニドレ位深イ關係ガアルカト云フコトハ、是ハモウ説明ヲ要セヌコトデアリマス、ソレガ少數ニ依ツテ動カサレルト云フヤウナコトニナリマス、國民一般多數ハ非常ニ迷惑シマス、サウ云フコトハ絕對ニ今ノ日本ノ國民トシテハアリ得ナイモノデアアル、ソコニ對シテ十分ナル自覺ヲ御持チダト私共ハ信ジテ居リマス、色々茲ニ不祥事ガ起キタコトヲ前提トシマシテ政府ノ責任トカ、之ニ對スル取締トカ云フコトヲ云爲スルコトヲ私ハ餘リ快シトセヌ次第デアリマス、左様ニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○中原委員 職員組合或ハ勞働組合ガ、特ニ官廳關係ノ場合ニ、業務ニ移ツテモ、國務ヲ滯留セシメ、混亂ニ陥レルト云フヤウナコトハナイト信ジテ居ル、斯様ニ伺ヒマシタガ、勿論サウデアリマス、私モ固ク此ノ點ヲ信ジテ居リマス、併シナガラソレガ打撃ヲ與ヘナイカラ、其ノ爭議方法ノ行使ガ、勞務關係調整法ニ對スル反對ノ意思表示デアアルト云フコトハ、同時ニ御考ヘニナラヌノデアリマセウカ、固ヨリ私共ハ業務或ハ生管等ニ付キマシテハ屢々論議サレタコトデアリマスガ、私等ソレヲ正シク認識スルダケノ明ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレガドウデアリマセウトモ、其ノヤウナ爭議行為ニ移ツタト云フ事柄ヲ無視シテハナラヌ、爭議行為ニ移ツタト云フ事柄ニ對シテ親切ナ、本當ニ心カラナル態度ガ表明サルベキデハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ

申上ゲルノデアリマス、更ニ厚生大臣ハ、以上ノヤウナ状態ニモ拘ラズ、労働者ハ此ノ問題ニ付テ之ヲ納得スルコトガ出来ルカドウカ、労働者ノ納得ヲ求メタイト云フヤウナ意味ノ御言葉ヲ洩ラシテオイデニナリマシタガ、御尤モデアリマス、併シナガラ労働者ハ果シテ能ク此ノ法案ヲ納得理解スルコトガ出来ルデアラウカ、其ノ御見透シヲ、クドイヤウデアリマシタガ、モウ一應承ツテ置キタイト思ヒマス

更ニ本法案ト致シマシテ、最モ重點ノ問題ニナツテ居リマス條項ハ、第八條、十八條、三十七條、三十八條ノ四ツガ、屢々繰返サレ、指摘サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ第八條ニ於ケル、所謂中央労働委員會ノ構成ノ問題デアリマス、中央労働委員會ガ公益事業ナリトスル決議ヲスルノ件、此ノコトガ屢々問題ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、現在ノ労働委員會ノ構成ニ付キマシテハ、私モ岡山地方労働委員會ノ委員ヲ致シテ居リマス關係上、或ル程度マデ内容ガ分ルノデアリマスガ、所謂中立委員ナルモノデアリマス、此ノ中立委員ト云フモノハ、果シテ純正ナル中立委員デアラウカドウカト云フ疑問デアリマス、是ハ從來ノヤウナ選定方法ヲ以テ致シマスト、嚴正ナル意味ニ於テノ中立委員ヲ求ムルコトハ困難デアリマ

ス、或ハ又或ル意味デハ中立ト云フコトヲ此ノ世ノ中カラ求メ出スト云フコトハ甚ダ困難アルカモ知レナイ、何レニ致シマシテモ、此ノ中立委員ノ銓衡ノ問題ニ付キマシテ、或ハ労働委員ノ銓衡ノ方法ニ付キマシテ、政府ハ從來執ラレマシタヤウナ方法ヲ以テサレタノデハ、之ヲ全般的ニ信賴シテ、其ノ委員會ノ決議ニ依ルナラバ已ムヲ得タイト云フ、納得ノ行ク決定ガ豫想サレナイノデアリマス、此ノ方法ニ付キマシテ、労働委員會ノ、特ニ中立委員ノ銓衡方法、並ニ労働委員ノ銓衡方法ニ付テノ政府ノ御所見ヲ此ノ際承ツテ見タイト考ヘマス

更ニ第十八條デゴザイマスルガ、此ノ様ナ意味ニ於テ銓衡サレマシタ労働委員會ガ即チ此ノ調停ノ問題ニ關シテ所謂關係當事者一方カラノ申請ニ對シマシテ労働委員會ガソレヲ採上ゲルト云フ第三項、或ハ第四ノ労働委員會ガ其ノ職務權限ニ於テ行フ必要ガアルト云フ場合ニ其ノ決議ヲシタ時、斯ウ云フコトガ調停ノ對象ニナツテ參ルト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ労働委員會ノ構成ハ愈々以テ公正ヲ期シ、飽マデ其ノ偏袒性ノナキモノヲラシメナケレバナラナイノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ一府労働委員會銓衡方法ニ付テノ政府ノ今日マデノ事柄ハ、今兎ヤ角申シテモ已ムヲ得マセスガ、是カ

ラ先ニ於ケル方針ニ付テノ御決意ヲ承ツテ見タイト考ヘマス
ソレカラ三十七條ノ所謂豫告爭議デアリマスルガ、是ハ實際問題ト致シマシテ、爭議ソレ自身カラ考ヘマスルト、洵ニ笑止千萬ナ規定デアリマス、三十日ノ豫告ヲ以テ爭議ニ移ルト云フヤウナコトハ、是ハ本當ニ爭議ヲ理解スル者ノ能ク言ヒ得ナイ所デアリマスルガ、兎モアレ政府ハ此ノ期間ヲ指摘明記シテ居ラレルノデアリマスルガ、實際問題ト致シマシテ、此ノ三十日ノ豫告ハ、言ヒ換ヘマスルト、是ハ爭議ノ態勢ノ期間中ヲ徒ラニ長カラシムル爲ノ制限デアル、斯ウ云フヤウナ思ヒガ致スノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ爭議ヲ獎勵スルト云フコトハ勿論我々考ヘテ居リマセスケレドモ、曩ニモ申シマス如クニ、爭議ト言ヒマスルモノハ已ムニ已マレザル必死の結果トシテ爭議行為ガ發生スルノデアリマス、其ノ實情ヲ十分御理解ガ戴ケマスルナラバ、私此ノ三十日ノ豫告爭議ノ問題ノ如キハ恐ラク多辯ヲ要スルマデモナク御理解ガ戴ケルデアリマセウシ、隨ヒマシテ原案ノ無理デアルト云フ點ヲ肯定シテ戴クコトガ出来ルデアラウ、斯様ニ信ズルノデアリマスルガ、此ノ點ハ如何デゴザイマセウカ、此ノ三十日ノ根據ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

三十八條ハ、是ガ今官公廳關係ノ從業員、職員諸君ノ最モ大キク氣ニ致シテ居リマスル點デゴザイマスルガ、所謂「公共團體の現業以外の行政又は司法の事務に従事する官吏云々」ト云フ條項ニ付キマシテ、此ノ「現業」ト云フコトニ對スル認識ガ甚ダ曖昧模糊タルモノガアルノデアリマシマシテ、前ニ御答辯モアリマシタノデ諒クハ申シマセスガ、兎ニ角此ノ様ナ重大ナ問題ハ此ノ境界ヲ思切ツテスツパリトモツト明カニスル方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ見解モ生レテ來ルノデアリマスルガ、何レニ致シマシテモ、サウ云フ混亂ヲ敢テ條文中ニ挿入シテ居ルト云フ所ニ本法案ノ摺ミ所ノ如何ニ不透明ナモノデアアルカト云フコトガ裏付ケラレテ居ルノデアルト考ヘマス、固ヨリ警察官吏、消防職員或ハ監獄ニ於テ勤務スル人々ニ付キマシテハ、勿論私モ甚ダ御氣ノ毒デアリマスルケレドモ、爭議權ヲ行使スルコトヲ遠慮シテ貫ヒタイト云フコトニ付テ同感デアリマスルガ、若シ此ノ條項ヲ茲ニハツキリ明記スルト致シマシタナラバ、勿論是ハ労働組合法ニモ明記サレテ居リマスルガ、此ノ場合はガ關係ノ官吏職員諸君ニ對シマシテハ、具體的ナ所謂生活保障ノ裏付ケガ伴フコトヲ必要トスルノデハナイカ、唯此ノ人々ガ爭議ヲシテハ罷リナラスト

云フ嚴命デケテ以テスルト云フコトハ、法律其ノモノノ不備ヲ自ラ暴露スルモノデアリナイカ、斯様ニ私ハ思フノデアリマス、勿論政府當局トセラレマシテハ是等警察官吏消防職員監獄ニ勤務スル職員等ニ對シマシテハ相當ノ考慮ハスル、又其ノ他ノ官公吏ニ對シマシテモ、其ノ待遇改善ニ付テハ十二分ノ心配ヲシテ居ルト云フ風ニ御答辯ニナルノデアリマスルケレドモ、私共唯一片言葉ヲ以テ之ヲ肯クコトガ出来難イノデアリマス、ソコデ本條項ノ前段ヲ若シ活カスト致シマスナラバ、此ノ三者ニ對シマスル生活保障ノ裏付ケヤハリ明文化セシメルコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フコトヲ私思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御所見モ一應參考マデニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、學校教職員ノ爭議權ノ問題ニ付キマシテ、罷業權ノ問題ニ關シマシテ、當局ノ執ラレマシタ態度ハ洵ニ結構デアリマシタ、私滿腹ノ敬意ト感謝ヲ捧ゲル者デアリマス、勿論學校教職員ハ其ノ職掌柄、其ノ人格ニ於テ、飽クマデ其ノ人格權ヲ高ク評價シ、之ヲ信用シテ寸毫モ誤リナキモノデアリマス、私ヲシテ言ハシメマスルナラバ、其ノ認識ヲ更ニ官公吏諸君ニマデ伸バスコトガナゼ出来ナイカ、政府當局ガ直接繋ガリノアル官公吏諸君ニ對シテハ教職員ニ對スル程度ノ人

云フ嚴命デケテ以テスルト云フコトハ、法律其ノモノノ不備ヲ自ラ暴露スルモノデアリナイカ、斯様ニ私ハ思フノデアリマス、勿論政府當局トセラレマシテハ是等警察官吏消防職員監獄ニ勤務スル職員等ニ對シマシテハ相當ノ考慮ハスル、又其ノ他ノ官公吏ニ對シマシテモ、其ノ待遇改善ニ付テハ十二分ノ心配ヲシテ居ルト云フ風ニ御答辯ニナルノデアリマスルケレドモ、私共唯一片言葉ヲ以テ之ヲ肯クコトガ出来難イノデアリマス、ソコデ本條項ノ前段ヲ若シ活カスト致シマスナラバ、此ノ三者ニ對シマスル生活保障ノ裏付ケヤハリ明文化セシメルコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フコトヲ私思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御所見モ一應參考マデニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、學校教職員ノ爭議權ノ問題ニ付キマシテ、罷業權ノ問題ニ關シマシテ、當局ノ執ラレマシタ態度ハ洵ニ結構デアリマシタ、私滿腹ノ敬意ト感謝ヲ捧ゲル者デアリマス、勿論學校教職員ハ其ノ職掌柄、其ノ人格ニ於テ、飽クマデ其ノ人格權ヲ高ク評價シ、之ヲ信用シテ寸毫モ誤リナキモノデアリマス、私ヲシテ言ハシメマスルナラバ、其ノ認識ヲ更ニ官公吏諸君ニマデ伸バスコトガナゼ出来ナイカ、政府當局ガ直接繋ガリノアル官公吏諸君ニ對シテハ教職員ニ對スル程度ノ人

格權ノ確認ガナゼ出来ナイカ、私此ノ點ヲ甚ダ遺憾ニ存スル者デアリマス、苟モ公共ノ事業ニ携ツテ居リ、或ハ官公職ニ居リマスル人入ニ對シマシテ、我々ハ今少シ信頼ト其ノ人格觀ノ深サヲ信じて行キタイト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ當局ハ依然トシテ其ノ信頼感ノ薄キガ故ニ官公吏諸君ニ對シテハ此ノ法律ヲ必要トスル、斯ウ云フ御見解ニナルノデゴザイマス、此ノ點ニ應承リタイト考ヘル者デゴザイマス

○河合國務大臣 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマスガ、段々斯ウ云フ風ニ議會デモ色々論議ノ的ニナリ、又段々此ノ法律ノ制定審議ニ伴ヒマシテ、此ノ法律ノ内容ガ何處ニアルカ、全ク國民大衆ノ利益擁護ノ一點以外ニ何モナイト云フ點ハ、段々私ハ分リツツ、アリ、又分ツテ下サルモノト思ツテ居リマス、又此ノ法律ハ實施サレマシテ、直グ其ノ翌日カラ施行サレル譯デモアリマセヌ、其ノ間周知期間モアリマセウシ、段々御分リ下サリ御納得下サルト云フコトニ對スル政府ハ確信ヲ持ツ次第デアリマス

ソレカラ警察官吏其ノ他ノ組合結成禁止乃至爭議禁止ノ人々ニ對シテ生活保障ノ裏付ヲスルカト云フ御話デゴザイマシテ、是ハモウ御尤モ千萬ナコトデアリマシテ、法律デ爭議權ヲ禁止スル以上ハ、

特ニ其ノ點ヲ考慮シテ行クベキコトハ當然ノコトト思ヒマス、併シ今マデ官公吏ノ待遇ト云フモノハ好クナカウツ、此ノ點ニ付テハ勿論遺憾ナ話デアリマス、過般モ相當上ゲタケレドモ、マダ勞働者ノ所マデ行カヌト云フコトハ御尤モデアリマス、併シ一面ニ於テハ國ガ立ツカ立タヌカ、「インフレ」ガドウナルカト云フヤウナ通貨膨脹ノ問題モ片方ニアリマスシ、財政問題モアリマスルシ、全體ヲ睨ンデ行カナクテハナラヌコトハ勿論デアリマスガ、併シナガラ生活擁護ニ對シテ遺憾ノナイ措置ヲ執ルコトモ勿論政府トシテ責任ヲ感ズル點デアルト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居リマス、唯問題ハ今度ノ憲法ニ依リマシテ生活保障ト云フコトハ、國民全體ニ對スル政府ノ責任トナツテ居リマシテ、引揚者ノ如キ或ハ戰死者、戰死者ノ遺族、寡婦、孤兒等今日非常ニ悲慘ナ氣ノ毒ナ環境ニオアリノ方ニ對シマシテハ、國ガ其ノ全體ニ付テ救護ノ手ヲ差伸ベテ行カナクテハナラヌ、或ハ失業對策或ハ生活保護法等、日本ハ今日「デモクラシー」ニナツタカラコソ、コママデ行クノデスケレドモ、是ガ戰前ノ考ヘヲ以テスレバ正ニ劃期的ナ法案ヲ作ラントシテ居ル、其ノ位保護ノ對象モ、亦生活保障ノ對象モ全般ノデアリマス、色々今日要望モ議論モ同階級ニ於テアリマスケレド

モ全般ニ萬遍ナク又十分満足ノ程度ニ行クコトノ出来ナイノハ皆サシ御承知ノ通りデアリマスガ、其ノ間ニ「バランス」ヲ取ツテ漸ク逐ツテ完全ナモノニシタイ生活保障、社會生活ト云フコトニ付テハ政府モ深ク心ニ期シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ學校職員ノ關係ニ付キマシテ、學校職員ハ人格ノ尊重ヲシテ「ストライキ」禁止ノ規定ハヤラヌ、是ハ宜シイ、ソコデ之ヲ公吏ニマデナゼ伸バサヌカ、勿論人格ノ尊重ト云フ點ニ於テハ學校職員バカリデナク、各官公吏職員ニ對シテモ同ジ念慮ヲ持ツテ居リマス、私共ニ緒ニ仕事ヲシテ居ルモノニ對シテモ、何ヨリモ第一、ニ人格ノ尊重ト云フコトデヤツテ居ル次第デアリマス、併シ此ノ法律ヲ作りマスノハ人格尊重トハ別問題デアリマス、之ヲ作ルカヲ人格ノ蔑視スルト云フコトデハナイノデアリマス、是ハ國家全般ノ利益ヲ擁護スル上ニ於テ必要デアルカラ、其ノ必要ノ程度ニ於テ、又其ノ性質ニ於テ官公吏職員ト學校職員トハ違フノデアリマス、官公吏ノ「ゼネスト」ハ勿論オヤリニナルトハ思ハヌガ、間々或ハ此ノ法律ヲ通スナラ「ゼネスト」ト云フ私共ガ懸クヤウナ聲サヘ聞クノデアリマス、ダカラ時代ノ變遷ニ依ツテ國民ノ輿論ガ政府ニ對シテ反響的ナ場合ニドウ云フコトガ起リヌトモ限ラヌ、其ノ

場合「デモクラシー」ニ依ツテ選出サレタ多數黨議員ニ依ル政府ガ顛覆スルコトニナリマス、少數者ガ多數者ノ「マジオリティ」ヲ無視スル、即チ「デモクラシー」ノ本質ニ背クト云フノガ此ノ法律ノ精神デアリマス、所ガ教員ハ假ニ不幸「ストライキ」ヲヤリマシテモ國務全體ノ停廢ト云フコトニハナラヌ、即チ政府顛覆ト云フコトニハナラヌノデアリマス、ソコニ性質上ノ差別ガアルノデアリマシテ、其ノ點デ問題ガ分レルト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス

○中原委員 言葉ハ洵ニ重寶デアリマシテ、成程本當ニサウ云フ御認識ヲ持チデアラウト信ジテ疑ヒマセヌ、併シナガラ若シ先ノコトマデ考慮シテ、國家ノ公益ノ爲ニト云フ此ノ觀點カラ、例ヘバ只今例ヲ御舉ゲニナリマシタヤウナ大衆ノ支持ヲ受ケテ議會ヲ構成シタ其ノ政黨ガ内閣ヲ組織スルヤウナ場合ガアツタ時ニ、少數ノ反對者、少數ノ惡質ナモノノ動ニ依ツテ官公吏職員ガ又サウ云フ「ゼネスト」的ナコトヲヤラナイトモ限ラナイト云フ憂慮ヲ籠メタ御話ヲ承ツタノデアリマスガ、若シ私ノ聽キ違ヒデアツタラ取消シマス、若シ聽キ違ヒデナカウツラ遺憾ナガラ私ハ大臣トハ反對ノ見解ヲ持ツテ居リマス、官公吏職員ガ國民大衆ノ支持ノナイ「ストライキ」或ハ爭議行為ニ移ルト云フコトハ寸毫モ考ヘラレナイ、少クトモ官公吏ガ爭議行為ニ移リマス場合ハ國民大衆ノ絕對的支持ヲ受ケテノミナサレルト信ジマス、又サウアルベキダト信ジマス、ソコニ私ハ官公吏ノ人格、品性、教養其ノ他ノ點ニ於テ教職員ト何等劣ルモノデナイコトヲ信ズルモノデアリマス、徒ラニ少數者ノ煽動ニ依ツテ國民ノ意思ニ反スル「ストライキ」ニ移ル、況ンヤ「ゼネスト」ヲ敢ヘテ敢行スルト云フヤウナコトガアル場合ヲ苟クモ想像サレルナラバ、大臣ガ只今申サレタ自分ハ官公吏職員ヲ信頼スルト云フ言葉ハ遺憾ナガラ虛言デアルト申サザルヲ得ナイノデアリマス、サウ云フ出マカセノ言葉ニ依ツテ本法案通過ノ爲メ十分ナ納得ヲセシメントスル程、ソレ程御立場ガ苦シイト云フコトヲ寧ロ御同情申上ゲマス、ケレドモ本法案ハ遺憾ナガラ如何ナル言葉ニモ拘ラズ全勞働大衆大反對ノ法案デアルト云フコトダケハ間違ヒモナイ、而モ國民大衆ノ公益ヲ害シ云々ト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、只今ノ論ヲ以テ致シマスナラバ、若シ已ムニ已マレヌ場合ガアリマシテ一ツノ爭議行為ニ移リマシテモソレハ公益ヲ紊亂シ、國ノ公務ヲ滯留セシメルヤウナ拙劣ナ、或ハ國民ニ反逆スルヤウナ方法ヲ以テ爭議行為ニ移ルモノデナイコトヲ私ハ深

勞務法制審議會出來マシタモノ
デアリマシテ、期間ガ短カカツタ
カラ民主主義的ト云フ點ニ於テ民
意反映ト云フ事ニ十分ナ點ガナ
カカツタハ或ハ言ヘルカモ知レ
マセヌガ、是ハ期間ガ短カカツタ
爲メデアリマシテ、手ハ盡シテ
居リマス、サウシテ私共モ只今ハ
誤ツテ政府ノ一員トナツテ居リ
マスケレドモ、斯ウ云フ問題ニ
對シマシテハ、本來ノ一野人ト
シテノ感覺、觸覺ヲ持ツテ此ノ
問題ヲ眺メテ居ル積リデアリ
マス、何トカ一ツササウ云フコ
トヲ言ハヌデ御協賛ヲ願ヒタイ
モノデアリマス、懇請致ス

次第デアリマス

○逢澤委員長 中原君ニ御諮リ
致シマスガ、此ノ問題ニ付キマ
シテハ、アナタハ途中カラ御代
リニナリマシタガ、此ノ委員
會ヲ始メテカラ相當詳論シテ居
リマスカラ、成タケ簡單ニ御願
ヒ致シマス

○中原委員 昨日大臣ハ世界
労働會議參加ニ付テ大體賛意ヲ
表サレタノデアリマス、私勿論
感謝シテ居ルノデアリマスガ、
世界労働會參加ガ加スルト云
フ出來事ハ、言フマデモナク日
本民主化ノ證左デアリマシテ、
此ノ事ナシニ、我が日本ノ民
主化ヲ日ヨリ民主化ヲ日ヨリ
ニスルコトハ出來難イト信ズル
者デアリマス、又世界ノ戰勝國
或ハ其ノ他ノ各國ガ日本ノ勞
働階級ノ動キニ對シマシテハ、
實ニ注意深キ關心ヲ以テ眺メ
テ居ル次第デアリマス

リマシテ、勞働階級ガ眞ニ世界ノ舞臺ニ登場致シマシテ、我ガ日本ノ所謂究極ノ活動ヲ全身ニ背負フノ自負ヲ以テ今後ハ活動スル管デアルト思ヒマスガ、果シテサウデアルトスルナラバ、此ノ勞働組合ノ健全ナル發達ヲ來ス所ノ途ハ如何ニ考ヘラレルカ、唯是モイケンアイアレモイケンイ、或ハ大臣ノ感覺ニ是ハドウモ法ニ觸レルカラ忽セニ出來ナイ、謂ハミ折角女房ヲ貰ツテ見タモノノ、ドウモ女房ガ心配デ金庫ニ每晚鍵ヲ掛ケルノ愚デハナイカト私ハ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ態度ヲ以テ勞働階級ニ臨ムト云フコトハ、今後トモ決シテ探ラザル所デアリタイト私ハ思ヒマス、寧ロ勞働組合運動ノ正常ナル發展ヲ來サシメルノ途ハ、先ツ勞働大衆ヲ其ノ勞働大衆ノ爲スベキ善意ノ行動ノ中ニ自由ニ解放スル、即チ勞働組合第一條ノ命ズル所ニ依ツテ其ノ行動ヲ解放スルニアリ、勞働組合ハ是ラ勞働組合第一條ノ精神ヲ把握致シマシテ、其ノ勞働組合第一條ノ精神ヲ過チナク擱ムコトニ依ツテ、勞働階級ノ所謂勞働組合運動ハ正常ニシテ發展ヲ遂ゲテ行ク管ナノデアリマス、其ノモノニ對シマシテ色々ナ手ヲ以テ、是ガ前方ニ横ハルガ如キ法案ヲ御制定ニナルト云フコトハ、私何トシテモ承服シ難イノデアリマス、而モ我ガ日本ニハマダ刑法ハ健在デ

アリマス、暴力行爲取締法モ健在デアリマス、勿論斯様ナ戰爭中ニ於ケル實ニ反動的ナ法律ハ明日ノ日ニモナクスベキデアルト信ジマスガ、トモアレ一定ノ公安ヲ保持スル爲メノ刑法ハ私ハ必要デアルト思ヒマスガ、兎ニ角刑法ガ健在デアル以上、ワザ／＼色々ナ法律ヲ作ツテ國民ヲ重壓スル必要ハナイ、現行刑事關係ノ法律ヲ以テ或ハ現在ノ制約付ケル色々ナ法令、命令、規則ハ寧ロ多クニ失ストモ民主主義ノ此ノ段階ニ於テハ、段々惡法或ハ惡令、惡規則ハ撤廢シテ行クベキガ本當デアルト考ヘテ居リマスガ、ソレデモ尙且ツ澤山ノ制約付ケル爲ノ法律、命令、規則ガアル、ダカラ其ノ點デハ大臣ガ御心配ニナルヤウナ手放シノ狀態デハナイノデアリマシテ、少クトモ現行法律ノ範圍内ニ於テ勞働組合ハ成長セントシテ居ルノデアリマス、斯カル時ニ此ノ法律ガ出マスルコトニ依ツテ、組合ノ正常ナル發展ガ阻害サレルト云フコトヲ私ハ固ク信ジマス同時ニ少クトモ此ノ法律ノ命令スル範圍ニ屬スル官公署等ノ關係ノ勤勞階級ハ、遂ニ法律ヲ適用サレナイ、勞働組合法ヲ與ヘラレマシタガ、之ヲ自ラノモノトシテ取上ゲテ行クコトガ許サレナイ狀態ニ陥入レラレントシテ居ルノデアリマス、折角出來マシタ日本民主化ノ根幹

ヲナス勞働組合ガ、而モ勤勞大衆ノ相當部分ニ適用サレナイ日ガ約束サレントシテ居ルコトハ、我ガ日本ノ勞働組合ノ健全ナル發達ノ爲ニ、私ハ歎カハシイ事柄デアルト存ズルモノデアリマス、之ニ付キマシテ大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○河合國務大臣 結局健全ナル勞働運動ノ發達ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、勿論是ハ出來ルダケ凡ユル方法ヲ講ズベキコトデアリマシテ、一面ニ社會教育ノ面ニモ非常ニ重大ナ「ウエイト」ガ掛ルト思ヒマス、併シナガシテ御話ニナリマシタ通りニ、解放ト申シマスハ、是ハ一ツノ意味ハ、今マデノ人間ノ頭ノ切換ト云フカ、最モ重大ナコトハ頭ヲ解放スルコトダト思ヒマス、ソレカラ御話ノモウ一ツ、勞働者ニ對スル今マデノ色シナ製作的ノコトヲ解放シテ行ク、是モ御尤モデアリマシテ、其ノ意味ノ解放モヤラナクテハナラヌト思ヒマス、併シナガシテ解放ト云フコトニナリマス、ヤハリ裏ニ責任ノ自覺ト云フコトヲ考ヘテ行カナクチャナラナイノデアリマシテ、他人ノ權利ノ尊重ト云フコトモシナケレバナラナイ、一般大衆ノ利益ノ擁護、公益擁護ト云フ責任ハ勿論解放ノ裏ニ太イ線トシテ存在シナケレバナラナイ、此ノ法律ノ如キハ其ノ線ニ觸レタモノダト思ヒマス、併シナガシテ一面ニ

於テ解放ト同時ニ、凡ユル保護ヲ與ヘナケレバナラナイ、保護法ノ如キモノヲ至急作ラナケレバナラナイ、又勞働、問題ノ面デハナク、生活保護其ノ他ノ問題ニ付テモヤハリ太イ施策ヲ行ツテ行カナクチャナラナイト考ヘテ居リマス、併シサウ云フ問題ハ稍々抽象的ニナリマスガ、モツト根本的ノ問題ハ、日本經濟ノ興隆デアリマス、兎ニ角物ヲ餘計ニシテ、オ互ヒニ食フ物、着ル物、住ム物ヲ餘計ニシナクチャ何モナラナイ、結局私ガ能ク言フ「ウエイジ、フアンド・セオリー」之ヲ何トカシナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ私ハ構想ヲ盡イデ、居リマスガ、斯ウ云フ線ニ沿ツテ健全ナル發達ヲ助長シタイト考ヘテ居リマス

○中原委員 私ハ繰返シ申シマシタヤウニ、勞働者ハ自分ノ行動ニ責任ヲ持ツテ居ル、其ノコトニ付テノ自覺ハ十分ニアルト云フコトヲ何遍モ繰返シマシタガ、ヤハリ我々ヲ疑ハレマシテ信ゼラレナイヤウデアリマス、勞働階級ハ大臣ガ御考ヘニナツテ居リマスヤウニ左様ニフシダラナ、無責任ナモノデハナイノデアリマス、現在世ノ中ニ起ツテ參リマス色シナ事象ノ中デ調ベテ御覽ニナルト直グ分ルノデアリマスガ、勞働階級ガ犯罪ヲ起シマスル場合ハ、結局押詰メラレタ生活ノ必死ノドタン場ニ起キルノデアリマス、一方勞働階級

デハナクテ持テル階級ガ犯罪ヲ犯シマシタ場合ニハサウデハナクテ、寧ロ相當惡意ニ滿チタ企ミニ依ツテ色シナ犯罪ガ構成サレテ來タコトヲ知ルノデアリマス、其ノコトハドウデアラウトモ、兎ニ角勞働階級ニ對スル大臣ノ御見解ハ、勞働階級ヲマダ本當ニ御存ジナイト云フコトヲ申上ゲタイ、言フマデモナク、我ガ日本ノ經濟興隆ニ對シテ總テノコトガ集中サレテ行カナケレバナラヌコトハ言フマデモゴザイマセヌ、勞働組合運動モ此ノ線ニ沿ツテ行ハレテ居リマスルシ、偶々私ハ勞働組合總同盟ニ關係スル者デアリマス、勞働組合ノ組織ノ根本方針ハ、勞働階級ノ生活權ノ向上ヲ約束スルト同時ニ、我ガ國ノ經濟興隆ニ寄與スベシト云フコトヲ以テ組合ノ基本綱領ト致シテ居ルノデアリマス、私共ハ如何ナル場合ニモ總テノコトガ、我ガ日本再建ノ爲ニ絕對必要デアアル、經濟興隆ニ寄與スベシト云フコトヲ勞働階級ニモ告ゲルト同時ニ、實際ノ組合ノ指揮方針ノ中ニ之ヲ全面的ニ振擧シテ居ル次第デアリマス、言フマデモナク勞働階級ハ最モ能ク此ノコトヲ理解シ、感激シテ、我ガ國經濟興隆ノ爲ニ努力シツ、アル狀態デアリマスガ、是ハ生産ノ面デ考ヘマシテモ實證スルコトガ出來ルノデアリマス、モウ時間ガ相當：

○達澤委員長 中原君モウ非常ニ

時間ガ延ビテ居リマス、他ノ發言者ガ非常ニ支障ヲ來タシマスノデ、成タケ簡單ニヤツテ下サイ

○中原委員 兎ニ角 現在ノ生産工場内ニ於ケル色シナ「サボタージュ」的ナ生産不振ノ状態ヲ具サ

ニ檢討シマス、労働者ノ「サボタージュ」ニ依ツテ、労働者ノ協力セザルコトニ依ツテ工場ノ生産能率ガ減退スルコト云フ現象ハ見ラ

レナイ、サウデハナクテ、生産者ソレ自身ノ方ガ、寧ロ此ノ生産増強ニ對シテハ障礙トナリツ、アル

ト云フ現實ヲ屢ミ見ルノデアリマス、労働階級ノ今ヤ生産ノ意慾ニ

燃エテ起チ働カントスル決意ニ付テハ、最早何等ノ證明ヲ必要トシ

ナイ、斯様ナ意味ニ於キマシテ、先ヅ私ハ大臣ノ労働階級ニ對スル

御認識ヲ今一度改ムル必要ガアルト云フコトヲ此ノ際申上ゲテ置キ

マス、労働階級ニ對スル認識ガ違フコトニ依ツテ、労働階級ニ對ス

ル諸政策、諸施策ガ間違ツテ來ルコトハ言フマデモナイ、之ヲ正シ

ク理解スルコトニ依ツテ正シイ方針ガ生レテ來ルと思フノデアリマ

ス、ドウゾ内閣閣僚全體モ、此ノコトハ或ハ無意味カモ知リマセヌ

ガ、特ニ労働行政ニ對シテ當ラレマス厚生大臣トシマシテハ、先ヅ

何ヨリモ眞先ニ労働階級ノ本質、労働階級ノ持つ姿ヲ十分誤リナク

御自覺ガ願ヒタイ、其ノコトニ依ツテノミ我ガ國ノ労働對策モ初メ

テ誤リナキヲ期スルコトガ出來ルデアラウト信ズルモノデアリマス、時間ガナイサウデアリマスカ

ラ一應是デ打切りマシガ、モウ二十分程必要ナンデスガ：

○達澤委員長 委員ノ諸君ニモ御願ヒ致シマス、委員長ハ、皆様ガ非

常ニ我慢シテ戴キマシテ、靜肅ニ發言者ノ發言ヲ十分御聴取リ下サ

ツテ居ル點ニ付キマシテ私ハ感謝シテ居リマス、併シナガラマダ後

ニ數人質問ヲ殘シテ居ルノデアリマスシ、成ベク他ノ議事ノ進行上

本月中ニハ打切りタイト云フ申合セモアリマスノデ、他ノ委員ノ諸

君ノ發言ニ支障ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、隨テモウ三十分

モ過ギテ居ルノデスカラ、此ノ程度デ打切りテ戴キタイト思ヒマス

○中原委員 ソレデハ議事進行デ一寸：：勿論時間ヲ十分注意シナ

ケレバナラヌコトハ言フマデモアリマセヌシ、ヨリ迅速ニ問題ヲ解

決シナケレバナラヌコトハ同感デアリマスガ、ソレニモ増シテ大切

ナコトハヨリ納得ノ行ク慎重ナル審議ガナサレルト云フコトニアル

ト思ヒマスシ、又サウ云フ御理解ノ下ニ委員長初メ委員各位モ、成

程御聴キ辛イ點モ十分アルト思ヒマスガ、御辛抱ガ願ヘテ居ルト私

信ジテ居リマス、隨ヒマシテ私モ徒ラニ之ヲ申上ゲテ居ルノデハナ

ク、ドウシテモ此ノ點ガハ觸レサシテ戴キタイト念願シテ已マナ

イ條項ダケヲ實ハ取上ゲテ居リマス次第デアリマス、最後ニ二十分ダケ午後ヲ一ツ御制キ戴キマシ

テ、繼續ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○達澤委員長 中原サン、午後ノ二十分ト云フノヲ、アナタノ發言

モ非常ニ重要デスガ、併シ他ニモ今後アナタノ方ノ松岡先生、荒畑

サンナド、多數ノ重要ナ發言者ガマダ控ヘテイラツシヤルノデス、

本委員會ダケデナシニ、他ノ委員會ノ均衡モアリマスノデ、極ク簡

單ニ此ノ際繼續シテヤツテ戴イテ、午後ハ他ノ發言者ガヤルヤウ

ニ致シタイト思ヒマス、簡單ニヤツテ戴キタイ

○中原委員 商工當局ハ居ラレマス

○達澤委員長 商工當局ノ方ハ此ノ後商工當局ガ來タ折ニ關聯質

問トシテヤツテ戴キタイト思ヒマス

○中原委員 是ハ厚生ニモ關係ガアリマスケレドモ、商工モ必要ナ

ンデスガ：

○達澤委員長 ソレデハ午前中ノ質問ハ是デ一應打切りマシテ、午

後ハ一時半カラ繼續致シマス、此ノ際更ニ申上ゲテ置キマスガ、政

府當局ニ對シテモ大變御迷惑ト思ヒマス、又委員諸君ニ對シテモ甚

ダ御迷惑ト思ヒマスガ、成タケ今日中ニ理事ノ申合セヲ遵奉シテ打

切りタイト思ヒマスノデ、少々時

間ガ延ビテモ、六時ニナツテモ今日打切り豫定デ居リマスカラ、其ノ御積リデ御願ヒ致シマス、是ニテ休憩致シマス

午後零時十七分休憩

午後一時三十七分開議

○達澤委員長 是カラ午前中ニ引續キマシテ會議ヲ始メマス、通告

順ニ依リマシテ東隆君ニ之ヲ許シマス——東君

○東委員 私ノ質問ノ第一點ハ、今ノ日本ニ於ケル労働爭議ノ状態

ハ、終戦後ノ昏迷シテ居ル状態カラ考ヘテ必ズシモ盛シナモノデナ

イ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツノデアリマス、サウ云フ考ヘ方カラ出發

ラシテ、日本ニ於ケル階級意識、サウ云フヤウナモノハ非常ニ鈍化

サレテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、其ノ理由ハ、階級

意識ノ非常ニ盛シナモノハ、是ハ軍需産業ヲ中心ニシテ重工業ト云

フヤウナモノニ從事シテ居ル者ガ中心ニナツテ、階級意識尖鋭化シ

タノデアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレハ恐ラク重工業ニ從事

シテ居ル労働者ガ革命ノ前衛分子トナツテ居ル、斯ウ云フ風ニ思ヒ

マス、其ノ考ヘ方ハ私ハ正シイ、斯ウ存ジマスガ、サウ云フヤウナ

意味カラ考ヘテ、既ニ重工業ト云フモノハ戰爭中ニ大分潰サレテシ

マヒ、ソレカラ今後日本ニ於テ發達スルモノハ是ハ制限ヲ受ケテ居

ル、隨テ日本ニ於テハ重工業ト云フモノハ發達シナイ、殊ニ平和産業ニ轉換サレシマツテ、軍需産業ト云フモノハ問題デナイ、サ

ウ云フ風ニ考ヘテ見マス、私ハ日本ニ於ケル所ノ労働問題ヲ中心

ニシテノ階級意識、斯ウ云フモノハ非常ニ鈍化サレテ居ル、斯ウ云

フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テドウ云フ風ナ御所見ヲ

持ツテ居ラレマスカ御伺ヒシタイ

○河合國務大臣 只今ノ東君ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、只今御

述ベニナリマシタ通りニ、一番労働問題ノ起キマスノハドウシテモ

重工業其ノ他ノ「マスプロ」ヲ中心ニシタモノノ方ガヤハリ起キル

率ガ多イノデアリマス、サウシテ重工業ハ今日少クナツタカラ日本

ノ労働問題ノ性格ガ多少變ツテ來ルト云フコトニ付テハ、政府ニ於

テモ同様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○東委員 ソコデ私ハモウ一步中ニ入り込ミマシテ、今ノ厚生省ノ

労働政策ト云フモノヲ假ニ進歩的ナ立場ニ立ツテ進メラレテ居ルト

云フ風ニ考ヘマスルト、私ハ利潤ノ公正ナ分配ヲ要求スル爭議ト云

フヤウナモノハ、私ハ或ル意味ニ於テ抑制シナイデ積極的ニ進メテ

行カナケレバナラヌデヤナイカト云フ風ニ思フノデスガ、政府ハド

ウ云フ風ニ御考ヘニナリマスガ

〔委員長退席、古賀委員長代

理著席

○河合國務大臣 只今起キテ居リマス爭議ノ一番主ナ原因ハ生活問題アリマシテ、結局生活ガ維持出來ナイ、今日ノ賃金生活デハ食ツテ行ケナイ、ト云フノハ御承知ノ通りノ經濟上ノ變革ガ非常ニ急「デンボ」ニ參ル時代ニ遭遇シタモノデスカラ、サウ云フヤウナ意味ノ爭議ガ最モ大キナ部分ヲ占メテ居ルコトハ疑ヒナイノデアリマスカラ、サウ云フ意味ニ於ケル勞働者側ノ要求ガ幾分消極的デアツタ、性質ガ消極的デアツタ、爭議ノヤリ方ガ消極的ト云フ意味デヤナイノデス、結局生活ノ確保、維持ト云フモノガ問題ノ中心デアツタト云フ風ニ考ヘテ宜カラウト思ヒマスルガ、今後ヤハリ利潤ノ分配ト云フ面ニ於ケル積極的ノ問題モ勿論起ルト思ヒマス、今マデモ勿論起キテ居リマス、併シハ其ノ意味ノ爭議ヲ何ト言ヒマスカ、勞働政策ノ進歩的ノ見地カラ之ヲ獎勵シテ行クカト云フ點ニ對スル御質問ト思ヒマスガ、是ハ單純ニサウ申スコトハドウカト思ヒマ

ス、色々其ノ時ノ事情ニ依リマシテ、公正ナル分配ヲ要求スルコトガ至當デアルカドウカト云フコトヲ一概ニ茲ニ公式的ニ斷定スルト云フコトモ一寸困難デヤナイカト思ヒマス、併シナガラ成ベク資本ト勞働トノ調和ヲ求メテ、サウシテ謂ハバ「プロフィット・シェア

リング」ノ制度其ノ他ニ依ツテ、或ハ又合意ニ依ル經營權ノ協同的ノ參加ト云フヤウナ形ナドニ依ツテ、斯ウ云フ線ニ進ンデ行クト云フコトハ結構ナコトダト思ヒマスケレドモ、總テ公正ナル分配ヲ要求スル權利ガアルンダト云フ風ニ解釋スルコトハドウカト云フ風ニ思ヒマス

○東委員 厚生大臣ノ御答辯ハ少シ私ノ質問カラの外レノヤウニ思ヒマスガ、私ハ利潤ノ公正ナル分配ヲ要求スル爭議ハ、産業ノ民主主義ヲ確立スル爲ニ當然必要デナイカ、斯ウ云フ觀點カラ質問シタノデアリマス、併シハ大變具體的ナ問題ニナルト難カシイダラウト思ヒマス、併シ抽象的ニ私ハソレニ付テ「イエス」カ「ノー」カ、斯ウ云フ御答ヘテ欲シカツタノデアリマス

○河合國務大臣 一寸初メノ方ガ聴取リニクイノデアリマシテ、モウ一遍質問ノ點ヲ……

○東委員 利潤ノ公正ナル分配ヲ要求スル爭議ハ、産業ノ民主主義ヲ確立スル爲ニ私ハ當然行ハレテ然ルベキモノダ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、ダカラソレニ對シテドウカ、「イエス」カ「ノー」カ、斯ウ云フ御返事ヲ聴キタカツタノデアリマス

○河合國務大臣 利潤ノ公正ナル分配ト云フコトガ私ニハウキリ來ナインデス、是ハ事業ハ經營ト勞働トノ形デ行ツテ居ルモノト云フ前提ヲ置キマス、勞働ハ賃金ト云フ形デ來ルンデス、サウシテ其ノ賃金ナリ經費ヲ差引イタモノニ利潤ガアルカナイカト云フ問題ニナツテ來ル、利潤ガアル時ニハ配當其ノ他ノ形デ行クト云フコトニナリマス、サウスレバ配當ヲ勞働者ガ當然取ル權利ガアルカト云フコトヲ御言ヒニナルナラバ、今ノ制度デハアリマセヌ、併シナガラ利潤ノ分配ヲ成ベク勞働者ニモ拘需サセルコトガ政策上ドウカト云フ御話ニナレバ「プロフィット・シェアリング」其ノ他ノ方法デ行クノハ結構ダラウ、サウ云フ意味ニナリマス、ドウモ御質問ノ趣旨ガピツタリ來ヌモノダカラ一寸言葉ガハツキリセヌノデゴザイマシテ、今ノヤウナ趣旨ニ解釋スルナラ今ノ答辯デドウカ御諒承願ヒタイノデゴザイマス

○東委員 此ノ問題ヲ茲デ打ちツテ次ノ問題ニ入ラウト思ヒマス

官吏其ノ他ノ公共團體ニ關係シテ居ル者ノ爭議、是ハ前カラ御話ニアリマスヤウニ現在ハ生活問題ガ中心デアリマス、私ハソレノ根據ヲ、官吏其ノ他ノ者ハ、是ハ分配ノ問題ヲ離シテ居ルト思ヒマス、利潤ノ分配ト云フヤウナ問題トハ全然懸ケ離レタモノデアリマス、隨テ生活問題ヲ中心ニシテ考ヘテ見ル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレ

マス、隨テ前ノ營利企業ニ於ケル所ノ利潤ノ公正ナル分配ト云フコトヲ假ニ考ヘテ見マス時ニ、私ハ適正ナル分配ヲ要求スル爭議ナラバ、是ハ進歩的ナル勞働政策ノ立場カラハ積極的ニ之ヲ見テ行カナケレバナラス、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツノデス、ソレデ其ノ考ヘ方カラ行キマシテ、官吏其ノ他ノ公共團體關係者ノ爭議ハ「デイストリビュション」ノ問題デハナイカラ、私ハ之ヲ勞働爭議ノ性格カラ當然二ツニ分ケテシマハナケレバナラスノデハナイカ、爭議ト云フモノヲ二ツニ分ケテ、營利企業ニ從事ラシテ居ル關係ノ方面ノ爭議ト、ソレカラ官廳或ハ公共團體或ハモウ少シボケテ參リマスケレドモ半官半民ノ營團ノヤウナ方面ニ於ケル爭議、或ハ協同組合經營ノ企業、サウ云フヤウナモノト、ソレカラ營利企業ヲ中心ニシテ居ル所ノ企業、サウ云フヤウナ意味ニ於ケル爭議ト云フモノハ當然峻別サルベキモノデハナイカト云フ考ヘ方ヲ持ツ譯デアリマス、ソレニ付テドウ云フ御所見ヲ御持チデアリマスカ

○河合國務大臣 ソレハ爭議ノ問題ノ對象トナル範圍ガ官吏ニ於テハ俸給、勞働條件ハ俸給ト云フ問題ガ中心デアリマセウシ、ソレカラ一般ノ營利事業ニ於テハ俸給ノ外ニ經營參加ト申シマスカ利潤ノ分配ヲ希望スルト云フ面ガアリ

得ルト云フ意味ニ於テ、爭議ノ性質ハ違ヒマスケレドモ、何レニシテモ勞働條件ガ問題ノ中心デアリマスルカラ、勞働條件ト云フモノハ其ノ企業々々ニ依ツテドウ云フ形ヲ持ツテ居ルカト云フコトニ依ツテ、サウ云フ區別ガ出來ルト云フコトニ私ハ考ヘマス

○古賀委員長代理 東君一寸御願ヒ致シマス、速記ノ方ガ非常ニ聴取リニククテ御困リダサウデゴザイマスカラ、東サン咽喉ヲ痛メテ居ラレルト思ヒマスガ、前ノ方ニオイデ下サイマシテ御質問ヲ願ヒマス

○東委員 ソレデハ私ハモウ一ツ別ナ方ニ質疑ノ中心ヲ進メテ行キタイト思ヒマス、私ハ今マデノ日本、終戰前マデニ於ケル日本ノ國ノ性格、サウ云フヤウナモノヲ警察國家ダト、斯ウ云フ風ニ世間ノ人ハ申シマスシ、ソレカラ我々モサウ云フヤウナ氣分ガスル譯デアリマスガ、如何様ニ御考ヘニナツテ居ラレルカ、ソレヲ一ツ御聴キシタイト思ヒマス

○河合國務大臣 警察權ガ相當強カツタト云フ意味ハサウモ思ヒマスケレドモ、警察國家ト云フコトニハ私ハ考ヘマセヌガ、是ハ併シ私ノ所管デハナイノデアリマシテ、私ノ感じトシマシテハソコマデ強クモ感じテ居リマセヌ

○東委員 私ハ警察國家ラシイ所ガアルト云フ風ナ程度ノ御答ヘガ

アルノデナイカ、斯ウ豫想ヲシテ居ツタノデアリマスガ、厚生大臣カラハ、私ニハハツキリシナイト云フヤウナ意味ノ御返事デスガ、ソコデ私ハ今マデノ色々ナ法律其ノ他ノモノハ大部分色々ナ點分ケテ行カケレバナラヌ部面ガアルノデハナイカト考ヘル譯デアリマス、ト言フノハ勞働政策ノヤウナ動イテ行ク部面ニ付テノ法律、ソレカラ内務省デオヤリニナツテ居ルヤウナ關係ノ法律、サウ云フヤウナモノノ間ニハ、私ハ當然違ツタ形式ノ法律ガ行ハレテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘル譯デアリマス、ト言フノハ今マデノ日本ノ法律ハドチラカト申シマス、實情ガマダ現ハレテ居ラナイ時ニ、直グ何々取締規程ト、コンナヤウナ法律ガ出マシテ、サウシテ色々ナ産業ハ其ノ爲ニ發展ヲ阻碍サレタ部面ガ非常ニ多イ、一番甚ダシイ例ヲ申シマス、電氣事業ノヤウナモノヲ考ヘテ見マス、小發電、其ノ他ノモノハ、是ハ取締規定其ノ他ノ種類スルノ法律ニ依ツテ阻碍ヲサレテ來テ居ル譯デアリマス、斯ウ云フヤウナ規定ヲ澤山出シテ、サウシテ國家ノ産業其ノ他ノ方面ニ損失ヲ非常ニ來シタト、斯ウ考ヘテ居リマスガ、勞働政策ヲ中心ニシテヤツテ行クト、斯ウ云フヤウナ方面ノ法律ト云フモノハ、私ハサウ云フヤウナ形ノモノデ現ハレテハイカヌノデ

ハナイカ、殊ニ厚生省關係ノ社會政策ヲ中心ニシタ所ノ法律、サウ云フヤウナモノハ活キタ社會ニ常ニ合フ所ノモノ、サウ云フヤウナ形ノ法律デナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、サウ云フヤウナ意味デ私ハ「ケインズ・ロー」ノ方式ヲ採ルベキデヤナイカト思フ、網ノ目ヲ廻ラシタヤウニ良イ頭ヲ絞ツテ法律ノ網ヲ造ツテ、サウシテ將來ヲ豫想シテ行クヤウナ、サウ云フ法律ノ作り方ハ間違ヒデヤナイカ、斯ウ考ヘル譯デアリマス、斯ウ云フヤウナ意味カラ今度ノ此ノ法案ヲ考ヘマス、サウ云フヤウナ部面ガアル、ソレデ私ハサウ云フヤウナ考ヘ方カラ、今後ハ少クトモ厚生省關係ノ法律ハ社會現象ニ對應シテ、事實ガ起キテ參リマシタラ、ソレニ對シテ判例的ニ規定ヲシテ行ク、斯ウ云フ形デ行クベキデアツテ、豫メ規定ヲスベキデハナイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツ譯デアリマス、其ノ點ニ付テ如何様ノ御考ヘヲ御持チカ御聽キンタイノデアリマス

○河合國務大臣 極ク抽象的ナ御話デゴザイマシテ、一寸明確ナ御答ヘヲ致シ兼ねマス、ケレドモ、大體ハ御論旨ノヤウニ常識的ニ考ヘマス、併シナガラ物ニハヤハリ程度モアリ、輕重モアリマス、サウ云フ具體的ノ問題ヲドウ處理スルト云フコトハ自デ別問題ニナル、サウ云フ風ニ考ヘマス

○東委員 私人例ヘバ明治維新或ハ今度ノヤウナ場合ニ於テ、無血革命ト云フヤウナ形デ以テ進シテ來タコトニ對シテ非常ニ國民ハ幸福ダ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、併シサウ云フ先程申上ゲタヤウナ形デ反動的ナ形デ以テ、折角ノ革命ノ成果ヲ得ルコトガ出來ナイ、サウ云フヤウナ形ガ現ハレテ居ル、斯ウ云フヤウニ考ヘマス、今厚生大臣ガ御考ヘニナツタヤウニ私ノ話ハ抽象的ナ質問デアリマス、ケレドモ、サウ云フ御考ヘデ御進ミヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

次ニ私ハ、飛ビ「ニナリマスケレドモ、第八條ノ公益事業ノ定義ニ付テ疑問ガアル譯デアリマス、私ハ此ノ第八條ノ公益事業ノ中ニハ、先程申上ゲマシタケ「ケインズ・ロー」ノヤウナ關係デ行クベキデナイカ、斯ウ云フ考ヘ方カラ却テ昭和十五年ニ出マシタ勞働爭議調停法ノ第一條ニ書イテアルヤウナ、ア、云フ形デ進メラレテ行クベキ問題デハナイカ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツ譯デアリマス、殊ニ爭議ノ中心ヲ營利企業ト公益的ナ事業、サウ云フヤウナモノニ峻別スベキダ、斯ウ云フコトハ私ハ最初ニ御聽キンシタ譯デアリマスガ、サウ云フ意味カラ私ハ公益事業ノ中味ヲ公共事業、サウ云フヤウナ關係ノモノニ一應切ツテ置ク方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ツ譯デアリマス、公益事業ノ中味ハ非常ニ廣範ナ中味ヲ今度ハ規定シテアル譯デアリマス、ソレデ大臣ハ只今非常ニ此ノ中味ヲ狹ク御解釋ニナツテ居ラレルヤウデアリマス、ケレドモ、併シ是ハ時代ガ遷ルニ從ツテ、私ハ相當廣ク解釋ヲサレルノデハナイカト存ジマス

〔古賀委員長代理退席、委員長着席〕

殊ニ末項ニアリマス醫療關係ノ仕事、サウ云フモノニナツテ參リマスルト是ハ別ニ醫療關係ニ付テハ、醫師法カ何カニ規定ガアルノデハナイカ、サウ云フヤウナモノヲ活用ヲサレマスレバ私ハ必ズシモ公益事業ニ持チ出シテ來ル必要ハナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘマス、併シ色々ナ關係デ、却テ多ク根ヲ張り過ギタヤウニ考ヘテ居リマスガ、其ノ點ハ如何御考ヘデアリマス

○河合國務大臣 第八條ノ公益事業ノ範圍ニ付キマシテノ御質問デゴザイマシタガ、是ハ今御示シノ通りニ公共事業ト云フ意味ニ限ツテ、營利事業ヲ除クコト云フ方法モ一ツノ方法ダラウト思ヒマス、ソレカラ先程御示シノ官吏其ノ他ノ爭議ハ給與ト云フノガ目的ダガ、私營事業ハ利益ヲ伴フカラ、利潤ニ關スル爭議ノ目標ガアリ得ルト云フ點ニ於テ爭議ノ性質ガ違ツテ居ルト云フコトノ關聯性ニ於キ

マシテ、只今ノ主張ヲ含シテ御質問ト思ヒマスガ、私ハ其ノ一ツノ方法トシテサウ云フコトモ勿論考ヘナケレバナラヌト云フコトニハ同意見デアリマス、唯是ハ客觀的ニ公衆ノ日常生活ニ缺クコトノ出來ナイト云フコトガ問題ノ重點ニナツテ居リマス、日常生活ニ缺クコトガ出來ナイガ故ニ公益事業ナノデハナク、營利事業デモ其ノ結果トシテ公益ニ重大ナ關係ヲ持ツモノハヤハリ日常生活ニ缺クコトガ出來ナイモノ、斯ウ云フコトニ決ツテ來マス、サウ云フコトニシテ考ヘタ方ガ私ハ社會公益ヲ意味スル上ニ於テ適當ナリト思フカラ、ヤハリ原案ノ如キモノガ適當デナイカト云フ風ニ考ヘル次第デアリマス

○東委員 日常生活ニ必要ナモノダト仰シヤイマス、私ハ今デ言ヒマス、食糧營團ノ仕事ノヤウナモノハ、是ハ最モ必要ダラウト考ヘマスガ、食糧營團ニ爭議ヲサレタノデハ、是ハ目ニ餘ル、斯ウ思ヒマスガ、サウ云フヤウナモノガ載ツテ居ナクテ、別ナモノガ載ツテ居ル、サウ云フ風ニ考ヘテ來マス時ニ毎日ノ生活ニ必要ナ度合、ソレカラ其ノ他ノ分ケ方ト云フモノハ、是ハヤハリ時勢ノ動キ方ニ依ツテ違ツテ來ルノダト私ハ飽クマデ考ヘル譯デス、其ノ點御答ヘガ出來レバ幸ヒダト思ヒマス

○河合國務大臣 只今御示シノ食

糧食園ノ如キハ、最も日常生活ニ
缺クコトノ出来ナイ又公益の性質
ヲ持ツタモノデアルト云フコトニ
付テハ御同感デアリマス、併シナ
ガラ食糧園ノ仕事自體ハ本來是
ハ配給のノ仕事デハナイノガ本體
ナノデス、是ハ時局ノ關係デ食糧
ガ足ラヌカラ已ムヲ得ズ配給ヲヤ
ツテ居ルノデアツテ、ヤハリ元ノ
米屋ノ方ガ日本ノ狀態トシテハ本
來ノ性質ダト思ヒマス、ソレデア
ルカラ運輸、水道ト云フヤウナ事
業トハ違ツテ、本來自由デアツタ
ガ故ニコ、ヘハ書カナイノデアリ
マスガ、直チニ第二項ニ於テ必要
ノアツタ時ニハ書ク、第二項ニ於
ケル問題ハ食糧園ノ事業ナドヲ
眞先ニ實ハ考ヘテ居ル、サウ云フ
風ニ御考ヘ願ヒタイノデアリマス
○東委員 一應ソレハ其ノ程度ニ
シマシテ、次ニ勞働爭議ト爭議行
爲、是ノ定義ガ六條ト七條ニアリ
マスガ、爭議行爲ト紛議行爲ノ判
定ハ一體誰ガヤルノカ、此ノ問題
ヲハツキリシタイト思フ譯デアリ
マス、ソレト同時ニ意識のニ「サ
ボタージュ」ヲヤツテ居ル、ソレ
カラ安全週間ダトカ或ハ先程アツ
タ電車ノ業管ノヤウナ、ア、云フ
モノヲ爭議行爲或ハ紛議行爲、サ
ウ云フ風ニ判定スルノハ一體誰ガ
ヤルノカ、ソレヲ御聽キシタイ

ヲ下シテ居リマス、勞働爭議ト云
フノハコ、ニアリマスルヤウニ當
事者間デ意見ガ一致シナイ、詰リ
ソコノ間ニ争ヒノアルモノヲ言フ
ノデアリマスガ、其ノ中ニハ御話
ニアリマシタヤウニ次ノ七條ノヤ
ウナ爭議行爲ニ出ル場合ト爭議行
爲ニ出ナイデ紛議デ争ツテ居ル場
合トガアルノデアリマス、ソレハ
兩方ノ場合ヲ含シ居ル譯デアリ
マス、爭議行爲ノ方ハ第七條ニア
リマスヤウニ、其ノ中デ同盟罷業
トカ怠業トカ或ハ作業所閉鎖ト云
フヤウナ行爲ニ出デタモノヲ爭議
行爲ト言ツテ居ル譯デアリマス、
ソコデ御話ノヤウニ、ソレハドウ
云フ風ニ認定スルカト云フ問題ハ
御尤モダト思ヒマス、ソレハ客觀
的ニ判斷セザルヲ得ヌノデアリマ
スケレドモ、本法デハソレノ「争
議」ノ起リマシタ時ニハ解決ノ方法
トシテハ勞働委員會デ取扱フコト
ニナリマスカラ、結局ハ勞働委員
會デ判定スルコトニナルダウト
思ヒマス、詰リ勞働委員會ニ、争
議ガ發生シタ時ハ調停ナリ、斡旋
ナリ或ハ仲裁ノ行爲ニ出ルト云フ
コトニナリマスカラ、是ハ紛議ノ
狀態デアアル、或ハ爭議行爲ニ入ツ
テ居ルト云ウテ取上ゲル時ハ、勞
働委員會ガソレヲ取上ゲル譯デア
リマス、ソレカラモウ一ツノ點ハ
第五章ニ爭議行爲ノ制限ガゴザイ
マス、是等ニ付キマシテモ、ソレ
ガ違反デアアルカドウカト云フコト

ハ直チニ官憲ナリ檢事局ガ發動ス
ルノデハナイノデアリマシテ、ヤ
ハリ是ニモ其ノ違反シタ場合ハ勞
働委員會ノ請求ニ依ツテ論ズルコ
トニナツテ居リマスカラ、結局勞
働委員會デ判定シテ、是ハ爭議行
爲デアツタガ、其ノ爭議行爲ガ之
ニ該當シテ違反シテ居ルトカ、シ
ナイトカ云フコトニナル譯デアリ
マス、勝手ニ官廳ダケガソレヲ認
定シテ處罰スルト云フコトハナイ
譯デアリマス
○東委員 假ニドウシテ「ストラ
イキ」ヲシヨウカト云ツテ研究シ
テ居ル勞働組合ガアツタトシテ、
其ノ爭議ガ戰術トシテ爭議行爲ニ
觸レナイヤウニ進メテ行ク所ノモ
ノヲ判定スルコトハ是ハ調停委員
會ニ掛ケタ後デナケレバ決マラヌ
譯デスネ、サウスルト事實ハ勞働
爭議行爲ト云フモノハ進シテ行ツ
テ、然ル後ニ爭議行爲ヲヤツテシ
マツテカラ、ソレニ對シテ判定ヲ
スル、斯ウ云フコトニナラウト思
ヒマスガ、ソレハ勞働爭議ヲ抑制
スルト云フヤウナコトニ付テ、私
ハ非常ニ何カ缺陷ガアルヤウニ思
ヒマスガ、其ノ點ハ何カ巧ク「ア
ジャスト」スル點ガアルカドウカ

別ニソレヲ抑制シヨウト云フ考ヘ
ハナイノデアリマス、唯茲ニ公益
事業ニ付キマシテ爭議行爲ヲ制限
シテ居リマスカラ、其ノ爭議行爲
ト云フモノハドウ云フモノヲ言フ
カト云フコトヲ一應定義シテ置キ
マセヌト云フト問題ニナリマスル
カラ、ソレデ明カニシテ居リマ
ス、ソレデ爭議行爲ノ制限ヲ受ケ
テ居リマスノハ、本件デハ三十七
條、三十八條デアル譯デアリマ
ス、ドウ云フ戰術ヲヤリ、ドウ云
フコトヲ考ヘルト云フコトヲ一々
探知シテ、ソレヲ抑制シヨウカド
ウシヨウカト云フコトハ毛頭考ヘ
テ居ナイ譯デアリマス
○東委員 私ハ今ノ御答ヘノ中ニ
マダ釋然トシナイモノガアルノデ
アリマスガ、爭議行爲ト云フ事實
ガ、或ハ紛議ノ形デ進メラレタモ
ノガ、後デ以テ爭議行爲ニ判定ヲ
サレタリ、或ハ紛議ト認定サレタ
リ、サウ云フヤウナコトガ後ニ殘
ツテ來ル、斯ウ云フヤウナコトデ
大部難カシイ問題ガ之ニハアルノ
デハナイカ、斯ウ云フ點ヲ考ヘル
關係ノ問題、教養ノ問題、サウ云
フヤウナ問題ヲ、是ハ文部省ノ方
ニ關係ノモノデナイ點ヲ御聽キシ
タイ、斯ウ思フノデアリマス、ソ
レハ勞働組合ノ方デモ、或ハ協同
組合ノ方デモ、組合ハ學校ダ、斯
ウ云フコトヲヨク言フノデアリマ
ス、所ガ勞働組合ノ方ノ學校ハ私

ハドウチカト言フト、今ハ如何ニ
シテ待遇ヲ善クシヨウカ、或ハ勞
働條件ヲ善クシヨウカ、斯ウ云フ
ヤウナコトニ付テ此ノ學校ハ盛ン
ニ教育ヲスルノデヤナイカ、斯ウ
考ヘマス、ソコデ私ハ教育ヲスル
ノハ勞働組合デハナクテ、協同組
合デ、其ノ中デ其ノ組合ノ構成
員、ソレハ勞働組合ノ構成員ト同
ジモノデアリマスカラ、ソレヲ協
同組合ヲ通シテ教育ヲシ、教養ヲ
高メテ行ク、二宮尊徳ノ芋コジト
云フヤウナ、ア、云フ形デ以テ教
養ヲ高メテ行ク、或ハ「ロッチデー
ル」ノ原則ノ中カラ出デ居リマ
ス教育、ア、云フヤウナ形デ以テ
私ハ勞働者ノ教育ヲシ、教養ヲ高
メテ行クコトガ必要ダラウ、斯ウ
思ヒマスガ、是ガ私ハ爭議ヲナク
スル意味ニ於テモ、産業ヲ再開ス
ルト云フ意味ニ於テモ必要ダラウ
ト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ協
同組合ニ依ル、協同組合ヲ中心ニ
シテ勞働者ノ教育ヲ進メテ行ク、
斯ウ云フヤウナコトヲ積極的ニ厚
生省ハ御探上ゲニナル意思ハナイ
カドウカ、ソレヲ御聽キシタイノ
デアリマス
○河合國務大臣 勞働組合ニ致シ
マシテモ、協同組合ニ致シマシテ
モ、組合ノ團結ニ依ツテ御互ヒノ
自省ヲ促シ、自覺ヲ促スト云フ點
ニ付テハ私モ極メテ同感デアリマ
ス、同感デハアリマスガ、勞働問
題ヲ協同組合ノ名ヲ冠セマシテ、

サウシテ此ノ問題ヲ解決シテ行ク
ト云フコトニ付キマシテハ、私モ
實ハ今マデ深ク考ヘタコトモアリ
マセヌガ、此ノ協同組合ノ思想
「コオベラティーヴ」ト云フモノ
ハ大體物ノ生産トカ、物ノ消費ト
カ、物ノ貸借購買、販賣ノヤウナ
一種ノ物ヲ中心ニ置イテ「コオ
ベラティーヴ」ト云フ思想ハナ
イカト私ハ考ヘテ居リマス、勞働
組合ハ物ヲ中心ニ置イテ居リマセ
ヌ、謂ハバ權利ヲ中心ニ置イテ居
リマス、サウシテ人格權ナリ勞働
權ナリノ主張ト云フモノヲ中心ニ
置イテ居リマシテ、ドウモ少シ本
質ガ變ツテ居ハセヌカト思ツテ居
リマス、併シナガラ勞働組合ニ
「コオベラティーヴ」ノ精神、
「スピリット」ヲ成ベク入レテ、
友愛的ニヤツテ行クト云フ考ヘハ
勿論結構ナコトデアリマスガ、組
合本來ノ性質ハ違ツテ居ルモノト
解釋シマスガ故ニ、直チニ之ヲ其
ノ上ニ冠セテ行クト云フコトハド
ウカト云フ風ニ考ヘマス、併シ是
ハ私今此處デ考ヘタ考ヘデ、實ハ
其ノ問題ヲ私ノ頭デ考ヘテ見タコ
トハ未ダナイノデアリマス

○東委員 私ハ協同組合ヲ中心ニ
シテ勞働者ノ教育ヲ考ヘルコト
ガ、生活ヲ通シテ教育ヲ高メテ行
ク、斯ウ云フ意味デ非常ニ考ヘテ
行カナケレバナラスコトデハナイ
カト考ヘルノデアリマス、是ハ次
ノ質問ト關係ヲ持チマスノデ、次

ノ問題ハ、今ノ爭議ノ中心ハ生活
問題ガ中心デアル、斯ウ云フ御話
ナンデアリマス、ソレデ生活ヲ中
心考ヘテ見マシタ時ニ、私ハ形
式的ナ賃金ヲ以テ生活ガ改善サレ
ルトハ考ヘナイ譯デアリマス、形
式的ナ賃金ノ高デ、別ナ言葉デ言
ヘバ貨幣ニ依ツテ支拂ハレタ所ノ
賃金、サウ云フヤウナモノニ依ツ
テ私ハ生活ハ決シテ良クナリマセ
ヌシ、待遇ハ改善サレヌト思フ私
ハドウシテモ生活ノ改善、待遇ヲ
良クスル爲ニハ物ノ裏打ヲ考ヘナ
ケレバナラス、斯ウ云フ考ヘ方ヲ
持ツ譯デアリマス、退職シタ後、
或ハ失業シタ後ニ對スル色々ナ方
途ヲ講ゼラレテ居リマスガ、現實
ノ失業シナイ今現在ノ者ガ生活問
題ヲ中心ニシテ色々「トラブル」ヲ
起シテ居ル時ニ、形式的ナ賃金デ
ハナク、實質的ナ賃金、之ヲ考ヘル
場合ニ、私ハドウシテモ協同組合
ト云フモノヲ必要トスルト考ヘマ
ス、是ハ前ノ教育ノ問題ト同ジヤ
ウニ私ハ協同組合ヲ通シテヤツテ
行カナケレバナラス、斯ウ云フコ
トヲ考ヘル譯デアリマスガ、ソレ
ニ付テ願ハクハ厚生大臣ハ積極的
ニ之ヲ進メテ行クノダト云フ意圖
ヲ表明サレタイト思フノデアリマ
ス、先程厚生大臣ハサウ云フ點ニ
付テハ今此處デ考ヘタバカリデア
ル、此ノ程度デアリマスガ、私ハ
其ノ點ニ付テハ非常ニ悲觀ヲシタ
譯デアリマス、私ハ勞働政策ト云

フモノハ單ニ法律ヲ出スダケデナ
クテ、モツト大キナ見地ニ立ツテ
各般ノ問題ニ付テ考ヘテ行カナケ
レバナラスト思フノデスガ、サウ
云フヤウナ場合ニ協同組合ヲ通シ
テ實質的ナ待遇改善ヲスル、斯ウ
云フ部面ニ私ハ相當突込シテ考ヘ
テ行ツテモ宜イデヤナイカト思フ
ノデアリマス

○河合國務大臣 只今ノ私ノ言葉
ガ足りナカツタカモ知レマセヌ
ガ、私ハ協同組合ト勞働組合ト云
フモノハ本質的ニ違ツテ居ルノダ
ト云フコトヲ主トシテ説明シマシ
テ、サウダカラ勞働組合ニ置キ換
ヘルニ協同組合デヤツテ行クト云
フコトハ困難ナリ、ト申スノハ勞
働組合ハ一面協同的ニヤツテ行カ
ナケレバナリマセヌケレドモ、已
ムヲ得ザル場合ニハ鬭争的ニヤツ
テ行クモノダト思ツテ居リマス、
協同組合ノ如キハ全く「フタタ
ニテイ」ヲ中心ニヤツテ行クベキ
モノデアリマシテ、鬭争的ノ分子
ヲ持ツタモノデハナイ、本質ニ於
テ違ツテ居ル、其ノ點ヲ私ハハツ
キリ申上グル爲ニ、其ノ問題ヲ二
ツ一緒ニ考ヘテ、重ネ合ツテ考ヘ
ルコトハ未ダ考ヘタコトガナイト
云フコトヲ申シタノデアリマス、
併シナガラ協同組合ノ本當ノ「ス
ピリット」デアル友愛精神、協同
精神ト云フヤウナモノハ、是ハ勞
働組合タルト何組合タルト問ハ
ズ、廣ク世間一般ニアルベキコト

デアリマス、殊ニ此ノ勞働組合ノ
問題ガ勞働政策ト云フ言葉ヲ御用
ヒニナレバ勿論此ノコトハ非常ニ
重大ナ關係ヲ持ツテ參ルノデアリ
マシテ、サウ云フ意味ニ於テハ私
ハ全然御同感デアリマス、殊ニ經
營協議會ノ如キモノハ大體此ノ勞
資ノ間ノ共同ノ施設ト云フモノ
ガ一ツノ目標デアリマスカラ、サ
ウ云フ意味ニ於テ勞働政策ト協同
組合的ノ思想ト問ニ非常ニ重大
ナ關係ガアリ、是ハ又或ル程度ニ
於テ大イニ獎勵シテ行カナケレバ
ナラスモノダト云フコトニ付テハ
御同感デアリマス、唯組合ノ性質
ガ違ツテ居ルカラ、ソレト之トヲ
重ネ合フカ或ハ置キ換ヘルカト云
フ觀念ニ付テ疑問ヲ起シタト云フ
コトガ私ノ眞意デアリマス

○東委員 私ハ是カラノ社會ヲ擔
フ所ノ大キナ組織ガ三ツアルト斯
ウ思フノデス、一ツハ協同組合ソ
レカラ勞働組合、モウ一ツハ共濟
保險組合此ノ三ツガ私ハ是カラノ
社會ヲ作り上ゲテ行ク所ノ基礎的
ナ組織デナイカ、斯ウ考ヘテ居リ
マスガ、是ハ舉ゲテ厚生省ニ關係
ヲ持ツテ居ル所ノモノデアリマス
ルガ故ニ、此ノ三ツヲ通シテ勞働
政策、サウ云フヤウナモノニ付テ
御考ヘテ願ヒタイノデアリマス、
此ノ點ハ先程御話ガアリマシタヤ
ウニ、私ノ質問ニ對シテ同感ヲサ
レマシタノデ此ノ點デ打切りマス
次ニ先程ノ方カラ御質問ガアツ

タノデアリマスガ、教職員ノ爭議
權ヲ認メナガラ、官吏ニ爭議權ヲ
認メテ居ナイ、斯ウ云フ點デ私ハ
之ニ關聯ヲシテ現業ノ問題、現業
者ヲ除イテ居ル譯デアリマスガ、
私ハ普通ノ爭議其ノ他ノ關係デ考
ヘテ見マシタ時ニ、一番初メニ私
ガ質問ヲ致シマシタ階級意識ハ鈍
磨サレテ居ルノダ、殊ニ官吏、
公共團體、サウ云フヤウナモノニ
ハ階級意識ハナイノダ、斯ウ云フ
ヤウナ考ヘ方カラ言ツテ、現實ノ
爭議トシテ恐ロシイノハ却ツテ現
業方面ニ於ケル所ノ爭議デヤナイ
カ、サウ云フ風ニ考ヘマシテ、却
ツテ是ハ爭議ノ抑制或ハ禁止、サ
ウ云フヤウナ部面カラ見ルト、現
業カラ爭議權ヲ剝奪シテナイト云
フコトガ却ツテヤカシイデハナイ
カ、斯ウ云フヤウナ氣ガスルノデ
アリマス、ソレデ一應階級意識或
ハサウ云フモノガ鈍磨サレテ居ル
ノダト云ヒナガラ、逆ニ今度ハ現
業ノ部面ニ於テハ爭議權ヲ認メテ
居ル譯デス、サウ云フ點デ私ハ何
カビチツトシナイモノガアル譯デ
ス、之ニ付テドウ云フヤウナ御考
ヘテ御持チカ、此ノ點モ少シ午
前中ノ質問デ私ハ解シ兼ねル點ガ
アツタノデ御伺ヒマスル譯デアリ
マス

○河合國務大臣 今ノ點ハ現業ノ
爭議行為ガ起キマスレバ、社會ノ
被レル不利益ハ相當大キイ、サウ
シテ又實質的ニ其ノ影響ヲ金錢上

ト申シマス、物的上ト申シマス
カ計上出來ルヤウナ影響ヲ受ケル
コトノアルコトハ私モ御同感デア
リマスケレドモ、併シナガラ假ニ
國務ニ携ハル官吏ガ爭議ヲ起シマ
ス場合ニハ、是ハ物的ノモノハ案
外少イカモ知レマセヌ、併シナガ
ラソレガ國務ニ關係スルカラ國務
ノ遂行ヲ妨ゲルカラ、是ハ其ノ性
質カラ言ヒマシテ非常ニ公益ニ重
大ナル所ニ影響ガ及ブ、サウスル
トハ現業ノ面ニ於ケル被害ガ大
キイト云フ物のノ問題トハ自ラ性
質ガ違フト云フ意味ヲ中心ニ問題
ヲ取扱フテ行キタイノデアリマシ
テ、サウダカラ官吏ニ罷業ハ禁止
シテ行クト云フ風ニ御考ヘヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○東委員 私ハ官吏ガ公益性ノ度
合ガ非常ニ強イ、斯ウ云フコトハ
承知ラスル譯デス、隨テ公益性ノ
度合ノ強イモノト、ソレカラ公益
性ノ度合ノ弱イモノト峻別シナケ
レバナラヌ、斯ウ云フコトハ初メ
カラ言ツテ居ル譯デアリマスルケ
レドモ、併シ私ハ唯ソレダケデナ
クテ、御答辯ヲ通シテ見マス、
何カ斯ウ云フ面子ノヤウナ
ノ法律ヲ拵ヘル時ノ面子ヲ中心ニ
シテ、此ノ法律ヲ拵ヘタ時ニ何カ
行掛ケノ駄賃ニ——是ハ言葉ガ惡
イノデスガ、アノ中ニ官吏或ハ公
共團體ニ從事シテ居ル者、サウ云
フヤウナモノヲアノ中ニ入レタノ
デハナイカ、斯ウ云フ風ナ氣ガシ

テナラヌ譯デアリマス、アソコノ
中カラ官吏或ハ公共團體ニ從事シ
テ居ル云々ノアノ文句ヲ御取リニ
ナツタ方ガ、私ハ今ノ情勢カラ言
ツテモ宜イノデハナイカ、斯ウ云
フ氣持ヲ持ツ譯デアリマス、是ハ
私ハサウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルト
斯ウ云フ程度ニ止メマス

次ニ私ハ勞働爭議ノ調停委員或
ハ其ノ他ノ委員會、色々ナモノガ
澤山出來ルヤウデアリマスガ、此
ノ中ニ「ニエトリタル」ナ中立ノ
立場ニ立ツ人ガ澤山入ル譯デアリ
マス、併シ私ハ此ノ中ニ入ル人ヲ
五選ヲサレル時ニ、私ハ中立ト云
フモノハ是ハ最モ選ビツライトカ
其ノ他ノ話ガ午前中ニアリマシタ
ガ、私ハ此ノ場合ニ選ビベキモノ
ハ最モ進歩的ナ人間ヲ選ビベキデ
ナイカ、進歩的ナ人間ト云フノ
ハ、必ズシモ左翼ト云フコトデハ
ナクテ、進歩的ナ考ヘヲ持ツテ居
ル者ヲ中立ノ委員トシテ選ビベキ
デナイカ、斯ウ考ヘル譯デアリマ
ス、固定シタ人間ヲ選ンデハイカ
ヌノデヤナイカ、斯ウ考ヘマス、
サウ云フヤウナ意味デ私ハ却ツテ
共同組合關係、サウ云フヤウナ部
面ニ居ル者ガ私ハ此ノ中立ノ委員
トシテ、最モ適當シタ性格ヲ持ツ
テ居ルノデヤナイカ、斯ウ云フ考
ヘヲ持チマスガ、ソレニ付テノ如
何ヤウナ御考ヘヲ御持チニナルカ
御伺ヒ致シタイノデアリマス

○河合國務大臣 是ハヤハリ中立
トシテ公益擁護ノ立場ニアルト云
フコトヲ中心念慮ニ置キマスノ
デ、進歩的ナ人ガ大部分デアリ、
共同組合ナドノ思想ノ非常ニ豐富
ナ人ハ又多ク加ハルコトハ、是ハ
物ノ自然ダト思ヒマススケレドモ、
或ル日標ヲ提ヘテ之ヲヤルト云フ
コトデハアリマセヌ、ヤハリ物ノ
公正ナル批判ノ出來ル、サウシテ
公益ヲ代表スルニ足ル人ト云フコ
トガ、オ爺サンデモ宜イコトモア
リマセウシ、若イ人デモ宜イコト
モアル、年齢ニ依リマセズ、マア
サウ云フ觀點カラ選ビベキモノダ
ト思ヒマス

トシテ公益擁護ノ立場ニアルト云
フコトヲ中心念慮ニ置キマスノ
デ、進歩的ナ人ガ大部分デアリ、
共同組合ナドノ思想ノ非常ニ豐富
ナ人ハ又多ク加ハルコトハ、是ハ
物ノ自然ダト思ヒマススケレドモ、
或ル日標ヲ提ヘテ之ヲヤルト云フ
コトデハアリマセヌ、ヤハリ物ノ
公正ナル批判ノ出來ル、サウシテ
公益ヲ代表スルニ足ル人ト云フコ
トガ、オ爺サンデモ宜イコトモア
リマセウシ、若イ人デモ宜イコト
モアル、年齢ニ依リマセズ、マア
サウ云フ觀點カラ選ビベキモノダ
ト思ヒマス

○東委員 私ハ一應以上デ私ノ質
問ヲ終ル譯デアリマスガ、今マデ
御伺ヒテ致シタコトヲ綜合致シテ
參リマスルト、御答ヘハ區々デア
リマシテ、ハツキリシタコトヲ決
メル譯ニ參リマセヌケレドモ、私
ハ公共性ノ度合ノ強イ所ノ仕事、
而モ利潤追求ト云フヤウナ仕事デ
ナイ方面ノコトニ携ツテ居ル者、
殊ニ官吏、公共關係ノ仕事ニ從事
シテ居ルヤウナ者、サウ云フ者ハ
私ハ當然爭議行爲ニ出タリ、或ハ
「ゼネスト」ヲヤツタリスル、サ
ウ云フヤウナコトハ或ル猛烈ナ刺
戟ガナケレバ理不盡ナ刺戟——是
ハ言葉ガ言ヒ過ギカモ知レマセヌ
ケレドモ、理不盡ナ刺戟ガナケレ
バサウ云フヤウナモノハ起キナイ
ノデアル、現在ニ於ケル日本ノ狀
態ト云フモノハ、勿論爭議ハ頻々

トシテ起キテ居リマススケレドモ、
是ハ敗戦後ニ於ケル所ノ狀態デア
ツテ、此ノ程度ノモノハ當然ダラ
ウ、斯ウ云フヤウナ前提ノ下ニ私
ハ官公吏其ノ他ノ爭議權ノ否認、
斯ウ云フヤウナモノハ、是ハ空文
ニ過ギナイモノデアル、サウ云フ
モノヲ入レタツテ是ハ問題ニナラ
ヌ、斯ウ云フヤウナコトカラソレ
ヲ除イテ欲シイト云フコトト、ソ
レカラ抑制方面ニ付テ、公共的ナ
方面ニ一ツ中心ヲ置イテ「ケー
ズ・ロー」的ナ形デ以テ徐々ニ入
レテ行ク、サウ云フヤウナ形デ以
テ此ノ法律ノ大部分ヲ假ニ考ヘテ
見マス、サウ云フモノハ別途ニ
除ケテ、殘ツタ所ノモノハ勞働組
合法ノ施行規則ノヤウナ形デ以テ
現ハセバ十分ニ足リルノデハナイ
カ、斯ウ云フヤウナ感ジヲ持ツ譯
デアリマス、隨テ此ノ法律其ノモ
ノニ付テハ私ハ全體カラ考ヘテ見
マシテ、今早急ニ提案ヲシナクテ
モ宜イノデハナイカ、斯ウ云フヤ
ウナ考ヘヲ持ツテ居ル譯デアリマ
ス、之ニハ御返答ヲ戴カナクトモ
宜イ譯デアリマスガ、以上デ私ノ
大體ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○達澤委員長 通告順ニ依リマシ
テ荒畑勝三君ニ發言ヲ許シマス
ガ、此ノ際荒畑君サニ一寸御諮リ
致シマス、厚生大臣ハ豫算總會ニ
一寸十五分程時間ヲ貸シテ呉レト
云フ要請ガアルノデアリマス、ソ
レデ政府委員ニ對スル質問デシタ

ラ此ノ際直グ繼續シテ戴キタイト
思ヒマス、其ノ内ニ厚生大臣ガ十
五分カ二十分シテ直グ歸ツテ來
ラレルサウデスカラ、ソレカラヤ
ツテ戴キタイト思ヒマス
○荒畑委員 成ベク早ク御願ヒシ
タイト思ヒマス
○達澤委員長 ソレデハ荒畑君ニ
質問ヲ許シマス——荒畑君
○荒畑委員 質問ニ入リマス前ニ
一寸申上ゲテ置キタイノハ、私ハ
昨日初メテ此ノ委員會ニ出席シマ
シテ、今マデノ質疑應答ニ付キマ
シテハ仄聞シテ居ルダケデ詳細ニ
存ジテ居リマセヌ、私ノ質問ガ多
少重複スル點ガアリマシテ委員會
ノ諸君ニ冗漫ナ感ヲ與ヘル點ガア
ラウカト存ジマスガ、彼此關聯シ
テ居リマスノデ、ソレヲ一々整理
シテ行ク譯ニモ參リマセヌノデ、
其ノ點々御諒承ヲ願ツテ置キタ
イト思ヒマス

私ハ此ノ法案ニ關スル質問ノ第
一點ト致シマシテ勞働爭議發生ノ
原因ニ對スル政府ノ御考ヘヲ伺ヒ
タイト存ジタノデアリマスルガ、
併シ是ハモウ厚生大臣ガ爭議ノ主
因ハ生活問題ニアルト云フコトヲ
認メラレテ居ラレマスルカラ、其
ノ點ハモウ申上ゲマセヌ、爭議發
生ノ原因ガ生活問題ガ一番多キヲ
ナシテ居ル、本年ノ一月カラ三月
マデニ三百六十二件ノ中生活不安
ト云フノガ二百九十一件デ、壓倒
的ナ多數ヲ占メテ居ル、又隨テ合

計一千三百二件ノ中賃金増加ノ要求ガ三百八件デ第一位ニアルト云フヤウナ點ヲ見マシテモ、爭議發生ノ原因ガ生活問題ニアルト云フコトハ明白デアリマスシ、又賃金ノ増加ガ一般ノ賃金引上げニ依ルノデハナクシテ、爭議ヲヤツタモノダケガ資金引上げヲ得テ居ル、之ニ依ツテモ爭議ガ必然デアリ、又爭議ニ依ツテノミ労働者ガ福利ニ生活不安ニ追付クコトガ出來テ居ルト云フ事實ヲ擧ゲテ爭議發生ノ原因ニ對スル政府ノ御考ヘヲ伺ヒタイト思ツタノデアリマシタ云フコトヲ御認メニナレバ、ソレ以上ニ詳シク申上ゲル必要ハナイト存ジマス、是ハ厚生大臣ニ若シ分ラナカツタナラバ吉武サンガ能ク御説明ニナツテ戴キタイ、デ私ハ此ノ法案ハ、色々アリマスルガ、眼目ト云フモノハ、是ハ公益事業ニ於ケル爭議ノ制限、私カラ言ハセルナラバ實際的禁止デアアル、ソレト官吏ノ爭議ノ絕對的ナ禁止、此ノ二ツガ眼目デアリマシテ、他ハ要スルニ附ケ足シデアス、併シ此ノ當面一番問題ニナツテ居リマス主トシテ公益事業、此ノ從業員ト云フモノノ生活條件ハ他ノ一般産業ノ労働者ニ比ベテ惡クハアルガ好クハナイ、例ヘバ鐵道從業員ト通信從業員ノ如キハ此ノ法律ノ制定ニ依リマシテ最モ

大キナ影響ヲ受ケル労働者デアリマスガ、其ノ鐵道從業員ノ如キハ六大都市ノ例ニ付テダケ申シマシテモ、採用當時二十歳ノ獨身者ノ本俸ガ月額四十五圓、諸手当ヲ加ヘテ百八十五圓、ソレガ二十五年ヲ經マシテ當人ガ四十五歳ニナリ、夫婦ノ外ニ子供ガ四人モアルヤウナ六人ノ家族ニナリマシテモ本俸月額百二十五圓、諸手当ヲ加ヘテ七百三十二圓ト云フ合計ガ出テ居ルノデアリマス、合計七百三十二圓ニ過ギナイ、今日ノ暮シノ上ニ一人當リ一ヶ月百二十二圓デ暮シテ行ケルカドウカト云フコトハ、是ハモウ申スマデモナイノデアリマス、通信從業員ノ如キニ至リマシテハモウト惡イ、最近ノ統計ニ依リマシテ、通信從業員ノ平均給料ト云フモノハ四月五月頃ニ比シテ八十五%ノ増加ヲ示シテ居ルノデアリマスガ、ソレデモ尙ホ平均月額四百五十圓乃至五百圓ニ過ギナイノデアリマス、斯ウ云フ他ノ一般労働者ニ比ベマシテ一番待遇ノ惡イ、少クトモ宜クハナイ労働者ガ公益事業ノ労働者ナルガ故ニ、此ノ法案ノ成立ニ依リマシテソレヲ、ヤラナケレバ賃金ガ殖エナイ、現在賃金ガ殖エテ居ルノハ一般ノ工場ノ賃金引上ノ結果ニ依ルノデナクテ、總ニ爭議ヲヤツタ所ダケガ殖エテ居ル、是ハ厚生省勞務政局ノ調査ナンドアル、サウ云フ調査ニ依ツテモ分リマスヤ

ウニ、爭議ヲヤラナケレバ賃金ガ殖エナイト云フノガ一般労働者ノ狀態デアリマスノニ、斯ウ云フ、一般労働者ノ條件ヨリモモウト惡イ條件ニアル者ハ、單ニ公益事業ニ從事シテ居ルト云フダケニ依ツテ其ノ賃金引上ノ最モ有力ナ究極的ナ手段ヲ制限サレルト云フコトハ、私ハ是ハ不合理デハナイカト考ヘルノデアリマス、既ニ爭議ノ主因ガ生活問題ニアル、サウスレバ此ノ生活問題ト云フ一番大キナ原因ガ除カレナケレバ、隨テ爭議ト云フモノモ根絶ヤシニハ出來ナイ、爭議ヲ禁止スル法律ガアルト云フコトト爭議ガ發生スルト云フコトトハ別個ノ問題デアリマス、隨テ爭議ト云フモノハ現在ノ情勢ノ下ニ於テハ是ハ已ムヲ得ナイ、良イトカ惡イトカ云フ問題デハナイノデアリマス、已ムヲ得ナイ問題デアリマス、此ノ問題ガ已ムヲ得ナイ限リハ、是ハ業態トカ業種トカ云フモノヲ問ハナイノデアリマス、公益事業デアルトカ或ハ官公吏デアルトカ云ヒマシテモ、爭議ニ出デザルヲ得ナイヤウナ社會情勢ニ置カレテ居リマス限リハ、之ヲ唯一片ノ法律ヲ以テ禁止スルト云フコトハ、甚ダ不公ナコトデハナイイカト私ハ存ズルノデアリマス、例ヘバ現ニ大村内務大臣ガ先頃本委員會デ質問ニ答ヘタ所トシテ、私ガ新聞デ承知シタ所ニ依リマス、大村内相ハ下級警察官

ノ生活ガ一般ノ水準以下ニアルト認メテ居ラレ、ソレデ本俸増額ノ爲ニ豫算ヲ計上シテ居ラレト云フコトデアリマスガ、併シ其ノ額ハ僅カニ一千百萬圓ニ過ギナイ、一人當リ月額十圓内外ニ過ギナイト云フコトヲ此處デ御答辯ニナツタヤウニ新聞デ承知致シテ居リマスガ、斯ウ云フ風ニ下級官吏デアルトカ或ハ官營事業ノ從業員ト云フ者ハ、一般ノ労働者ヨリモ條件ガ惡イバカリデナク、或ハ給料デアルトカ或ハ豫算デアルトカ云フヤウナ關係カラ、一般ノ労働者ガ爭議ニ依ツテ直チニ其ノ要求ヲ實現シ得ルト云フノトハ非常ニ違ツタ狀態ニアルノデアリマス、中々要求ガ貫徹出來ナイ、寧ロ非常ニ不利ナ條件ニアル、其ノ不利ナ條件ニアル者ニ更ニ不利ナ條件ヲ課サウトスルノガ本法ノ根幹ニナツテ居ルト私ハ思フ、斯ウ云フ原因ヲ除去シナイデ、單ニ法律ニ依ル爭議ノ制限、禁止ダケヲ以テ臨ムト云フコトハ、是ハ單ニ爭議權ノ制限トカ否認トカ云フモノデハナクシテ、寧ロ今日ノ狀態ニ於テハ是ハ生活權ノ否認ニ外ナラナイモノト存ズルノデアリマス、此ノ點ニ關スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉武政府委員 只今ノ荒畑委員ノ御質問ノ、爭議ノ原因ガ生活問題デアルト云フコトニ付キマシテハ同感デゴザイマシテ、私共モ左様ニ存ジテ居リマス、隨テ只今官公吏及ビ官業ニ於ケル待遇ノ狀況ヲ御指摘ニナリマシタガ、從前是等ノ從業員ノ待遇ガ必ズシモ芳バシクナイト云フ點ニ付キマシテハ、私共モ夙ニ感ジテ居ル所デアリマス、隨テ政府ト致シマシテモ先般來是等ニ付キマシテ、從來ノ例カラ見ルナラバ相當思ヒ切ツテ待遇ノ改善ヲシタ譯デアリマシテ、七月カラソレヲ實施スルコトニナツタノデアリマス、併シ是トデモ決シテ非常ニ良イトハ存ゼラレマセヌ、是デ以テ十分ナ生活ガ出來ルカト云フト、私共モ左様ニハ存ジマセヌシ、今後トモ是等ノ待遇改善ニハ不斷ノ努力ナリ援助ヲシナケレバナラナイトハ存ジテ居リマス、是等ノ官業及ビ官吏ノ待遇ガ從前他ヨリ、ドチラカト云フト低イニモ拘ラズ、茲ニ又制限ヲ受クルノハ不合理デハナイカト云フ御言葉デアリマシテ、私共モ洵ニ氣ノ毒ダト思ツテ居リマス、併シナガラ是ハ前々カラモ申上ゲマスシ、又御承知ノコトト思ヒマスケレドモ、所謂公益事業、一般大衆ノ日常生活ニ直接至大ノ關係ノアル事業ニ於キマシテハ、直チニ爭議ニ入ルト云フコトハ穩當デゴザイマセヌノデ、本法デハ三十七條ニ於キマシテ、公益事業ニ付キマシテハ三十日間ノ猶餘ヲ置ク、其ノ内ニ出來得ベクンバ調停其ノ他ニ掛ケテ解決ガ望マシイ、

ドウシテモ解決が出来マセヌケレバ、三十日經ツテ爭議行爲ニ入ルノハ已ムヲ得ヌ、其ノ點ハ禁止シテ居ルノデハアリマセヌ、併シナガラ三十日間ノ期間ヲ置クト云フコトハ、爭議ノ力ニ依ルト云フ點カラ見ルナラバ、確カニ氣ノ毒ナ事情デアルト思ヒマセケレドモ、サウカト云ウテ一方大衆ノ不便ヲ考ヘマスナラバ、是ハドウモ已ムヲ得ヌ所デ、御忍ビヲ戴キタイノデアリマス、此ノ點ニ付テハ何處ノ國ニ於キマシテモ此ノ公益事業ニ付キマシテハ、大體三十日位ノ餘裕ヲ置イテ居ルノデアリマス、「アメリカ」等ニ於テハ、鐵道爭議ニ付テハ特ニ三十日間ノ期間ヲ置イテ、調停ニ掛ケテ、而モソレデ解決シナカツタナラバ、更ニ三十日間ヲ置イテ、初メテ爭議ニ入ル、最長ノ場合ハ六十日ヲ置クト云フヤウナノモアルノデアリマス、又アメリカノ各州ノ狀況ハ私詳細ニハ存ジマセヌケレドモ、州ニ依ツテ違フガ、大體三十日或ハ三十日以上ノ餘裕ヲ置イテ居ルモノガ多イト云フヤウニ聞イテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ御話ノ爲ニ氣ノ毒ナ事情ニアリマスガ、公益ノ爲ニツ御諒承ヲ戴キタイト思ヒマス

尙ホ官吏ニ付キマシテモ待遇ガ必ズシモ良クゴザイマセヌ、是ハ皆サンニツ御同情ヲ戴キタイト思フノデアリマスガ、是モ先般現

業ト一緒ニ相當ノ改善ヲ致シマシタ、今後トモ又之ニ付テハ努力ヲ致サナケレバナラナイト存ジテ居リマス、是等ノ官吏ニ付キマシテノ爭議行爲ノ制限ヲ致シマシタハ、是レ亦厚生大臣方屢々申シテ居リマスヤウニ、國務ノ遂行ハ一日モ之ニ支障ガアツテハ洵ニ相濟ミマセヌノデ、已ムヲ得ズ斯ウ云フ制限ヲ置イタノデアリマス、併シナガラ是等官公吏ハ公益事業ナリ或ハ又一般ノ官公吏ニ付キマスヲ待遇改善ハ、爭議ノ手段ニ出デナイデモ、何等カノ努力ナリ方法ナリ或ハ皆サンノ御同情ニ依ツテ解決ノ途ガアルノデハナカラウカ、最後ニ爭議權ト云フモノノ發動ニ依ルト云フコトハ確カニ強イ主張デアリマスケレドモ、一方他面斯ウ云フ公共事業ヲ考ヘマスナラバ、其ノ點ノ御辛抱ヲ願ヒマシテ、他ノ方法ヲ以テ何等カ合理的ニ是ガ改善サレルコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス

○荒畑委員 只今吉武政府委員ノ御答辯ニ付キマシテハ、尙ホ後程私ハ言及致シタイト存ジマスガ、質問ヲ進メマシテ第二御質問致シタイコトハ、罷業權ヲ含メタ勞働爭議權ト云フモノニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、爭議權ト云フモノハ勞働組合法ニ依ツテ確認サレマシタ勞働組合ノ基本的ナル權利デアリマス、勞働組合ハ資本主義制度ノ下デハ必然

的ニ作ラザルヲ得ナイ勞働者ノ自衛的組織デアリマス、サウシテ其ノ爭議權ハ勞働者ガ要求ヲ貫徹スル上ニ最モ有效且ツ究極ノ手段ナノデアリマス、資本主義制度ノ下ニ於キマシテハ、勞働力ハ一個ノ商品トシテ扱ハレテ居ル、是ハ異論ノアルナシニ拘ラズ嚴然タル事實デアリマス、隨テ其ノ商品ノ價格デアリマスル賃金ト云フモノハ他ノ一切ノ商品ト同、ノ法則ニ支配セラレテ居ル、サウシテ公私ノ雇主トノ間ニ斯カル性質ノ代金ノ給付ニ對シテ取引サレテ居ルノデアリマス、今日ノ毎日新聞ノ記事ニ依リマス、平山運輸次官ハ新聞記者ノ間ニ對シマシテ、戰爭中二十七萬圓デ出來タ電氣機關車ガ今日デハ四百五十萬圓掛カル、石炭ハ「トン」二十一圓ガ百五十圓モスル、「レール」ハ十九倍ニナクテ居ルシ、枕木ハ十八倍ニナクテ居ル、「セメント」ハ十四倍ニナクテ居ル、隨テドウシテモ運賃ヲ上ゲザルヲ得ナイト云フコトヲ言ツテ居リマス、サウシテ運賃ノ値上ハ物價ニ影響シ、私生活ヲ脅カスコトニナリハセヌカト云フ質問ニ對シマシテ、ソレハ逆ダ物價ガ暴騰スルノデ運賃ヲ上ゲザルヲ得ナクナツタノダト、斯ウ答ヘテ居リマスガ、此ノヤウニ物ハ生産ガ足リナクナレバ高クナル、高イモノデモ無イ物ハ高イ値ヲ出シテ買ハナクテハナラナイシ、厭ナラ買

ハナイマデノ話、是ガ今日資本主義制度ノ下ニ於テ行ハレテ居ル平等ナル自由ナル民主主義的ナル取引デアリマス、サウシテ勞働組合ガ確認シテ居リマス爭議權トカ罷業權トカ云フモノハ早ク申セバ勞働者ガ其ノ勞働力ヲヨリ高ク賣ル爲ニ、或ハ値段ガ折合ハナケレバ賣リタクナイ、賣ラナイト云フ權利ノ確認ニ外ナラナイノデアリマス、公益事業ノ勞働者ヤ官公吏ニ對シマシテモ今日組合ガ認メラレテ居ル、隨テ團體權ヤ團體交渉權ガ認メラレテ居ル、是ハ認メラレテ居リマスネ——サウスルト是ハ即チ公益事業ノ勞働者ヤ官公吏ガ其ノ勞働力ヲ商品トシテ賣ル上ニ成ベク有利ニ取引スル權利ヲ認メタコトニ外ナラナイト私ハ思フ、ソレナラバ獨リ其ノ商品ノ價格取引ニ關スル爭議權ヲ制限スル或ハ禁止スルト云フコトハ不正デアルバカリデナク不合理デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、資本主義制度ノ下デハ必然的ニ勞働權ト爭議權トハ不可分ノ關係ニアルト私ハ考ヘル、隨テ勞働者カラ爭議ノ權利ヲ制限スル又ハ剝奪スルト云フノハ即チ勞働ノ權利ヲモ否定スル結果トナラザルヲ得ナイト考ヘルノデアリマス、是ハ矛盾ニ違ヒナイ、確カニ矛盾デアリマス、併シ此ノ矛盾ハ資本主義ニ固有ノ矛盾デアリマシテ、斯ウ云フ矛盾ヲ解決シヨウトスレバ、是ハ

資本主義制度ヲ根本的ニ改メルヨリ外ニナイ、資本主義制度ヲ認メテ居ル限りハ斯ウ云フ制度ハ已ムヲ得ナイ矛盾デアル、私共ハ多少ノ不便、多少ノ不都合ガ生ジマシテモソレハ辛抱スルヨリ仕方ガナイ、厭ナモノハ其ノ根本原因ヲ除クコトニ努力スルヨリ外ハナイノデアリマス、其ノ不可分の關係ニアル勞働爭議ノ權利ヲ制限禁止スルト云フノハ、結果ニ於テ勞働組合ヲ彈壓スルモノダト、斯ウ言ハナケレバナラナイト私ハ考ヘ、サウシテ是ガ今日此ノ法案ニ對シテ勞働者ガ一齊ニ反對シテ居ル根據デアリマス、此ノ點ニ關シテ政府當局ハ如何ナル御見解ヲ執ラレカ伺ヒタイ

○吉武政府委員 只今荒畑委員ノ仰セラレマシタ組合ニ於ケル爭議權、是ハ今日ノ制度ニ於テハ基本權デアリ、現在ノ制度ニ於テ不可分ナモノデアルト云フ御説ニ付キマシテハ私共モ同感デゴザイマス、勿論左様ニ考ヘテ居リマス、隨テ正當ナル爭議權ノ發動ニ付キマシテハ、政府ハ之ヲ抑壓シヨウト云フ考ヘハ毛頭ゴザイマセヌ、唯本法ニ於キマシテ制限ヲ加ヘテ居リマスノハ、御承知ノヤウニ公益事業ト官公吏ダケデアリマシテ、其ノ他ノ一般ニ付キマシテハ當然勞働組合ヲ認メル以上、組合ノ持つ爭議權ノ發動、是等ニ付キマシテハ當然權利ノ行使ト私共

ハ存ジ、之ヲ制限シナイヤウニ存
ジテ居ル譯デアリマス、又公益事
業ニ付キマシテモ制限トハ申シマ
スガ、實ハ三十日間ノ豫告ヲ與ヘ
テ、出來得ベクバ其ノ間ニ解決ヲ
スレバト云フコトト、一般ノ大衆
ニ其ノ間ニ用意ヲシテ迷惑ノ少ク
ナルヤウニト云フ趣旨デゴザイマ
ス、三十日間ノ豫告ヲ置クコト
ハ、爭議ノ發動ニ於テハ確カニ一
ツノ痛手デハアラウト思ヒマスケ
レドモ、決シテ爭議權ヲ剝奪シタ
ノデハゴザイマセヌデ、三十日間
經テバ自分達ノ正當ナル主張ガ若
シ容レラレナケレバ爭議ノ發動ニ
入ルコトハ正當視サレテ居ルノデ
アリマス、又組合ト致シマシテ
モ、爭議ガ目的デハナカラウト私
ハ思ヒマス、正當ナル主張ガ容レ
ラレ、便宜ノデアリマシテ、爭
議ハ出來得ベクバナクシテ解決ス
ルト云フコトハ恐ラク荒畑委員モ
御諒承ニナツテ居ルコトト思フノ
デアリマス、三十日間ノ豫告ヲ與
ヘルコトガ爭議ノ發動ニ確カニ一
ツノ痛手デアルト云フ點ハ御同情
申上ゲタイノデアリマス、ケレド
モ、併シ之ヲ以テ今仰セラレマシ
タ正當ナル爭議權ノ發動ヲ抑ヘル
ト云フ趣旨デハゴザイマセヌデ
御諒承ヲ戴キタイト思ヒマス、唯
官吏——官吏ニ付キマシテモ現業
ハ除イテ居リマシテ、現業ハ一般
ノ會社其ノ他ニ於ケル公益事業ト
同様ニ取扱ツテ居リマス、唯所謂

國政事務ヲ掌リマスル官吏其ノ他
ノ者ニ付キマシテハ、是ハ所謂國
務ノ遂行ト云フ非常ニ重要ナ性質
ヲ持ツテ居リマス、此ノ點ニ
付テハ洵ニ氣ノ毒デアリマス、ケ
レドモ、爭議行爲ニ出ヅルコトヲ制
限シタノデゴザイマス、之ニ付キ
マシテハ政府ト致シマシテモ制限
致シマスル限リハ、是等ノ待遇改
善ニ付テ不斷ノ努力ヲ拂ヒ、注意
ヲ拂ハナケレバナラナイト云フ責
任ヲ感じテ居ル次第デゴザイマス
○荒畑委員 只今ノ吉武政府委員
ノ御答辯デ、此ノ法律ノ眼目ガ私
ノ申シマシタ通りニ、一般ノ産業
ニ對スル問題ハ、是ハ附ケタリデ
アツテ、公益事業、官公吏ノ爭議
權ト云フモノヲ狙ツテ居ルト云フ
コトガ明白ニナツタノデアリマ
ス、ソコデ私ハ更ニ公益事業ト其
ノ爭議ニ關スル政府ノ御所見ヲ伺
ヒタイ、私ノ見マスル所デハ、本
法ニ規定サレテ居リマスル公益事
業ト云フモノノ性質ガ甚ダ曖昧デ
且ツ不合理デアルト存ズルノデア
リマス、例ヘバ運輸、電氣又ハ「ガ
ス」醫療ト云フモノガ加ハツテ居
リマスガ、是ハ成程皆公衆ノ用ニ
供スル事業ニ違ヒナイ、隨テ明白
ニ公益事業ノ性質ヲ帶ビテ居ルモ
ノデアリマス、併シナガラ是等ノ
事業ノ中ニハ其ノ性質ハ公益事業
デアアルガ、私的ニ經營サレテ居ル
モノガ又決シテ少クナイノデアリ
マス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレ

バ、公益ノ性質ヲ有スル事業ガ利
潤追求ヲ目的トスル私營ニ委ネラ
レテ居ル、是ハ私ハ非常ナ矛盾デ
アラウト考ヘルノデアリマス、政
府ハ動モスレバ公益事業ノ爭議ニ
依ツテ公衆ガ非常ニ迷惑ヲ蒙ルト
云フコトヲ口實ニセラレテ居リマ
スルガ、併シ公益事業ニ偶ニ起ル
爭議ニ依ツテ公衆ガ迷惑スルヨリ
モ、社會公衆ハ、斯ウ云フ利潤追
求ヲ目的トシテ私的ニ經營セラレ
テ居リマスル所謂公益事業ノ爲
ニ、常住不斷ニ損害ト迷惑ヲ蒙ツ
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ事
業ノ勞働者ノ爭議權ヲモ、單ニ事
業ノ公益性ト云フ爲ニ制限スルノ
ハ不當デハナイカ、不合理デハナ
イカ、初期資本主義ノ自由放任主
義經濟ガ認めラレテ居リマシタ時
代ニハ、成程所謂公益事業モ他ノ
企業カラ截然ト區別スルト云フ理
由ハアツタニ違ヒナイ、併シ今日
デハ一般企業ノ公益性ト云フモノ
ガ認めラレテ居リマス、最早純然
タル利潤追求ノ對象トスルコトヲ
許サレテ居ラナイノデアリマス、
隨テ所謂公益事業ノ特殊性ト云フ
モノハソレダケ減ツテ居ル譯デア
リマスカラ、企業ノ公益性ト云フ
コトヲ根據トシテ從業員ノ爭議權
ヲ制限スル理由ハ存シ得ナイト私
ハ考ヘル、今日如何ナル企業ト雖
モ、社會公衆ノ日常生活ニ深甚ナ
關係、影響ヲ持タナイモノハナイ、
例ヘバ炭坑ノ「ストライキ」ガ若

シ全國的ニ全産業的ニ廢汎ニ起リ
マシタナラバ、鐵道モ「ガス」モ是
ガ爲ニ停止、癱瘓セラレレルニ違
ヒアリマセヌ、左様ニ現代ノ複雑
錯綜シタ産業制度ト云フモノハ、
企業ノ私利ト公益トヲ殆ド區別
スルコトガ出來ナイ程ニ密接ナ關
係ヲ持ツテ入り組ンデ居リマス、
何時モ截然ト是ハ私利事業デア
ルハ公益事業デアルト區別スルコ
トハ出來ナイト私ハ思フ、サウ云
フ點デ公益事業ト云フモノノ定義
ガ非常ニ曖昧デハナイカト考ヘル
ノデアリマス、又政府委員ハ頻リ
ニ公衆ノ生活ニ迷惑ヲ及ボス公益
事業ノ勞働者爭議ト云フコトヲ制限
ノ大キナ理由トサレテ居リマス
ガ、斯様ニ如何ナル事業モ公益、私
利ト云フコトヲ截然ト區別シ得ナ
イ今日ニ於キマシテハ、ドノ産業
ノ勞働者爭議トモ、直接間接ニ多
少ノ迷惑ヲ社會公衆ニ及ボサナイ
デ行ハレルト云フモノハ私ハナイ
ト思フ、就中交通事業ノ如キハ特
ニサウデアルト云フコトハ、モウ
明白ナ事實デアリマス、何人モ之
ヲ認ムルニ各カデハアリマセヌ、
此ノ社會公衆ニ迷惑ヲ及ボスト云
フ事實ガ、無辜ノ局外者ニ傍杖ヲ
食ハスモノデアアル、斯ウ云フ非難
ノ起ル所以デアリマシテ、又本法
制定ノ要求ガ起ツタ本當ノ理由デ
アルト考ヘルノデアリマス、併シ
ナガラ資本主義社會ニ生活スル者
ハ、資本主義經濟ニ固有ナ勞働者

爭議ニ對シテ決シテ局外者デハアリ
得ナイト思フ、第三者ト云フモノ
デハアリ得ナイト思フノデアリマ
ス、例ヘバ官公營ノ所謂公益事業
ニアリマシテハ、是ハ實ハ其ノ雇
主ト云フモノハ市民或ハ國民デア
ル、隨テ斯ウ云フ公益事業ニ起ツ
タ爭議ハ、國民自身ガ自分ニ向ケ
ラレタ爭議ナノデアリマス、其ノ
爲ニ迷惑ヲスル、不都合ヲ感ズル
不便ヲ感ズルト致シマシテモ、ソ
レハ決シテ局外ノ第三者ガ爭議ノ
傍杖ヲ食ツタト云フコトデハナイ
ノデアリマス、國民或ハ都民自身
ガ直接ノ關係者ナシデアアル、自分
ノ使ツテ居ル用人ガ爭議ヲシテ
居ル、例ヘバ電車鐵道ハ公衆ノ
謂ハハ足デアリマス、而モ公衆ト
云フモノハ、一般的ニハ平生ニ於
テ自分ノ足デアアル勞働者ノ生活ト
カ福祉トカ云フコトニ付テ考ヘテ
居ル人ハ殆ドナイノデアリマス、
其ノ足方運轉ヲ止メマシタ時ニ、
サウシテ自分ガ足ヲ取ラレテ不都
合、不便、不自由ヲ感ジタト云フ
時ニ、僅カニ初メテ勞働者ノコト
ニ考ヘテ及ボス、而モソレモ正當
ナ待遇トカ其ノ要求ノ正否ニ付テ
考ヘルト云フ人ハ殆ドナクテ、自
分ガ旅行ニ不自由デアルト云フ所
カラ、直チニ之ヲ非難攻撃スルト
云フノガ世間一般ノ事情デアリマ
ス、デアリマスカラ、鐵道、通信
兩從業員ノ最近ノ過去ニ行ハレタ
爭議ノ如キモ、先程私ノ舉ゲマシ

タ生活條件が、一般ノ産業労働者ニ比シテ頗ル惡イニモ拘ラズ、隨テ其ノ待遇改善ノ要求ト云フモノハ、社會ノ一般常識カラシテ極メテ正當ナルニモ拘ラズ、部分的ナ要求ノ貫徹ヲ見ルニサヘモ數箇月ヲ要シタ、殊ニ社會ハ一般ニサウ云フコトニ對シテ餘リ關心ヲ拂ツテ居ラス、是ガ公益事業ノ労働者ノ置カシテ居ル狀態デアリマス、例ヘバ鐵道ニ致シマシテモ、政府ハ企業整理ニ基ク大量失業ノ出鼻ニ先ヅ鐵道従業員ノ解雇ヲヤラウトシテ居ル、是ガ公營、私營トハ問ハズ雇主ト労働者トノ今日ノ狀態デアリマス、公益事業ダカラト云ツテ特別ナ保護ヲ受ケテ居ラナイ、非常ナ責任ヲ背負ヒ非常ナ制限ヲ受ケテ居ルニモ拘ラズ、何等ノ保護モ受ケテ居リマセヌ、鐵道ト云フモノハ恐ラク公益事業中ノ大宗デアリマセウガ、其ノ従業員ハ任務、職責ノ重大ニ反比例シテ不安定極マル生活ヲ送ツテ居ル、最近鐵道當局ノ言明ニ依リマシテモ、鐵道従業員ノ勤務時間ハ十二時間ニモ及ンデ居ル、或ハ「ワン・ストレックス」二十四時間ニモ及ブコトガアル、ソレカラ年少労働者ノ深夜業デアルトカ危險作業ヲ禁止スルトカ云フコトガ非常ニ困難デアル、連結作業ノヤウナ危險ナ仕事ハ主トシテ體ノ柔軟ナ年少労働者ノ仕事デアルカラ、他ノ工場労働者ニ於キマシテハ年少労働

者ノ就業ヲ禁止スルト云フヤウエ法案ガ近ク考ヘラレテ居リマスルニモ拘ラズ、鐵道デハ之ヲ其ノ中ニ入レルコトニ反對ノ態度ヲ明白ニ表明シテ居ル、斯ウ云フ狀態ナノデアリマス、而モ一年ニ六百人ヲ超エル多數ノ職員ガ鐵道事故ノ爲ニ死亡シテ居ル、其ノ原因ノ如キモ、作業ノ危險ニ拘ラズ、安全施設ガ十分ニ存シテ居ナイ、ソレガ原因デアルト云フコトヲ鐵道當局ガ表明セラレテ居ル、是ハ古武サシモ御承知ノ筈デアリマス、斯様ニ國家ノ經營ニ係ル六十萬ノ大衆ヲ擁シテ居リマスル國鐵従業員ニシテ、尙ホ且ツ斯クノ如キデアリマス、況ンヤ私營ニ委ネラレテ居リマスル場合ニ於テハ、是ハ想像ニ餘リアルモノガアル、單ニ公益ノ名ニ依ツテ是等ノ従業員ノ爭議權、其ノ爭議權ト云フモノハ、鐵道、全通ノ場合ニ於ケルト同様ニ、是ナクシテハ僅カナ其ノ正當ナ要求ノ部分の貫徹スラモ期スルコトガ出来ナイト云フヤウナ、有效ニシテ究極の手段、是ガ單ニ公益ノ名ニ依ツテ制限セラレルト云フコトハ、實際ノ問題カラ中シマシテ、單ニ抽象的のソレガ國家ノ利益デアルトカ、社會ノ利益デアルトカ云フヤウナ抽象的ナ言葉ダケデ之ヲ實際上ニ於テ禁止スル、此ノ三十日間ノ期限ト云フコトニ付テハ私ハ後ニ申シマ

スガ、私ハ是ハ實際上ノ禁止ダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、實際上ニ禁止スルト云フコトハ甚ダ不合理デアルト存ズルノデアリマスカ、此ノ點ニ關スル御所見ヲ伺ヒタイ

○吉武政府委員 荒畑サシノ今ノ御質問中ノ第一點ハ、本法デ公益事業等ヲ取扱ツテ居ル第八條ヲ見ルト、是ガ國家公共ノ企業トシテ行ハレルモノノミナラズ、一般ノ營利ヲ目的トスル私營事業ニモ同様ニ取扱ハレテ居ルコトハイカヌデハナイイカト云フ御趣旨ノヤウニ存ジマス、御尤モ、點モアルノデゴザイマスガ、實ハ此ノ法律ハ度々申シマスルヤウニ、誰ヲ保護シ、誰ニ味方スル譯デハナイノデアリマシテ、専ラ、一般ノ企業ニ付キマシテ、爭議權ヲ確認シ、其ノ場合ノ調停ノコトヲ考ヘテ居ルダケデアリマシテ、唯、一般ノ公衆ニ直接關係ノ深イモノニ若干ノ制限ヲ加ヘル、ソコデ、一般ノ公衆ノ日常生活ニ直接影響イテ來ルモノヲ最小限度此ノ八條ニ列記ヲ致シマシテ、之ニ付キマシテハ、三十日間ノ餘裕ヲ與ヘル、汽車ヲ旅行ヲシテ居ツタ所ガ、ダン拔ケニ途中デ下サレテ、往クモ歸ルモナラナイト云フ風ナコトガアツテモナラナイト云フコトデ、是ハ置イテ居ルノデアリマス、サウ云フ性質ノ下ニ置イタ規定デゴザイマスルカラ、其ノ汽車ガ、國ガ經營致シマ

シテモ、或ハ民間ノモノガ經營致シマシテモ、サウ云フ趣旨カラ行ケバ同様デゴザイマスノデ、是ハ同ジヤウニ取扱ツテ居ルノデアリマス、唯斯ウ云フ公益事業ヲ私營ニ任シタ場合ニ、其ノ私營ヲ營利ノ儘ニ任スベキデハナイト云フ趣旨デアリマスナラバ、是ハ私モ亦考ヘナケレバナラヌ所ガアルト考ヘマスルガ、ソレハ又別個ノ觀點カラ監督ナリ又補整ヲ致スベキモノデハナカラウカト存ズル次第デアリマス、尙ホ公益事業ニ付テハ只今御話ガアリマシタヤウニ、鐵道ニ致シマシテモ、其ノ他ニ致シマシテモ、爭議ガ起ルト一般ノ大衆ガ常ニ迷惑ダト云フヤウナコトバカリ言ツテ、ソレニ對シテ大衆ガ如何ナル責任ガアルカト云フコトガ分ラナイト云フコトハ、是ハ御尤モナ點デゴザイマス、普通サウ云フ風ニ取ラレ勝チデアリマスガ、一般大衆モ亦是等ノ公益事業ニ付テハ平素カラソレ等ノ従業員ガ如何ニ苦勞シ、如何ナル條件デアルト云フコトニ對スル深甚ナル同情ト關心ヲ拂ハレナケバナラナイト云フコトハ御話ノ通りダト存ジマス、又往々國鐵其ノ他ガ、一般ノ企業ニ比ベテ労働保護ノ點ニ特別ノ扱ヒヲシテ居ルト云フヤウナ點ヲ御指摘ニナツタヤウデゴザイマスガ、我々ハ從來ハ兎モ角ト致シマシテ、今後ハソレガ國家ノ經營デアラウト、民間ノ經

營デアラウト、必要ナモノハ同様ニ取扱ツテ行キタイ考ヘデ居リマス、隨ヒマシテ本法デモ三十八條ニ官吏ニ對スル爭議行爲ノ制限ヲシテ居リマスルガ、此ノ點カラ現業ヲ除キマシタ所以モ、是ハ國ガ經營シテ居ルカラト云フコトデ、官吏ノ制限ト一緒ニシテ、之ヲ制限スルト云フコトハ趣旨ニ反スル、是ハ國家ガ經營シヨウト、民間ガ經營シヨウト、其ノ性質ニ於テハ同様デゴザイマスカラ、現業ニ付キマシテハ三十八條カラ外シテ、ソレガ公益事業ニ該發スル場合ハ一般ノ民間ガ鐵道ヲ經營シテ居ルノ同様ニ、三十七條デ取扱フコトニシテ居ルノデアリマス、今後又新シク立法ヲ企圖シテ居リマス労働保護法デアリマスガ、基準法等ニ於キマシテモ勿論國鐵其ノ他ニ於ケル労働條件ハ、一般ニ支持致シマスルト同様ニ取扱ハナケレバナラナイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○荒畑委員 政府委員ハ爭議行爲ノ制限ガ三十日デアツテ、是ハ爭議ヲ禁止スルモノデハナイ、唯世間ニ、公衆ニ迷惑ヲ及ボサザイ爲ニ豫告期間ヲ置カセルノダ、抜打爭議ヲヤラセナイ爲メダ、米國ノ如キハ鐵道ニ關シテハ六十日モアルガ、日本ハ僅ニ三十日ダ、斯ウ云フヤウナ屢ニ御説明デアリマスルガ、一體「アメリカ」ト日本ト私ハ同一ニ取扱フコトハ出来ナ

イ、「アメリカ」バカリデハナイ、西洋ノ諸外國ト日本ト、私ハ同一ニ扱ヘナイ、外國ノ勞働者ハ強大ナル勞働組合ヲ持ツテ居ル、或ハ強大ナル勞働者ノ政黨ヲ其ノ背後ニ持ツテ居ル、サウシテ勞働組合ト資本家トノ間ノ協議機關モ十分ニ備ハツテ居ル、今日本ニ三十日ノ期間ヲ置クト云フコトハ大シテ論議モナク、勞働者側ニ取ツテ不利デモナイト言ハレルガ、併シナガラ日本ノヤウナ昨日、今日雨後ノ筈ノヤウニ出來マシタ唯形ダケハ具ハツテ、其ノ内容ノ未ダ全ク具ハツテ居リマセヌ勞働組合ノ初步的ナ發展段階ニアリマス勞働組合ノ場合、假令三十日ニ致セ、斯ウ云フ期間ヲ設ケルト云フコトハ、「アメリカ」ハ斯ウデアル、諸外國モ斯ウデアル、「アメリカ」ハ六十日デアルト云フヤウナ一般論ヲ以テシテハ、私ハ律スルコトハ出來ナイト思フ、此ノ規定ニ依リマス公益事業ニ關スル事件又ハ其ノ性質若クハ規模ニ依リ、公益著シク障害スル事件ハ、三十日ヲ經ナケレバ爭議行爲ヲナシ得ナイ、斯ウ云フコトガアルノデスネ

○吉武政府委員 只今ノ三十日ノ豫告期間ヲ要求致シマスルノハ公益事業デゴザイマスルカラ、其ノ公益事業ノ範圍ハ第八條ニ指定シテ居ルモノダケデゴザイマス、デスカラ今御話ニナリマシタノハ公益事業ノ以外ニ、性質又ハ規模等ヲモ含メテオイデニナリマスケレドモ、ソレハ此ノ中ニ入ツテ居リマセヌ、八條ノ公益事業ダケニ付テ三十日ノ制限ヲ設ケテ居リマス

○荒畑委員 一年間ノ規定ニ服セシメル事業デセウ

○吉武政府委員 モウ一度申上ゲマス、三十七條ニ於キマシテ、公益事業ニ付テハ調停ニ掛ケテカラ三十日經タナケレバ爭議行爲、詰リ「ストライキ」トカサウ云フヤウナ行爲ニ出テハイケナイ、斯ウ云フヤウニ要求シテ居リマス、サウシマス、重大ナ制限ニナリマスカラ、諸公益事業トハドウ云フモノカト云フコトヲ限定シナケレバナリマセヌノデ、第八條ヲ以テマシテ此ノ法律デ公益事業ト云フノハ次ノ運輸事業、郵便、電信、電話、水道、電氣、瓦斯、醫療、公衆衛生、此ノ四ツニ限定ヲシテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ四ツダケデ今後ノ狀況ニ是レデ宜イカ、時代ノ推移ニ伴ツテ是レ以外ノモノデ、是同等以上ノモノガ出テ來ヤシナイカ、サウ云フ點ヲ豫想シマシテ、第二項デ若シサウ云フモノガ起ツタ時ニハ、勞働委員會ニ掛ケテ、一年ヲ限ツテ、詰リ一應豫想サレナイ時局的ナ、例ヘバ食糧配給等ニ付キマシテハ、先般來御話ガゴザイマシタガ、今日ノ時局ニ於キマシテハ最重要ナコトデアラウトハ思ヒマス、併シナガラ是ハイツマデモト

ハ考ヘラレナイ、時局的ナモノデアリマスカラ、若シサウ云フモノガ此處ニ列記シテ居ル以上ノ重要性ヲ持ツト云フコトデアリマスカラバ、勞働委員會ニ掛ケマシテ、一年間ヲ限ツテ指定ヲスルト云フコトデアリマス

○荒畑委員 イヤ分ツテ居リマス、私ノ申シマスノハ後ノ一年間ヲ限ツテ斯ウ云フ規定ニ嵌メ得ルカト云フコトデアリマス

○吉武政府委員 左様ナ必要ガアレバ考ヘラレルノデアリマス

○達澤委員 荒畑君ニ一寸御諮リ致シマス、實ハ今日四時過ギカラ經濟閣僚會議ガアルサウデス、ソコデ今色々委員長ノ所デ取り運ビラシマシテ、運輸大臣ト大藏大臣トニ松岡君ノ質問ガアリマスノデ、此ノ際大變御迷惑デセウケレドモ、之ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○荒畑委員 宜シウゴザイマス

○達澤委員 松岡君ノ通告ノ順序ヲ變更致シマシテ、松岡君ノ發言ヲ許シマス——松岡君

○松岡(駒)委員 私ハ餘り多クノ前提ヲ置カナイデ短刀直入ニ運輸大臣ニ明確ニ御答辯ヲ御願ヒシタイツノ事柄ガアルノデアリマス、鐵道デハ今日ノドノ新聞デシタカラ見マシタガ、私共ハ乗車券ヲ買ヒニ行キマシテモ二ツノ窓口ガアルノニ拘ラズ一箇所シカ窓口ヲ開イテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ

狀態デアリマシテ、大變ナ列ヲナシテ一般鐵道利用者ハ随分迷惑ヲ感ジテ居ルノデアリマス、然ルニ鐵道當局ハ冗員ガアルトシテ人員整理ヲ企圖サレテ居ルノデアリマス、鐵道從業員諸君ハ其ノ當局ノ整理ニ對シテ絶對ニ反對ダト云フノデ、私ハ昨日登院シテ居リマシタノデ其ノ吹鳴ヲ耳ニスルコトガ出來マセヌデシタケレドモ、全國一齊ニ汽笛ヲ鳴ラスト云フヤウナ方法ヲ執ツタカノヤウニ新聞ハ報道シテ居リマス、或ハ此ノ問題ノ扱ヒ方如何ニ依リマシテハ、國鐵ノ全員ガ或ハ總罷業ニ懸ヘルト云フヤウナコトモナキヲ保セズト私ハ非常ナ心配ヲシテ居ル譯デアリマス、一體先ニモ申上ゲマシタ通り、窓口ガ幾ツカアツテ一ツシカ開カナイデ出札ガ行ハレテ居ル、斯ウ云フ狀態ニアツテ、サウシテ人ヲ整理シナケレバナラス、何ガ故ニ一體冗員ガアルナラバソレヲ其ノ方面ニ廻サナイカ、是ハ單ナル一ツノ例ニシカ過ギナイノデアリマス、或ハ保線ノ方ニ女子ヲ廻ス譯ニモ行キ兼ネルデゴザイマセウ、ドウ云フ方面ニ一體冗員ガアツテ、ドウ云フ方ニ人ヲ轉換スルト云フコトガ出來ルノデア

ルカ、サウ云フコトヲ計畫シ、考ヘテ居ラレタノデアルカ、サウ云フ人ノ置換ヘテ考ヘタケレドモ、ソレガ不可能デアルガ故ニ餘儀ナク整理ヲ斷行シナケレバナラナイヤウナコトニナツタノデアルカ、今日鐵道ヲ發表シテ居ラレマスヤウナ人ノ整理ヲ行フニ至ルマデニ、鐵道當局ハドウ云フ點ヲ研究シ、考慮サレタカ、或ハ鐵道ト組合トノ間ニドウ云フ交渉ガ行ハレテ居ルカ、此ノ際明瞭ニ御聽キシタイノデアリマス

○平塚國務大臣 鐵道從業員ハ戰時中非常ニ殖エテ居リマス、御承知ノ通り輸送力ハ戰災ノ爲ニ反對ニ減ツテ居ルノデアリマス、色々復舊ノコトヲ急イデ居リマシテモ、資材ノ關係其ノ他デ中々復舊ガ捗ガ行キマセヌ、一方殖エタ人ダケデナク外地ノ復員、又歸還者ガ人ツテ參リマスルト、運輸省トシテハ是ハ一應全部收容ヲシナケレバナラヌノデアリマス、隨テ現在デモ多イノデアリマスガ、六月頃ハ、五十二萬餘デアツタノデアリマスガ、現在既ニ五十五萬ニナツテ居ル、是ガ更ニ年末マデモウ六萬人位殖エルダラウト思ヒマス、サウシマス六十一萬ノ職員ニナルノデアリマス、鐵道ノ經營カラ見マシテドレダケノ人ガアツタラ宜イカ、所謂鐵道ニハ輸送力ニ伴ウタ定員ガゴザイマス、其ノ定員デ動力セルノデアリマシテ、定員ヲ決メマスルトソコデドウシテモ十二分ニ近イ人ガ餘リ譯デアリマス、併シナガラソレダケ餘ルカラト云ツテ、將來ドン／＼鐵道ノ復舊モ行ハレルノデアリマシ

一六九

ニ、急激ニソレヲ減ラスト云フ譯ニモ勿論イカスノデアリマシテ、順序ト致シマシテハ、先づ大體七萬五千里程度ヲ減ラシテ、後ハ暫ク保有シテ置ク、斯ウ云フヤウナ觀點カラ先般來色々協議ヲ致シマシテ、今回整理スルト云フコトニ方針ガ決マリマシテ、從業員組合ニモ豫メ話合フシテ居ル次第デアリマス、尤モ先般待遇改善問題デ爭議ガ起リマシタ時ニ、組合ノ代表者ガ大勢私ト會見ヲシテ居ル時ニモ、出來ルダケ諸君ノ要求ヲ容レルヤウニ自分ハ努メルケレドモ、併シナガラ鐵道從業員ノ多イト云フコトハ、是ハ今日一般ノ輿論デモアルシ、私ト致シマシテハ、鐵道ノ經營ト云フモノハモツト民主的ニ合理的ニ之ヲ經營シナケレバナラス、ソレニ着手スルト、隨テ茲デ餘ル人ノ整理モ必要デアル、斯ウ云フコトヲ申シマシテ、其ノ位ノコトハ認識シテ居ル、唯ソレハ別ニ條件デモ何デモアリマセヌガ、將來サウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルカラト云フコトヲ豫告シテ今日ニ至ツタデアリマス

○松岡(駒)委員 十數萬ノ人ヲ整理シナケレバナラス、取敢ズ七萬數千ノ人ヲ整理シナケレバナラス、斯ウ云フコトニ大體伺ヒマシタガ、ソレ程ノ冗員ガアルナラバ、一體鐵道ノ方ハ只今モ申上ゲタ通りニ、何ガ故ニ一體構内ヲ汚クシ、輸送力ノ有無ニ拘ラズ鐵道

利用者ガ切符ヲ求メルノニ、殊ニ窓口デ時間ヲ潰スコトヲ放任シテ、窓口ヲ御開ケニナラナイデ僅カナ窓口デ出札ヲヤツテイラウシヤルノデアルカ、サウ云フ事實ヲ見ルニ付ケマシテモ、ドウモ人ノ轉換ヲ行フコトニ付テハ眞面目ニ考慮サレルコトナクシテ、人ガ餘ル餘ルデ、國民ハ實ハ迷惑シテ居ル、サウ云フ事實カラ見テモ、何カ方法ヲ以テスレバ、他ニ置換ヘルコトニ依リマシテ整理ヲシナクテモ濟ムヤウナ部分ガアルノデハナイカト私共ハ疑惑ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、今日マデ鐵道當局ハ急速ニ七萬五千名ノモノヲ整理シナケレバナラナイ現狀ニ於テ、サウ云フモノノ中デ、ドウシテモ出札ヲヤルコトノ出來ル適應者ガナカウツ譯デスカ、サウ云フコトヲ御考ヘニナツタコトハナイノデスカ、之ヲ明瞭ニシテ戴キタイ

○平塚國務大臣 只今ノ窓口ニ人モ居ラナイデ、人ガ餘ルナラバモツト窓口ヲ開ケテハドウカ、是ハ一應御尤モナ御説デアリマシマス、此ノ切符モ自由ニ販賣モ出來マセヌ、ヤハリ今日デモマダ相當制限ヲシテ居リマス、東京都デアルトカ云フ繁華ナ土地ニ於テハ人ハソレ程餘ツテ居ルトモ存ジマセヌケレドモ、全般的ニ見マスト、只今申上ゲマシタヤウニ、定員ヲ超過スルコト十萬人以上ダト

云フコトヲ申上ゲテ居ル、是ハ窓口ガ不足ダ、或ハ改札口ガイカスト云フコトハ始終國民全體カラモ要求サレテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對シマシテハ成バク大衆ノ迷惑ニナラヌヤウニセナケレバナラスト云フコトハ注意ヲシテ居リマス、又注意シタバカリデナク是ハ近イ中ニ實行サセヨウト思ツテ居リマス、唯局部的ニサウ云フ點ハアリマスルケレドモ、國有鐵道全體トシテハ先程申上ゲマシタヤウニ、ドウシテモ過剩人員ガアルノデアリマス、是ハ常識的ニ御考ヘニナツテモ御分リニナルコトデアリマシテ、四十七、八萬ノ從業員ガ居レバ現在ノ鐵道ノ輸送ニハ何等支障ガナイノデアリマシテ、方々ノ驛ニ遊ンデ居ル鐵道從業員ガ多勢居ルデヤナイカト云フコトヲヨク言ハレテ居リマスガ、是ハ一般ニ國民ノ輿論トシテサウ叫バレテ居ルノデアリマシテ、ドウ角度カラ見マシテモ民主的ニ合理的ニ經營スル場合ニ、サウ云フモノヲ何時マデモ繼續シテ置クト云フコトハ私ハ正シクナイト考ヘテ居リマス

○松岡(駒)委員 私は是レデ質問ハ止シマス、唯此ノ際特ニ御考ヘテ願ツテ置キタイコトヲ最後ニ強ク申上ゲテ置キタイノデアリマス、先程來申上ゲテ居リマスヤウナ點ヲ十分御考慮ナサルコトナクシテハ、國民全體ヲシテ從業員ノ

整理ニ對シテ納得ヲセシメルモノヲ缺クコトニナルノデアリマセウ況ヤ鐵道從業員ソレ自體ハ當局ガ今日マデ國民カラ斯ウシタ不滿ヲ持タレ、又人ガ餘ツテ居ル、餘ツテ居ルト言ヒツ、ソレヲ何等鐵道業務ノ上ニ改善ヲスルガ如キコトナクシテヤツテ居ルト云フコトハ、是ハ何カラ來テ居ルカ、或ハ鐵道從業員ハ怠ケ者デアルト云フヤウナ工合ニ、鐵道從業員ノ勞働組合員ノ如キモ、鐵道從業員ヲ怠ケ者ニシテシマヒマシテ、サウシテ綺麗ニスル所モ綺麗ニセズシテ、鐵道ヲ利用スルモノニ迷惑ガ掛カラウガ一向平氣ダト云フヤウナコトデ、勞働運動ガ起ツテ來テカラ鐵道從業員ノ態度ガ一段ト惡クナツタヤウナ感ジヲ與ヘル爲ノ、寧ロ其處ニ卑劣ナ物ノ考ヘアルノデハナイカトスラ思フモノガアル譯デアリマス、是ハ少シ皮肉ナ物ノ考ヘ方ニナルノデアリマスケレドモ、サウ考ヘザルヲ得ナイヤウナ一先程來私ノ質問シテ居ル事實ニ付テ十分鐵道當局ハ反省サレマシテ、今後ドウシテモ人ヲ整理シナケレバナラナイ場合ニ於キマシテモ、從業員ハ固ヨリコト、國民ヲ十分納得セシメルニ足ルダケノ方法ヲ以テシテ戴キタイト云フコトヲ強ク警告申上ゲタイト思ヒマス

○邊澤委員長 司法大臣が見エテ

居リマスカラ、アナタノ質問ヲ引續イテ願ヒマス

○松岡(駒)委員 私は全體ヲ通ジテ質問シ、其ノ時ニ司法大臣或ハ内務大臣カラモ聽キタイと思ツテ居リマシタガ、折角見エテ居リマシテ、他ニ又御出席ニナラナケレバナラス委員等モアラウカト思ヒマスカラ、切離シテ、是亦極メテ簡單ニ御聽キシタイノデアリマス、現内閣ハ生産管理ヲ全面的ニ否定シテ居ラレルノデアリマスガ、幾ラ否定サレマシテモ、生産管理ハ續々トシテアチコチニ行ハレテ居リマス、而モ生産管理ニ類スル業務管理ガ東京都ノ從業員職員ニ依ツテ行ハレマシタ、當局ハ是ハ彼等ノ宣言ダケデアツテ、業務管理ノ實ガ伴ハナイカラ是ハ放擲シテ置クト云フ趣旨ノ回答ヲサレマシタ、此ノ勞調法ノ問題ニ關聯シマシテ炭坑ヤ勞協ノ諸君ガ業務管理ヲスルト宣言シテ居リマス、果シテ之ヲヤルカドウカ、マダサウハナツテ居ナイヤウデアリマス、斯ウ云フ各工場ニ行ハレテ居ルコトハ固ヨリコト、斯ウ云フ調子デアツテ一體宜イノデアアルカドウカ、餘リ無理ヲナサルト、自信ノナイコトヲオヤリニナツテ居ラレル爲ニ斯ウ云フ結果ニナツテ居ルノデハナカラウカ、甚ダ變ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、現内閣ノ威信程度ナラバ是ハ忍ブベキデゴザイマセウ

トシテ今申上ゲル假處分ト云フ問題ガ起ツテモ、全面的ニ採上ゲルコトハナナイト私ハ確信シテ居ル、ドウカ畏敬スル松岡氏、アナタ方ガ本當ニ健全ナル勞働組合ヲ作ツテ戴キタイ、サウシテ良キ指導者ニナツテ、日本ノ資本家ノ覺醒ト相俟ツテ、日本ノ再建ニ努力シテ戴キタイト云フコトヲ私ハ此ノ機會ニ切願スルモノデアリマス、繰返シテ申シマス、生産管理ニ付テハ、司法當局トシテハ決シテ高壓的ノヤウナ態度ニ出ルモノデハナイノデアリマス、併シ一步誤ツテ暴力行爲ヲ伴フヤウナコトガアレバ是ハ斷乎トシテ取締ルト云フコトヲ茲ニ表明スル次第デアリマス

○松岡(駒)委員 司法大臣ノ此ノ問題ニ付テノ御理解ニ對シテハ、

私モ能ク之ヲ認メルモノデアリマス、ソコデ私ハ言ツテ居ルノデアリマス、其ノ實際ノ運用ニ當ツテハ、司法大臣モ只今御述ベニナリマシタ通り、之ヲ檢舉シ、之ヲ彈壓スルニ忍ビナイ、寧ロ資本家ノ罪ナンダ、勞働者ガ斯ウヤルコトハ當然ナンダ、斯ウ御認メニナルヤウナ事實ガ存在シテ居ルノデアリマスルカラ、一定境界内ニ於ケル生産管理ト云フモノハ、是ハ必ズシモ不法ナモノデナイ、斯ウ云フ建前ヲ一ツ明カニスル必要ガアルノデハナイカ、サウデゴザイマセスト、今モ司法大臣ガ憤慨サレルガ如ク、生産管理ガ否定サレテ

居ルコトヲ奇貨居クベシトシテ、昨日團體協約が出来タ、其ノ翌日ニ只今御話ノアツタヤウナ暴擧ヲ敢テスルヤウナ資本家ヲ、寧ロ私ハ生ムニ至ルノデハナイカト云フコトヲ悞レルカラデアリマス、今日日本ノ労働者ヲ苛メルトカ苛メナイトカ云フコトデ、ナクシテ、日本ノ生産ノ問題ニ稽ヘマスル時ニ、生産管理ノ方ガ能率ガ上ツタカ上ラヌカト云フコトハ、私ニ言ハセルナラバ、是ハ全ク枝葉末節ノ問題デアリマシテ、能率ガ上ツタカラ生産管理ヲ認メルトカ、下ツタカラ認メナイトカ、ソナハ風ノモノデハナイト考ヘテ居リマスガ、併シ今日ノ情勢カラスレバ、「ストライキ」ヲヤラウニモ「ストライキ」ヲヤレナイ、労働者ハ生産管理ノ方法シカナイノガ澤山アルノデアリマス、司法大臣ハ既ニ御認メニナツテ居ルヤウナ事例ガ澤山アルノデアリマス、ニモ拘ラズ、是ガ否定サレテ居ルト云フコトガ、善クナイ資本家ニ司法大臣ガ憤慨サレルヤウナコトヲ屢ニ行ハシメル結果ヲ生ムノデアリマス、是ガ私ハ現内閣ガ頭ゴナシニ生産管理ヲ否定サレルコトヲ非常ナ誤リデアルトシテ、本會議以來追究シテ已マナイ點ナノデアリマス、私は以上ニ司法大臣ノ御答辯ヲ要求スルモノデハアリマセヌガ、労働組合法十五條ニハ屢ニ法令ニ違反シ、或ハ安寧秩序ヲ紊

トカ云フ場合ニ於テ、労働組合ガ解散サレルコトガアルノデアリマス、其ノ場合ニ中央労働委員會ガ此ノ問題ヲ扱フノデアリマス、中央労働委員會ガ此ノ生産管理ノ問題ヲ扱ヒマス時ニ、ドウ云フ扱ヒマスルカ、生産管理ト云フモノガ法令ニ違反シナイモノト、一體考ヘルカ考ヘナイカ、中央労働委員會ノ代表ガ生産管理ト云フモノハ必ズシモ是ハ法令ニ違反スルモノトハ、一人々々ノ御意見ヲ聴イテ見マセヌケレドモ、併シ大勢ハ考ヘテ居ナイト、私ハ觀察シテ居リマス、斯ウ云フコトト關聯シテモ、現内閣ガ折角労働組合法ト云フモノヲ制定シテ置イテ、サウシテ此ノ餘儀ナク行ハレル生産管理ヲ全部頭ゴナシニ否定シテ居ルト云フ態度ニ付テハ、誤ツテ居ツタラ之ヲ取消スト云フヤウナコトヲヤツテ貰ヒタイト云フノデ、私ハ言フノデアアルガ、是ノ扱ヒ方ニ對シテハ、労働組合法第十五條等ノ關聯モアルノデアリマスカラ、中央労働委員會ニ於テ此ノ問題ヲ簡ニ具體的ニ扱フヤウナ途ヲ開クト云フコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、サウデナイト、中央労働委員會ト云フモノハ最も大切ナ労働組合法第十五條ノ屢ニ法令ニ違反シ安寧秩序ヲ紊ルモノニ對シテ解散ヲ申請スルトカ云フヤウナ此ノ重大ナ問題ニ對シマシテ、扱ヒ方ガナイコトニナルノデ

アリマス、之ニ對シテ幸ヒニ大勢ノ關係ガ御捕ヒニナリマシタガ、此ノ問題タケハモウ一應司法大臣ノ御答辯ヲ願ツテ、同時ニ厚生大臣カラモ此ノ機會ニ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○逢澤委員長 委員長ト致シマシテ、今大臣ノ發言中ニ一寸聴キ兼ネタ所ガアリマス、生産管理ヲ是認スル如ク聞エルヤウナ感じガアツタノデアリマスガ、ソレヲ一ツ明確ニ御願ヒ致シマス

○木村國務大臣 生産管理ノ個々ノ取扱ヒニ付テ司法當局トシテハ話シタノデアリマシテ、生産管理ノ原則ニ付テ私ハ決シテ申シタモノデハナイ、政府ガ生産管理ヲ全面的ニ否定シタ、此ノ問題デアリマス、私モ其ノ關係ノ一人トシテ之ニ賛成シテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ、生産管理ハ御承知ノ通り、一體企業ト云フモノハ何カラ成立ツテ居ルカ、企業ハ資本ト労働力トカラ成立ツテ居ル、資本ヲ代表スルモノハ要スルニ機械、設備、工場一切デアリマス、労働者ヲ代表スルモノハ労働力デアリマス、是ト是トノ謂ハバ戦ヒデアル、ソコデ労働者ガ労働力ヲ以テ單獨ニ行ク場合ハソレデ宜シイガ、苟クモ資本ヲ代表スル工場其ノ他機械一切ノ設備ヲ占據シテ、サウシテ労働爭議ニ入ルト云フコトハ、是ハ法律上認ムベカラザルコトデアル、此ノ意味ニ於

テ、生産管理ト云フモノハ政府トシテハ絕對ニ是ハ認メナイ方針ヲ執ツタノデアリマス、是ハ今モ政府トシテハ變ラナイ何處マデモ其ノ理念デ以テ行ク積リデアル、併シナガラ個々ノ生産管理ガ起ツタ場合ニハ、是ハ司法當局トシテ一ツソレヲ風潰シニ處斷シテ行クカト言ヘバ、サウデハナイ、一々其ノ場合々々ニ依ツテ善處スル、斯ウ云フ意味デアアルノデアリマス

○松岡(駒)委員 私人少クモ司法大臣ノ只今ノ御答辯ヲ御聴キシナクテモ、先程カラ私ハサウ了解シテ聴イテ居リマス、憤慨サレルノガ少々オカシイト思フ、私ハサウ了解シテ居テ、而モ個々ニソレヲ風潰シニヤルコトガ出來得ナイモノガアルト云フコトハ事實ナノデアリマス、ソレヲ全面的ニ否定サレルト云フコトカラシテ、個々ニ處分出來得ナイヤウナ事例ヲ頻發セシメル處ガアルト云フコトヲ私ハ感じマシテ、ソレニ付テ問フト云フヨリカ、オ終ヒニ申上ゲタコトハ、ソレニ付テ考ヘテ戴キタイト云フコト、ソレカラモウ一ツ言ツタコトハ、労働組合法第十五條ノ法令ニ違反シ安寧秩序ヲ紊ル場合ニ於ケル労働組合ノ解散ノ處分ガ行ハレル時ニ際シテ、而モ中央労働委員會ト云フモノガ之ヲ審議致シマシテ、解散ヲ至當ナリト認メルノデナケレバ政府ハ之ヲ解散シナイト云フコトニナツテ居

ルノデアリマス、生産管理ト云フコトニ付テ本法案トノ關係ガアリマスガ、本法案ノ第七條ノ一番オ終ヒニ正常ナ運営ヲ阻害スルモノヲ言フト云フコトニナツテ居ルノデアアル、爭議行爲ト云フノハ、東京都ノ業務管理ノ如キハ、是ハ業務管理ノ單ナル容宣言ニシカ過ギナイノデアツテ、其ノ實ヲ持タナイカラ放ツテ置クノダ、一體斯ウ云フヤウナ、甚ダ無理ノアル所カラ斯ウ云フヤウナコトガ起ツテ來ルノダ、ダカラ此ノ點ハ一ツ考ヘタラドウデスカト、是ハ私ハ司法大臣ニ對シテ希望ヲ申上ゲタノデアリマス、序デデアツタカラ厚生大臣ニ之ニ付テ一言聴カウトシタノデアリマス

○木村國務大臣 只今東京都ノ業務管理ノ問題ガ盛ニ松岡君カラ出タノデアリマス、司法當局トシテハ先般ノ業務管理、是ハ私ハ生産管理ト認メナイノデス、色々情報モ入ツテ居リマスガ、實際ノ意味ニ於ケル生産管理デヤアリマセヌ、ソレハ恐ラク松岡君ニ於テモ内容ヲ十分御調査ノコトト存ズルノデアリマス、之ヲ以テ生産管理ト言ヘバ何ヲカ生産管理ト云フカ、恐ラク生産管理ト云フコトハ何デモ生産管理ニナツテシマフ、アレハ私ハ絕對ニ生産管理デヤナイ、ア、云フモノハホンノ名ヲ借りテヤツテ居ルニ過ギナイ、唯労働者ガ僥達ガ業務管理ヲヤツテ居

ルノダト言フダケデアツテ、其ノ實ハ何モナイノデアリマス、ソレハ松岡君ガ能ク内容ヲ御調査ニナツテ能ク御承知ノコトト思フノデアリマス

○松岡(駒)委員 私ハサウナツテ來ルト残念ナガラモウ少シ議論シナケレバナラス、ト云フノハ行動ニ出ルト云フコトガ間セラレルト云フコトハ、是ハ言フマデモナイ、併シナガラ團體ガ違法ノコトヲ決議シタ場合ニ罰セラレナクテ済ミマス、其ノ點ヲ私ハ明確ニ御聽キシタイノデアリマス

○木村國務大臣 團體ハ決議シタダケデ罰セラレルカドウカ、斯ウ云フノデスカ

○松岡(駒)委員 サウデス

○木村國務大臣 ソレハ行動ニ出ナイ限りハ必ズシモ罰スルト云フコトハアリマセヌ、其ノ決議其ノモノガ社會的ニ非常ナ影響ヲ及ボシテ、或ハ社會ノ秩序ヲ紊リ、社會ノ人心ヲ惑亂スルト云フコトニ至レバ、ソレハ罰スルノハ當然デアリマス、併シ唯決議シタカラト云ツテソレヲ罰スルヤウナコトハ絕對ニナイノデアリマス

私ノ言ヒタイコトハ、所有權ノ問題、屢々厚生大臣モ言ツテ居ラレルシ、只今司法大臣モ仰シヤツテ居ル通り、其ノコトハ私ハ能ク分ツテ居ルノデアアル、是ハ大變大切ナ精神ナノデアリマス、是ハ民主主義ノ基調ヲナスモノデアアル、其ノ根本的ノ精神ニ私ハ反對シテ居ル者デハナイノデアアル、法律ノ解釋ト云フモノハ其ノ時代ト共ニ發展的ニサレナケレバナライナイデハナイカ、ソレニ無理ガナケレバ無血革命、洵ニ順序ノ好イ改良ト進歩ヲ積ンデ行クヤウナ方向ヲ辿ルデアリマセウガ、一ツノ法律ノ解釋デ労働階級ガ鐵壁ニ打突カツタヤウナ、何カ強イ一棒ノ内ニ踏込マレタヤウナ形ニナツタ場合ニ於テノ其ノ爆發力ガ恐ロシイノデアリマス、是ガ國ノ爲ニ考ヘナケレバナラスト云フノデアリマス、デアリマスカラサウ云フ點カラ致シマシテ現内閣ノ關係ハ民主主義ノ基本的大切ナ問題トシテ、労働者ト資本家ト云フモノノ所有權或ハ企業權、經營權、之ヲ労働者ガ侵シテハイケナイ、其ノ代リ其ノ企業者モ經營者モ労働者ノ労働權ヲ侵シテハイケナイ、是ガ民主主義ノ基調ダト云ツテ居ラレル、然ルニ現内閣ノ解釋スル所ノ生産管理ガ其ノ企業權並ニ經營權ヲ侵スモノナリトシテ之ヲ否定シツ、生産管理ノ決議ガ頻々トシテ行ハレルト云フコトガ、是ガ果シテウ

ツチヤラカシテ置イテ宜イコトデアアルカドウカト云フコトヲ私ハ言ツテ居ルノデアリマス、ソコデ根本ニ無理ガアル、根本ニ無理ガアル爲ニサウ云フコトニナツテ居ルデハナイカ、ダカラ一定ノ其ノ範圍ニ限界ト云フモノヲ定メテ、今更私ハ敢テ助船ヲ出シヤウナ意味デ申上ゲルノデアアリマセヌ、今更先般聲明シタ所ノ生産管理ハ必ズシモ否認スルモノデハナイト私ハ言ツテ貰ハウト云フノデアリナイノデアリマス、個々ノ生産管理、餘儀ナキ事情ガ事實アルノデアリマスカラ、サウ云フモノニ付テノ取扱ヒヲ労働組合法第十五條トノ關聯等ニ於キマシテモ、中央労働委員會ニ於テ是ハ個々ニ慎重ニ扱フベキデハナイカト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、今聲明ヲ取消セト私ハ迫ルノデアリナイ、サウ云フ取扱ヒガ出來ナイト違法精神ノ上ニ非常ナ重大ナ影響ガアルト思フノデアリマス、行動ニ移ラナケレバ差支ヘナイト云フナラバ、ソレハ私ハ有權モ企業權モ經營權モ否定スルヤウナ決議ヲ無暗ニヤツテ宜イカ、之ヲウツチヤラカシテ置イテ宜イモノデセウカ、是ガ安寧秩序ニ影響ガナイカ、果シテ宜イカドウカ、私ハ中央労働委員會ト云フモノハ労働組合法第十五條ニ依ツテアノ重大ナ問題ヲ扱ハサレル立場ニアルガ、中央労働委員會ニ席ヲ置ク者ト致シマシテハ、

生産管理ガ頭コナシニ否定サレルト云フコトハ此ノ取扱上甚ダ困ルノデアリマス、本法案ノ第七條トノ關聯ニ於キマシテ極メテ重大ナ問題ト思ヒマスノデ、私ハ是以上モウ答辯ヲ求メヌコトニ致シマス、ドウカ其ノ點ハ特ニ御考ヘ置キテ願ヒタイト思ヒマス、是ハ私ハ單ナル議論ノ爲ニ議論シテ居ルノデアアリマセヌ、此ノ點十分御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松岡(駒)委員 松岡君ニ御諮リ致シマスガ、商工大臣ガ見エテ居リマスルノデ、商工大臣ニ關スルコトヲ繼續シテオヤリヲ願ヒタイト思ヒマス

○松岡(駒)委員 商工大臣ノ方ハ難カシサウデスカラ、大藏大臣ニ先ニ：實ハ生産管理ノコトニ付テ、一緒ニ居ツテ戴イデ色々ト聽キタカツタノデアリマスガ、大變御忙シサウデスカラ：

○達澤委員長 大變短時間ト云フコトデコチヲ方ニ御出席願ツタノデアリマス、簡單ニ：

○松岡(駒)委員 ソレデハ大藏大臣ニ一ツ御伺ヒシマス、是ハ本法案ト生活保護法ト云フモノトノ關聯ニ於テ、私ハ國民健康保險ノ問題ニ付テ、大藏大臣ニ簡單ニ質疑ヲ行ヒタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り國民健康保險ハ今日兎ニ角日本國民ノ大凡五〇%四千萬以上ノ者ヲ組合員トシテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ノ被保險者ノ組織シテ居リマス所ノ健康保險組合ハ一萬餘ニ上ツテ居リマス、多クノ説明ヲ申上ゲルマデモナク十分御承知ノコトト存ジマスガ、國民健康保險法ガ實施サレマシテカラ今日マデノ醫療費ナカノ關係ヲ大マカニ申上ゲマス、今日ハ大體醫療費ガ五倍ニナツテ居リマス、極メテ大マカニ：醫療費ハ五倍デハナイ、五倍ヤ六倍デハナイケレドモ、點數ノ關係カラスルナラバ、管テ二十錢位デアツタノガ今日ニ於テハ郡部ニ於テ一圓ニナツテ居ル、六大都市ニ於テ一圓五十錢、市部ニ於テ一圓三十錢ト云フヤウニ、一點單價ガ大凡五倍ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトニナツテ居ルニ拘ラズ、國民健康保險ニ對スル政府ノ補助ハ、御提出ニナツテ居ル豫算案ニ依ルト、七千八百萬圓、極メテ少額デアリマシテ、是ハ依然トシテ元々通りナンデス、是デハ到底イカスノデアリマシテ、實ハ國民健康保險組合ハ先程申上ゲタ通り、一萬餘ノ組合ガアリ、今日デハ全然駄目ニナツタノモアリマス、開店休業狀態ニナツテ居ルモノヲ加ヘテ、七割近クガサウ云フ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、今日既ニ憲法ナカヲ見テモ、國民ノ生活ヲ保障スルコト云フ趣旨カラ、生活保護法ト云フ法律ノ名前ニナツテ

居リマスケレドモ、生活保護法ト云フ法律モ既ニ上程サレテ居ル譯ナノデアリマスガ、四千萬人ノ人ノ加盟シテ居リマス所ノ保險ガ斯ウ云フ状態ニ置カレテ居ルト云フコトデハ、是ハモウ生活保護法トノ關聯カラ見マシテモ由々敷キ大事ダト考ヘルノデアリマス、私共ハ政府當局ニ今マデモ時々陳情的ニ御話シシタコトガアリマスガ、寧ろ農村「インフレ」ト云ハレルヤウナ言葉ニ關聯シテ、農山漁村ナシカハ存外新圓ナシカ相當豐富ニ持ツテ居ルカラ、個々ノ農民ガモウ少シ多ク負擔シテモ宜イノデヤナイカト云フヤウナ逆襲的ナ意見ヲチヨクノ聞クノデアリマスガ、農村ハ必ズシモ農民ノミデハナイノデアリマシテ、國民健康保險組合ノ被保險者ノ凡ソ四割以上ト云フ者ハ農民ナラザル地方民デアリマス、今日ソレ等ノ人々ハ國民健康保險ノ斯ウ云フ状態カラ非常ニ困ツテ、組合ガ旨ク行カヌモデアリマスルカラ、個人々々ガ特別ニ金ヲ負擔シテ醫療ヲ受ケルト云フ現狀ニアルノデアリマスガ、農村ニ於ケル四割餘リノ農民ナラザル者達ノ生活狀態ヲ見マスト、今度審議サレマス所ノ生活保護法ニ依ツテ救済ヲ受ケ、或ハ新シイ憲法ノ精神カラ云ヒマスナラバ、生活ノ保障ヲ受ケルト云フコトナクシテハ、今後生存出來ナイヤウナコトニナツテ來ルノデハナ

イカト思ハレルヤウナ人々ガ相當數農村ニ居ルノデアリマス、斯ウ云フ事實ニ鑑ミテ、七千八百萬圓ト云フヤウナ少額ノモノデナクテ、本當ニ立派ニ之ヲ運営シヨウト想ヘバ、ドウシテモ五億以上ノ金ガ掛ルサウデアリマスガ、ソレ程ノ金ハ出スコトハ出來ナイト致シマシテモ、少クとも一億八千萬圓位ノ金ガアレバ、今アル所ノ一萬數百ノ組合ハ立派ニ立ツテ行クノデアリマス、デアリマスカラ生活保護法ト云フヤウナ法律ガ今日問題ニナツテ居ル時ニ、折角國民ノ半數ヲ被保險者トシテ居ル所ノ國民健康保險組合ガ事實上臺ナシニナツテシマフヤウナ危機カラ之ヲ救フ爲ニ——今日マデ單ニ國家ガ思ヒ付キニシテコトヲヤツタノデハナイノデアリマシテ、此ノ保險法ガ實施サレマシテカラコ、ニ相當ノ年月ヲ經マシテ、國民ノ半數ヲ組織シ得ル所マデ參ツタノデアリマス、現在デハ東京都ナンカニハ殆ド國民健康保險組合ト云フモノハ見ルベキモノハアリマセヌガ、恐ラク今日ノ東京都民ノ生活ノ狀態カラ見マスルナラバ、職場ニ居ル者達ノ爲ニナル所ノ健康保險ノミデハイケナクナツテ、東京ニ住ヒスル都民ナンカモヤハリ國民健康保險ナンカニ依ツテ其ノ醫療ノ問題ガ扱ハレルコトナクシテハ、今後益々東京都民ノ生活ガ苦シクナルニ連レマシテ、サウ云

フコトガ豫想出來得ルノデアリマス、折角今日マデ發達シタ國民健康組合ヲ潰スカ潰サヌカト云フ瀬戸際ニアリマスガ、之ニ對シテ大藏大臣ハ思ヒ切ツテコ、ラデーツ國庫ノ補助ヲ増額サレル、少クとも一億八千萬圓程度ニ補助ヲ増額セラル、コトガ出來ルカドウカ、明瞭ニ御聽カセ願フコトガ出來ルナラバ、大變仕合セダと思フノデアリマス

○石橋國務大臣 今松岡君カラノ御質問ノ點ハ、私モ豫テ聞イテ能ク知ツテ居リマス、私ハ此ノ醫者、藥、詰リ醫療ニ付テハ是非トモ、今ドコロデハナイ、財政其ノ他ガ許セバ思ヒ切ツタ處置ヲ國家的ニシナケレバナラヌト云フコトハ、豫テノ私ノ宿論デアリマスカラ、御趣意ニハ全然同感デアリマス、唯私ガ今少シ躊躇シテ居リマス理由ハ國民健康保險、アノ組合ト云フモノガ不幸ニシテ都市ニ殆ドナクナツテシマツテ、地方ダケデアルト云フコトト、ソレカラ私ハ地方ノ實情ヲ知ラナイノデアリマスガ、色々議會内ノ地方ノ關係ノ方ナドニ伺ツテ見マシテモ、非常ニ良イノモアルケレドモ、惡イノモアルト云フヤウナコトヲ伺ツテ居リマスノデ、只今實ハ少シ研究シテ見マシテ、本當ニ國民ノ健康ノ爲ニ役立ツモノナラ相當ニ金ヲ惜シムマイ、併シ役立タヌモノナラバ一文モ出サナイ、此ノ際

デアリマスカラ、他ノコトデモサウデアリマスガ、サウ云フ立場デ、只今厚生省トモ連絡ヲシテ研究致シテ居ル次第デアリマス、左様ナ趣意デ、若シ此ノ判斷ニ依ツテ役立ツト云フコトナラバ、御趣意ノヤウニ致シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○松岡(駒)委員 先程ノ荒田君ノ質疑ニ戻ツテ戴クコトニ致シマシテ、サウシテ私ハ後デ質問サシテ戴キマス

○邊澤委員長 此ノ際荒田君ニ御相談申上ゲマス、大藏大臣ガ見エテ居リマスガ、山下君ノ此ノ間ノアレガアルノデ、極ク簡單ニ三分カ五分デ濟ムサウデスカラ、一ツ山下君ニヤラセテ戴キタイト思ヒマス——ソレデハ山下君

○山下(榮)委員 既ニ豫算委員會ヤ色々ナ機會ニ議論ハ盡サレテ居ルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、委員會ガ違ヒマスノデ、新開デ多少親フダケノコトデアリマスカラ、此ノ機會ニ大藏大臣ニ伺ツテ見タイト思フノデアリマス、過般ノ私ノ當委員會ニ於ケル質問ノ時ニ趣旨ハ申上ゲタノデアリマスガ、本勞働調整法ノ問題ハ勞働者ガ今非常ニ政治的ニ社會社ニ要求シツ、アル問題ヲ先ニ考慮スベキデハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、私ノ手許ニ方カラ參ツテ居リマス所ノ陳情書ヤ、或ハ色々ナ書類ガ參ツテ居ル

ノデアリマスガ、其ノ勞働者ノ要望スル所ヲ見テミマス、第一ニ勤勞所得稅ノ撤廢乃至工場加配米ノ要求等色々ナ問題ガ書カレテアルノデアリマス、大藏大臣ニ御願ヒ申上ゲタイト思フコトハ、過般來カラ本會議ノ席上デモ説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、勤勞所得稅ノ撤廢ハ出來ナイ、斯ウ大藏大臣ハ申サレテ居ルノデアリマス、三十數億圓ノ金ハ國家財政ノ上カラ洵ニ今ハ大キナ財政力デアルト、斯ウ大藏大臣ハ申サレテ居ルノデアリマス、私ハ廢止シヨウトスレバ出來ヌコトデハナイデハナイカト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマス、本會議ヤ或ハ豫算委員會ノ席上ノコトヲ伺ツテ見マス、戰時中ニ發行シマシタ公債ノ破棄等ガ問題ニナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、ソコマデ行カナタトモ私ハ公債ノ利子ノ値下ヲヤツタダケデモ行ハレルノデハナカラウカト思フノデアリマス、私ハ概算致シマシテ公債ノ利子ハ六十億圓程ニナルダラウト想像スルノデアリマスガ、其ノ半分ノ利子ニ依リマシテモ勤勞所得稅ノ金ガ浮イデ參ルノデヤナイカト想像スルノデアリマス、寧ろ勤勞所得稅ヲ私ハ撤廢サレテ、綜合所得稅ノ方デ勤勞所得稅ノ方ニ代ルベキ財源ヲ取ル方法モアルノデハナイカ、斯ウ考ヘラレルノデアリマス、サウスルコトガ稅ノ抑制ノ上

カラ考ヘマシテモ、源泉課税ノ如キ或ハ消費税ノ如キ考ヘ方ノアノ勤勞所得税ヨリモ、綜合所得税ノニ物事ヲ考ヘテ行クコトノ方ガ妥當デハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、サウスルコトガ今日ノ勤勞者ノ要望ニモ副フ所以デハナイイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、何ト言ヒマシテモ再建日本ノ力ハ勤勞者ノ勤勞意欲ヲ大イニ昂揚スルコトガ唯一ノ方法ダト考ヘルノデアリマス、セメテ勞働者ノ要望スル其ノ途デモ一ツ政府ハ聽イテヤル、斯ウ云フ英斷ガ出來ナイモノデアルカドウカト云フコトヲ大藏大臣ニ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

○石橋國務大臣 日本ノ税制ハ只今ノ所得税中心ノ税制デアリマス、デアリマスカラ御説ノヤウニ若シ致ストスレバ、是ハ根本的ニ税制ヲ改革シナイト出來ナイコトデアリマス、唯申上ゲテ置キタイコトハ、各國トモ現在ノ税制ハ所得税中心デアリマシテ、又私ハ現在ニ於テハ所得税中心ノ税制ガ宜シイト考ヘテ居リマス、然ルニナゼ日本ニ於テ勤勞所得税ノ問題ガ近頃ヤカマシイカト云フト、是ハ日本ノアノ所得税ガ餘リ細カ過ぎマシテ、詰リ親切過ぎタ譯デアリマス、一本ニスレバ宜カッタノデアリマス、總テノ所得ニ對シテ一本ニスレバ宜カッタ、例ヘバ英國ノヤウニ「ボンド」ノ收入ノア

ル人ハ、事業所得デアラウガ、資産家ノ所得デアラウガ、勤勞所得デアラウガ、一「ボンド」ニ對シテ幾ラト云フコトニスレバ、サウス誤解ハ起ラナカッタノデアリマス、日本ノ税制ハ非常ニ親切ニ考ヘマシテ、詰リ勤勞所得税ニ對シテハ免稅點ヲ上ゲ、或ハ税率ヲ下ゲ、事業所得ニ對シテハソレ以上ニスル、資産所得ニ對シテハ更に高イモノヲ課セルト云フヤウナ三本建デアツテ居ル、ソコデ勤勞所得税ト云フモノガアツテ、如何ニモ勤勞者ニ對シテ特別ノ稅ヲ課スルヤウニ見エマス、私ハサウス意味デナク、他國ノ稅ト比較スルト日本ノ勤勞所得税ニ對スル課税ハ非常ニ低イト考ヘテ居リマス、併シ是ハ議論デアリマスカラ議論ト云ヒマスカ事實デアリマスカラ御參考ニ申上ゲタノデアリマシテ、唯今日ノ場合ニ於テハ御話ノヤウニ單ニ三十何億圓ノ歲入ガアルカラ是ガ捨テラレナイカラ廢メラレナイト云フダケデハゴザイマセヌデ、之ヲ廢メルト云フコトハ稅制ノ根本ヲスツカリ引繰リ返スコトニナリマスノデ、今日俄カニヤレナイ、税制ニ付テハ屢ニ申上ゲマス通り、最も早イ機會ニ、戰時中色々ゴタ／＼シテシマヒマシテ直サナケレバナラヌ點ガ多々アリマスノデ、議會等カラ一ツ皆サンニ出テ戴イテ調査委員ヲ設ケテ、税制ノ根本的ノ檢討ヲヤ

ラテ見タイト思ツテ居リマス、其ノ際ニ一ツ各方面カラノ御意見ヲ出シテ戴キマシテ十分改正ヲスベキ所ハ改正スルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、暫ク之ヲ懸案ニシテ置キタイ、唯私ノ只今ノ考ヘテ率直ニ申上ゲマス今ノヤウナ譯デアリマシテ、ドウモ稅制トシテハ是ハ廢メラレナイノデアリマス、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○山下(榮)委員 一言ダケ伺ツテ置クノデアリマスガ、ソレデヤ大藏大臣ハ今ノ勤勞所得税ハ所謂給料ノ中カラ天引サレル譯ナンドスガ、サウイフコトデナシニ先程申上ゲマシタヤウニ或ハ綜合所得税ノ如ク勤勞者ノ手ニ渡ツタ其ノ勤勞者ノ手ニ渡ツタモノヲ改メテ税金トシテ納メルト云フ體制ヲ整ヘ得ルコトガ、私ハ稅ノ體制カラ考ヘテ一番正シイ方法デアル、或ハ勞働者ニ對シテ納稅ノ義務ヲ負ハシメル上カラ考ヘテモ眞面目ナ考ヘ方デハナイカト思フノデアリマス、自分ノ給料ノ中カラ天引サレルト云フ事柄ガ私ハ非常ニ面白クナイ問題ダト考ヘルノデアリマス、或ハ先程ノ言葉カラ見マスルト、戰時中色々々々稅制等ヲ平和ニ向ツテハ近ク大改革ヲ行フト云フ御説モ伺ヒマシタノデ、サウスヤウナ場合ニハ今私ガ申上ゲルヤウナ線ニ沿ウテ改革スル意思ヲ持ツテオイデニナルカドウカ、

其ノ點ダケヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○石橋國務大臣 其ノ點モ遺憾ナガラ只今ノ私ノ考ヘハ御説ト違ヒマシテ、詰リ源泉課税ニ非常ニ面白クアル、御承知ノヤウニ英國アタリデハ所得税ハ非常ニ單純ノモノデアリマスガ、是ハ殆ド悉ク源泉課税デアリマス、サウデナイト所得税ト云フモノハ實ハ面白クナイノデアリマス、綜合所得税ノ方ハ、英國デ申セバ超過所得税ニナル譯デアリマシテ、詰リ或ル程度例ヘバ私ナラ私ガ年ニ五千圓ナラ五千圓ノ收入ガアレバ、ソレニ對シテハ必ズ幾ラカノ稅ヲ納メル、其ノ上ニソレガ一萬圓ノ人ハ是ハ綜合シテ超過ノ課税ヲスル、斯ウ云フ二本建デ行クノデ初メテ稅ノ公平ガ保タレル譯ニナリマシテ、是ハ源泉課税ノアノ今ノ所得税ハ實ハ今ノ税率ガ高イカラ面白クナイノデアリマスガ、是ハ戰時カラノ關係ガアリマシテ、詰リ日本ノ財政ガ良クナレバモウ毎年アノ税率ヲ變ヘマシテ、今年ハ千圓ニ對シテ幾ラ、財政ノ狀況ガ惡クナレバソレヲ引上ゲル、良クナレバ直グ翌年度下ゲルト云フ、非常ニ伸縮性ノアル稅ヲヤルニハドウシテモ源泉課税デナケレバ旨ク行カナイト考ヘマス、是ハ御參考デアリマシテ、將來尙ホ色々研究致シマシテドウ云フ風ニ稅制ヲ改メルカ、其ノ場合ニ今申上ゲタ

說ヲ固執スルノデハナイガ、今私ノ考ヘテ率直ニ申上ゲマスサウス云フ譯デアリマスカラ、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○山下(榮)委員 モウ一言ダケ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、源泉課税ガ非常ニ良イト云フ御考ヘノヤウデアリマスガ、政府ノ方カラ申スナラバ手ヲ煩ハス必要ガナクシテ中々便利デアラウコトモ想像ガ付クノデアリマス、併シナガラ或ハ日傭人夫トカ其ノ他色々々々關係カラ致シマシテ、サウス云フ方面ニ非常ニ非難ガアルト云フコトモ我々ハ伺ツテ居ルノデアリマス、眞面目ニ工場デ給料トシテ貰フ者ノミ嚴重ニ源泉課税ガ課セラレテ、日々働ク人夫其ノ他ノ者ニ付テハ中々脱稅等モ多イト云フコトモ伺ツテ居ルノデアリマス、更に先程申上ゲマシタヤウニ、勤勞者ガ納稅ノ義務ヲ履行シテ行クト云フ精神、意思ヲ昂揚スル上カラ考ヘマシテモ、ヤハリ綜合所得税ノ如キ方法ヲ以テ納稅セシメルト云フ義務ヲ負ハシメルコトガ正シイ考ヘ方デハナカラウカト云フ考ヘガ拔ケナイノデアリマス、ドウカ將來ニ稅制改革ニハ左様ノ方面モ御考慮ヲ願ツテ何カノ參考ニサレシコトヲ希望致シマシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○蓬澤委員 荒畑君、ドウモ度度洵ニ相濟ミマセヌガ、モウ一遍御相談申上ゲマス、厚生大臣ハ又

豫算ノ方カラ呼ビニ來テ居リマス
コトト、今一ツハ松岡君ノ要望シ
テ居リマス内務大臣ガ今此處ニ見
エテ居リマスノデ、若シアナタガ
御承諾下サルナラバ、モウ一遍松
岡君ノ發言ヲ許シテ載ケマセヌデ
セウカ

○荒烟委員 私ハ實ハ何モ厚生大
臣ノ答辯ヲ要求シテ居ナイノデア
リマス、厚生大臣ニハ、此處デ是
カラ初メテ答辯ヲ要求スルカモ知
レマセヌガ、今マデ外ノ本會議ヤ
豫算委員會ナド厚生大臣ノ御答
辯ヲ拜聴致シテ居ルノニ、甚ダ不
親切、冷淡、サウ云フ答辯ハ私ハ
大臣ダカラト云ツテ要求シナイノ
デ、吉武政府委員ノ懇切丁寧ナ答
辯ノ方ガ私ニ取ツテハ非常ニ好都
合ナノデアリマス、吉武政府委員
デ結構デアリマス、唯厚生大臣ガ
此ノ席ヲ御外シニナルト云フノデ
アレバ、三點ダケ最初ニ……

○邊澤委員長 イヤ大臣ハ直グ御
歸リニナルノデス、タツタ十分カ
十五分デスカラ——ソレデハ御諒
承ヲ願ヒマシテ、只今申上ゲタヤ
ウナ次第デ松岡君ノ發言ヲ許シマ
ス——松岡君

○松岡(駒)委員 先程司法大臣ニ
質問致シマシタ時ニ、内務大臣ニ
モオイデヲ願ツテ内務大臣ノ御答
辯ヲ一緒ニ願ヘバ、私モ餘計ナコ
トヲ言ハナイデ宜カッタノデスガ
内務大臣ガ居ラレナカッタノデ、
同ジヤウナコトヲ繰返サナケレバ

ナラヌコトヲ甚ダ遺憾ト致シマ
ス、多クヲ言ハナクテモ内務大臣
ニハ御分リニナツテ載ケルカト思
ヒマスガ、過般ノ東京都ニ於ケル
業務管理、是ハ空言ニ過ギナイ
ノデ、實ノ伴ハナイモノデアリカ
ラ宜シイト云フ大體本會議ニ於テ
ノ御答辯デアツタノデアリマス、
實ガ伴フカ、伴ハナイカハ姑ク別
問題ト致シマシテ、兎ニ角現内閣
ノ閣僚ガ口ヲ揃ヘテ生産管理ヲ否
認シテ居ラレルニ拘ラズ、其ノ後
續々トシテアツツコツチニ頻發
シテ居ルノデアリマス、幸ヒニシ
テサウ云フコトガナクシテ済ムカ
ドウカ知りマセヌガ、官公勞組協
議會ノ國務ニ關係シテ居ル人々
モ、此ノ勞調法ガ飽クマデ議會ヲ
通過スルナラバ、之ヲ阻止スルコ
トノ爲ニ自分達ハ東京都行ハレ
タト同ジヤウナ業務管理ヲ遂行ス
ルンダト云フコトヲ揚言シテ居ル
ノデアリマス、ソコデ斯ウ云フコ
トガ實際ニ現ハレテ來ル、來ナイ
ト云フコトバカリデナクテ、一體
政府ガ否定シテ居ルヤウナコト
ガ、屢々勞働組合ニ於テ決議サレ
ルト云フコトハ望マシイコトデナ
イト私ハ思フノデアリマス、是ハ
私共國民トシテ考ヘテ望マシイコ
トデナイバガリデナク、固ヨリ政
府トシテハサウ云フコトハ望マシ
カラザルコトトシテ御心痛ナスツ
テ居ラレルコトト想像スルノデア
リマスガ、否定シツ、而モ今日

ノ如キ狀態ニシテ置クノ外ナイト
云フコトハ、アノ聲明ニ少シ無理
ガアツタノデハナイカ、此ノ點ヲ
行掛リヤ面自ニ拘泥サレナイデ少
シ考ヘテ貰ハナケレバナラナイノ
デハナイカ、ソレデナイト實際内
務當局トシテモ今後ノ御取扱上御
困リデアラウシ、我々勞働組合ノ
者ト致シマシテモ、徒ラニ頭ゴナ
シニ否定サレルト云フヤウナ點カ
ラ、良クナイ資本家ガ勞働者ヲマ
ルデ棄テ、願ミナイヤウナコトヲ
致シマシテモ、勞働者ハ生産管理
ト云フ方法ヲ以テ對抗スルコトガ
出來ナイノダト云フ高ヲ括ツタ考
ヘ方カラ、隨分亂暴ナコトガ今後
行ハレルデアラウト云フコトヲ、
日本ノ經濟事情ニ即シテ私ハ想像
シ得ルノデアリマス、サウ云フコ
トト相俟ツテ事實否定シテモ否定
シ切レヌヤウナモノヲ、唯否認シ
テシマフト云フコトデナク、モウ
少シ考ヘ直シテ戴イテハドウカ、
例ヘバ勞働組合法第十五條ノ屢々
法令ニ違反シ、安寧秩序ヲ紊ルガ
如キ勞働組合ガアリマスナラバ、
是ハ中央勞働委員會ガ其ノ問題ヲ
採上ゲテ審議シ、而シテ厚生大臣
ニ其ノ結果ヲ申告致シマシテ、初
メテ勞働組合ガ解散ヲ命ゼラレル
ト云フコトニナツテ居ルノデアリ
マス、ソレ程重要ナ問題ヲ中央勞
働委員會ハ扱フコトニナツテ居ル
ニ拘ラズ——是ハ本法案ノ第七條

ニ關聯ガアリマスガ、斯ウ云フ問
題等ヲ唯一片ノ聲明デ否定シ終ル
コトガ出來ルモノデアルカドウ
カ、是ハ眞劍ニ御考ヘ下サイマシ
テ、サウシテ中央勞働委員會デ個
個ニ斯ウ云フ問題ヲ扱フヤウナ途
ヲ一ツ開イテ貰ヒタイト思フノデ
アリマス、サウ云フコトニ付テ考
ヘ直シテ載クコトガ出來ルカドウ
カ、出來ルナラバ私ハ一ツ考ヘ直
サウト云フ御答ヘヲ御聽キシタイ
ノデアリマスガ、ソレニ付テドウ
御考ヘズナルカラ伺ヒタイノデア
リマス

○大村國務大臣 私茲ニ内務大臣
トシテ御答ヘヲ申上ゲタイト思ヒ
マス、内務大臣ト致シマシテハ、
只今御話ニナリマシタ業務管理ト
云フ問題ハ、二ツノ面ニ於テ關係
ガアルト思ヒマス、一ツノ面ハ警
察面デアリマス、ソレカラ公共團
體ニ於キマシテ業務管理ヲヤリマ
シタ場合ニ於キマシテハ、地方行
政ノ運營ノ上カラノ面デアリマス、
公共團體以外ノ一般ノ生産管理、
業務管理ガ爭議手段トシテ行ハレ
テ居リマス場合ノ扱ヒノ問題ニ付
キマシテハ、一般問題トシマシ
テハ内務行政ノ關スル所デハゴザ
イマセヌ、是ハ勞働行政ノ主管省
タル厚生省ナリ、又産業行政ノ主
管省タル商工省ナリノ主管デアリ
マシテ、内務省ノ關スル所デハゴ
ザイマセヌ、併シ業務管理ノ進行
過程ニ於キマシテ、ソコニ暴行脅
迫其ノ他ノ法令違反行為、正確ニ

申スナラバ處罰ヲ伴ヒマスヤウナ
事件ガ發生スル場合ニ於キマシテ
ハ、其ノ豫防及ビ防遏ニ付テハ警
察ガ之ニ出動スル、關與スルト云
フコトハ固ヨリノコトデアリマ
ス、其ノ面ニ於キマシテ業務管理
ニ「タツチ」ハ致シマスケレド
モ、其ノヤウナコトノ伴ハナイ生
産管理ハ厚生行政、商工行政ニ依
ツテ處理セラルベキ問題デアリマ
シテ、内務省ノ關スル所デハナイ
ノデアリマス、尙又公共團體ノ職
員ニシテ所謂業務管理ヲヤルト云
フ場合ニ於キマシテ、若シソコニ
違反事件、刑事事件ガ隨伴シテ起
ツタト云フ場合ニ於キマシテハ、
生産管理ノ場合ト同様ニ警察ガ
「タツチ」ヲ致シマス、又其ノヤ
ウナ刑事事件ノナイ場合ニ於キマ
シテモ、公共團體ノ行政事務遂行
途上ニ於キマシテ、所謂業務管理
ガ起リマスルト、ソレハ行政諸法
規ニ抵觸致シマスノデ、是ハ警察
行政デハナク、地方行政ノ面ニ於
キマシテ内務省ハソコニ關聯ヲ持
ツテ來ル譯デアリマス、併シ其ノ
關聯ノナイ、以外ニ於キマスル業
務管理ニ付キマシテハ、是ハ勞働
行政、産業行政ノ關スル所デ、我
我ノ方トシテハ關係ガナイノデア
リマス、只今御質問ノ中ニアリマ
シタ、東京都ニ於キマシテ、所謂
業務管理ト云フモノガアルト言ハ
レテ居ツタノデアリマスガ、是ハ
警察方面カラモ、地方行政方面カ

警察方面カラモ、地方行政方面カ

ラモ仔細ニ觀察ヲ致シタノデアリ
マスガ、何レモ我々ノ方デ取締リ
乃至ハソレヲ監督スルコト云フ面ニ
觸レルコトハナカウタノデアリマ
ス、要スルニアノ場合ノ業務管理
ハ、名ハ業務管理デアリマシタ
ガ、私共ノ見ル所デハ事實上何等
ノ業務管理デハナカウタト云フ結
論ニ達シテ居ルノデアリマス（拍
手）若シ此ノ業務管理或ハ生産管
理ヲ労働爭議トシテ扱フ場合ノ取
扱ニ付キマシテノ御質問ハ、是ハ
内務大臣カラ申上ゲル筋デナイコ
トヲ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレデハ三十日間經テ第一ニ考
ヘラレルコトハ、調停ノ條件ニ不
滿デアアル、其ノ場合ニ「ストライ
キ」デモ何デモ起シテ構ハヌト云
フコトニナルノデアリマセウガ、
三十日間ハドウシテモ吉武政府委
員ノ言ハレルヤウニ、非常ニ労働
者ニ取ツテ氣ノ毒デアアルニ拘ラ
ズ、三十日間ノ餘裕ヲ是非トモ置
カナケレバナラナイ程國民生活ノ
日常ノ問題ニ對シテ重要ナ關係ヲ
有スル産業ヲ、三十日間經テパモ
ウ構ハナイノカドウカ、三十日間
經テパソレトモ社會公衆ガ爭議ガ
起ツテモ迷惑ヲ感ジナイノカドウ
カ、三十日間ノ規定デ假令爭議ノ
解決條件ニ不満足デ爭議ガ起ラウ
トモ社會ガ迷惑ヲ感ジナイ、三十
日間猶豫ヲ置ク所以ハ、モウ公衆
ガ迷惑ヲ感ジナイト云フ爲ニハ此
ノ三十日間ニ爭議ガモウ起ラナイ
ヤウニスルコトガ必要ナノデアリ
マス、ソレデアナク方ニ取ツテ必
要ナシテラウト思フ、或ハ三十日
間經テ今度ハ労働者ノ方ガ解決
條件ニ不満足デ爭議ヲ起サウト思
ツテモ、其ノ時ハモウ爭議ヲ起ス
コトガ出來ナイ、強ヒテ起シテモ
ソレハ結局無効デアルト云フヤウ
ナ事態ヲ三十日間ニ作り出スノデ
ナケレバ、唯三十日間足止メヲ食
ハシテ置イテ、三十日間經ツタラサ
ア何デモ勝手ニヤルガ宜イ、其ノ
爲ニ世間ガ迷惑ヲ被ツテ社會ガ損
害ヲ受ケテモコトヲ知ラヌト云フ

ノデハ随分無責任ナ話デハナイカ
ト私ハ考ヘル、公益事業ノ労働者
ハ三十日間爭議ヲヤルコトガ出來
ヌ、一體爭議ト云フモノハ——此
ノ言ヒ方ニハ反對ノ方ガアルカモ
知マセレヌガ、我々ノ眼カラ見マ
スレバ是モ一ツノ戰爭デアリマス
社會的ナ戰爭デアリマス、爭議ヲ
起スノニハ、爭議ヲ有利ニ導クニ
ハ、サウシテ勝利ヲ得マスル爲ニ
ハ、ヤハリ戰略的ナ時期ト云フモ
ノガ非常ニ大事ナシタ、此ノ三十
日間ハ労働者側ハ手モ足モ縛ラレ
テ何ニモ出來ヌ、併シ資本金ノ方
ハ三十日間ニ爭議ノ解決ガ不満足
デ協定ガ破レタ場合ニ對處スル手
段ヲ幾ラデモ講ズルコトガ出來ル
労働者ノ方ハ非常ニ不利ナ立場ニ
アルノデアリマスガ、之ニ對スル
別ニ補償ト云フモノモナイヤウニ
私ニハ感ゼラレル、斯ウ云フ點ニ
對スル御考ヘヲ伺ヒタイト思フ

張ガアリマスル場合ニ、恐ラク争
議ヲシタイト云フコトガ目的デハ
ナカラウト思ヒマス、公正ナル主
張ガ貫徹スルコトヲ望マルモノ
デアルト思ヒマスノデ、然ラバ、
三十日位アリマスレバ其ノ間ニ調
停委員會等ニ掛ケ、或ハ又一般ノ
輿論ニ懸ヘテ、出來得ベクバ解決
ヲシタイ、無理矢理ニ解決サセル
ト云フ趣旨ハゴザイマセヌ、隨ヒ
マシテ調停ニ骨折ツタケレドモ遂
ニ決裂シタト云フコトニナリマス
レバ、已ムヲ得ズ罷業權ノ發動、
是ハ已ムヲ得ナイト私共考ヘテ居
ル譯デゴザイマス

張ガアリマスル場合ニ、恐ラク争
議ヲシタイト云フコトガ目的デハ
ナカラウト思ヒマス、公正ナル主
張ガ貫徹スルコトヲ望マルモノ
デアルト思ヒマスノデ、然ラバ、
三十日位アリマスレバ其ノ間ニ調
停委員會等ニ掛ケ、或ハ又一般ノ
輿論ニ懸ヘテ、出來得ベクバ解決
ヲシタイ、無理矢理ニ解決サセル
ト云フ趣旨ハゴザイマセヌ、隨ヒ
マシテ調停ニ骨折ツタケレドモ遂
ニ決裂シタト云フコトニナリマス
レバ、已ムヲ得ズ罷業權ノ發動、
是ハ已ムヲ得ナイト私共考ヘテ居
ル譯デゴザイマス

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

○松岡委員 宜シウゴザイマス、
但シ宜シイト云フ意味ハ、内務大
臣ニハ今宜シイト云フ意味デスカ
ラ……

トノ協定ノ機關、經營協議會ト云フヤウナ機關ヲ通ジテ、又資本家トノ間ニ締結セラレル勞働協約ノ規定ヲ通ジテ自主的ニサウ云フ態度ニ出デサセルコトガ組合運動ヲ健全ニ發達サセル所以モアリ、又産業復興、生産再開ト云フヤウナ上ニ勞働階級ノ協力ヲ得シムル所以デモアリマシテ、サウ云フ所ニコソ私ハ政府ノ政策ノ重點ガ置カレナケレバナラヌト思フ、唯之ヲサウ云フヤウナ勞働者ノ現在置カレテ居リマス條件ヲモ考ヘズニ、又勞働組合運動ノ發展段階ヲモ考ヘズニ、唯法律ダケデ之ヲ禁止スル、外ニ方法ガアルニモ拘ラズスウ云フヤウナ制限ヲ法律デ付スルト云フコトハ、結局結果ニ於キマシテ勞働者ノ爭議ヲ非常ナ不利ニ陷レ、勞働者ヲ手モ足モ出ナクシテシマフ、愈々解決條件ガ出來タ時ニハモウ不滿デモ爭議ヲヤルダケノ情勢ニナツテ居ラスト云フヤウナ不滿ヲ抱カセルコトニナルノデアツテ、寧ろ勞働組合ノ自主的ナ措置ニ任セル方ガ私ハ有利デハナイカト考フルノデアリマスガ、特ニ今日ノヤウナ勞働者ノ此ノ法案ニ對スル全面的ナ反對ヲ押切ツテドウシテモ斯ウ云フ條項ヲ設ケナケレバナラナイ理由ハ何處ニアラノデアリマスカ、ソレヲ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

解決方法ハオヒニ自主的ニ決メル方ガ宜クハナイカト云フ御意見デゴザイマスガ、自主的ニ決メルコトハ私モ望ミシト思ヒマス、併シナガラ只今御話ニモアリマシタヤウニ、今日ノ組合ハマダ發達ノ過程ニアル、ソレデ獨斷ノヤウナ、云フ爭議ガ起ルノダト言ハレマシタガ、私共モ左様ニ存ジテ居リマス、能ク組合ガ發達スルナラバ統制モ利クシ、又色々ナ事情モアリマスルノデ、詰ラヌ手段ニハ出ナイト思フノデアリマスケレドモ、今日マダ發達ノ途上ニアリマスガ故ニ、往々ニシテ起リ勝ちデアリマス、隨テヤハリ自主的ニ協定ニ俟ツト申シマシテモ、一般公衆ノ點ヲ考ヘマスナラバ、放ツテ置ク譯ニ參リマセヌノデ、却テ法律ニ依ツテ一定ノ制限ヲ設ケルコトガ必要デハナカラウカト思ヒマス、法律ノ制限ガアルカラト云ツテ決シテ其ノ範圍内ニ於テ自主的ノ協定ヲ妨グルモノデハゴザイマセヌ、オヒヒガ此ノ範圍内ニ於テ色々ノ協定ヲ結バレルコトハ私共モ亦望ム所デアアルノデアリマス

在目前ニ迫ツテ居リマス國策ノ爲ニ大量ノ餉首ヲヤル、失業者ヲ出ス、其ノ爲ニ益ニ産業豫備軍ガ殖エ、勞働者ノ生活水準ガ全般的ニ低下スル、隨テ爭議ハ益ニ増大セザルヲ得ナイコトガ見透サレル、之ニ備ヘテ、此ノ爭議類發ニ對スル豫防トシテ斯ウ云フ法律ヲ制定スルノデハナイカト云フコトヲ疑ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ不審猜疑、ソレニモ拘ラズ本法ヲ強行シテ、制定シテ、果シテ本法ノ冒頭ニ謳ツテ居リマス産業ノ平和ノ維持發展ト云フコトガ期セラレルデアリマセウカ、寧ろ合法的ニ行ハレル勞働爭議ヲ却テ非合法的ナモノニスル處ハナイカ、公然ト、平和裡ニ、組織的ニ行ハレル「ストライキ」ヲ、サウサセナイデ、地下運動的ニ、秘密ニ、「カニンギン」ニ「サボタージ」シテ、組織的ナ「サボタージ」ヲ蔓延サセル處ガアリハシナイカ、私ハサウ云フ傾向ニ導キハシナイカト云フコトヲ非常ニ惧レルノデアリマス、サウシテ其ノ結果トシテ、却テ政府當局ガ豫防セント欲シテ居ル産業不安、不穩ナ社會情勢ヲ誘發スルヤウナコトニナルノデハナイカ、勞働者ガ其ノ要求ヲ實現セントスル手段ハ多種多樣デアリマス、勞働者ノ武器ノ中ニハ種々難多ナ武器ガアル、勞働者ガ公然タル、平和ナル、合法的ナル爭議手段ヲ禁ゼラレテ、而モ尙且

ツ爭議ニ訴ヘナケレバ其ノ正當ナル要求スラモ實現サレナイヤウナ狀態ニ置カレマシタ時ハ、サウ云フ武器ヲ用ヒテ斯ウ云フ法律ノ裏ヲ搔クヤウナ手段ニ出ルコトハ易々タル問題デアアル、ヤレルノデアアル、幾ラデモヤレルノデアアル、サウ云フ實例ヲ舉ゲロト仰シヤレバ私ハ幾ラデモ舉ゲルコトガ出來ルノデアリマス、併シナガラサウ云フコトハ民主主義日本ノ再建、特ニ其ノ基礎ヲナス所ノ産業ノ再建、是ハ勞働階級ノ全幅的協力ヲ俟タナケレバ實現スルコトノ出來ナイ困難ナル大事業デアリマスガ、之ニ私ハ寧ろ非常ニ遠ザカルノデハナイカト思フ、政府ガ産業ノ平和ヲ維持シヨウトシテ斯ウ云フ法律ヲ制定サレントスルノガ政府ノ意圖デアアルカモ知レナイ、併シナガラ結果ハ逆ニ、寧ろサウ云フ政府ノ意圖ヲ裏切ツテ、産業ノ復興、生産ノ再建、延イデハ民主主義日本ノ再建ヲ妨グルヤウナ不穩ナル社會情勢ヲ誘發スル結果トナルノデハナイカニ云フコトヲ私ハ惧レルノデアリマス、此ノ點ニ關スル吉武政府委員ノ御考ヘヲ伺ヒタイ

ルデアラウト云フ補償打切ニ伴フ企業整理、之ニ付テ恐ラク整理ト云フモノガ行ハレルデアラウガ、ソレニ備ヘル爲ニ本法ヲ制定シタノデアアルト云フヤウナコトヲ聞キ耳ニスルノデアリマスガ、私共サウ云フ意圖ハ全然ゴザイマセヌ、御承知ト思ヒマスガ、本法ハ昨年ノ暮ノ議會ニ組合法ヲ掛ケマシタ時カラ懸案ニナツテ居ル問題デアリマシテ一月以來立案ニ從事シテ此ノ補償打切ニ伴フ整理ト云フヤウナコトハ全然私共モ豫想シナカツタノデアリマス、只今本法案ガ議會ニ提案ニナリマシテカラ後ニ、私共モ實ハ補償打切ニ伴フ問題ヲ開イタ位デゴザイマシテ、ソレト本法トハ何等ノ關係ハゴザイマセヌ、又特ニ補償打切ノ影響ヲ受ケマスル工場ハ、主トシテ戰時中生産ヲ致シテ居リマシタ重工業方面デアラウカト思ヒマス、重工業方面ニ付キマシテハ此ノ法律ニハ何等ノ制限ヲ加ヘテ居ナイノデアリマス、唯爭議ノアリマシタ時ニ、若シオヒヒニ調停ニ付シタイト云フナラバ斯ウ云フ調停委員會ガアル、又斡旋ヲ頼ミタケレバ斯ウ云フ斡旋ノ方法ガアルト云フコトヲ明示シテ居ルダケデアリマシテ、若シ此ノ調停委員會ナリ、斡旋ニ掛ケタクナイト云フ御趣旨デアラナラバ決シテ掛ケナクテモ宜イノデアリマス、ソレ等ノモノニ

○吉武政府委員 只今荒畑委員カラ申サレマシタヤウニ、サウ云フ

○荒畑委員 サウシマス、政府トシテハ此ノ法律ガ政府ノ意圖シテ居ルヤウナ十分ナル效果ヲ必ズ舉ゲ得ルト云フ自信ガオアリデアラウト思フ、今日勞働組合ガ此ノ法案ニ對シマシマシテ全面的ナ反對ヲ唱ヘテ居リマス所以ハ、此ノ法律ハ政府ガ企業整理、其ノ他現

○吉武政府委員 只今ノ御質問ノ第一點ハ、私多少誤解ガアリハシナイカト思ツテ、此ノ際改メテ一ツ御協力ヲ仰ギタイト思ヒマス、ト申シマスノハ、最近新聞ニ少シヅ、出デ居リマス近ク發動セラレ

對スル爭議權ヲ微塵モ否定シテ居
ナイノデアリマス、此ノ點ヲ企業
整理ト引掛ケテ彈壓ノ爲ニ是ガ制
定サレルカノ如キ印象ヲ勞働組合
等ニ於テ宣傳サレテ居リマスルコ
トハ、私ハ法律ヲ知ツテ言ハレテ
居ルノカ、知ラナイ言ハレテ居
ルノカ存ジマセスケレドモ、其ノ
點甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマスノ
デ、荒畑委員能ク此ノ法律ヲ御諒
承ト思ヒマスノデ、若シサウ云フ
コトデアレバ一ツ御努力ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

ソレカラ次ノ第二點ノ、即チ組
合ノ團結權ヲ認め、罷業權ヲ認め
テ居ルナラバ、ソレヲ堂々ト正當
ニ行使サレルノガ却テ社會ノ秩序
ヲ維持出來ルノデアツテ、徒ラニ
制限スルト所謂地下ニ潛行シテ却
テ面白クナイ結果ヲ生ズルト云フ
御趣旨ハ私モ亦考慮スル所デゴザ
イマス、隨ヒマシテ私共ハ組合ノ
健全ナル發達ヲ希望シ、サウシテ
正當ナル爭議手段ニ出ラレルコト
ヲ望ムノデアリマシテ、出來ルダ
ケソレ等ノ罷業權ヲ制限スル意圖
ニ出テ居ナイノデアリマス、度々
申シマシタヤウニ、本法ハ所謂最
小限度ノ公益事業ニ對スル三十日
ノ豫告期間ヲ設ケタコトト、所謂
國政事務ニ從事スル者ダケノ最小
限度ノ爭議行為ヲ制限シテ居ルダ
ケデアリマシテ、其ノ他一般ノ罷
業ニ於ケル勞働者ノ團結權、罷業
權ハ微塵モ制限シテ居リマセヌ、

其ノ點誤解ノナイヤウニ御諒承戴
キタイノデアリマス
○荒畑委員 ソンナコトハ辯解ニ
ハナリマセヌ、單ニ法文ノ上デ斯
ウ云フ事業ノ勞働者ハ爭議ヲ制限
スル、斯ウ云フ事業ノ勞働者ハ差
支ヘナイ、ソレダカラ企業整理ニ
依ツテ失業スル者ハ主トシテ重工
業ノ勞働者デアツテ、本法ノ三十
日間ノ制限ヲ受ケル範疇ニ入ツテ
居ナイト云フヤウナコトハ問題デ
ヤナイノデス、若シ今日百萬ノ失
業者ガ出ル今年内ニハ五百萬ノ失
業者ガ起ルト言ハレテ居リマス
ガ、百萬ニ致セ五百萬ニ致セ失業
者ガ出テ、所謂産業豫備軍ヲ構成
致シマスレバ、私營事業ニ從事シ
テ居ルト公益事業ニ從事シテ居ル
トヲ間ハズ、勞働者ハ爲ニ賃金ノ
競争、隨ツテ生活水準ノ低下ヲ經
驗セザルヲ得ナイノデアリマス、
隨テサラダダニ現在ノヤウナ「イ
ンフレーション」ノ進行下ニアツ
テ、生活ニ怯エテ居リマス一般勞
働階級ガ其ノ爲ニ非常ナ脅威ヲ受
ケル、隨ツテ私營ノ事業バカリデ
ナク、公益事業ノ勞働者ト雖モ、
已ムナク爭議手段ニ訴ヘザルヲ得
ナイト云フヤウナ「ケース」ガ頻
發スルデアラウ、ソレヲ私ハ言ツ
テ居ルノデアリマス、ソレカラ要
スルニ效果ガ私ハ又問題デアラウ
ト思フ、如何ニ法律ヲ嚴重ニ禁
ジマシテモ、嚴重ナ法律サヘアレ
バサウ云フ處ハ起ラナイト云フナ

ラバ、今日畑荒シモ關商人モ起ツ
テ居ナイ筈デアアル、日本ガ國家ト
民族トノ運命ヲ賭シテ行ツテ居リ
マシタ戰爭中ニ、私利、私慾ノ爲
ニ闇ヲヤル人間モナイ譯ダハナカ
ツタ、嚴重ナ法律ヲ設ケルト云フ
コトトサウ云フ事實ガ起ルト云フ
コトトハ別問題デス、御承知ノヤ
ウニ濠洲ハ勞働爭議ニ對スル強制
調停ノ最モ廣汎ニ行ハレテ居ル國
デアリマス、曾テハ「ニュージ
ランド」ノ如キハ「ストライキ」
ノナイ國ダト云ツタコトサヘモア
ルノデアリマスガ、併シナガラ此
ノ爭議ノ調停仲裁ニ關スル「オー
ソリテイ」デアアル「バックハウ
ス」判事ノ如キハ、此ノ調停委員
會ノ惡口ヲ言ツテ、是ハ「コンシ
レーション」ノ委員會デナクテ、
「イリテイション」ノ委員會デア
アル、即チ和解ノ委員會デアハナク
テ焦立タセル委員會デアルト言ツ
タ位デアアル、是ハ爭議ノ解決ノ提
訴ガ殺到致シマシテトモ手ニ負
ヘナクナル、斯ウ云フ「ケース」
ガ私ハ日本ニモ必ズ起ツテ來ルダ
ラウト思フ、一件ヤ二件ナラバ三
十日間デ片付キ得ルカモ知レマセ
スケレドモ、現在日本ノ産業界ノ
狀態、勞働階級ガ當面致シテ居リ
マス狀態カラ考ヘマスルナラバ、
今後ノ爭議ソレハ勿論公益事業ヲ
モ含メテノ爭議ト云フモノハ頻發
スル情勢ニナラザルヲ得ナイト思
フ、サウ云フ場合ニ其ノ「ケース」

ガ山積殺到致シマシテ、三十日間
デ果シテ満足ナル解決ガ得ラレル
カドウカ甚ダ疑問デアルト思フ、
其ノ場合ニハソレコソ「コンシ
レーション」ノ委員會デアハナクテ、
「イリテイション」ノ委員會ニ
ナツテシマフ處ガ多分ニアルト思
フ、決シテアナタ方ノ豫期セラレ
テ居ルヤウナ效果ハ擧ゲ得ナイト
私ハ考ヘル、現ニ「バックハウス」
判事ノ如キハ、斯ウ云フ法律ヲ決
シテ勞働爭議ガ解決出來ルモノト
ハ自分ハ確言スルコトハ出來ナイ
ト其ノ道ノ權威ガ言ツテ居ル位デ
アル、濠洲ハ御承知ノヤウニ勞働
黨ノ勢力ガ政界ニ非常ニ強イ國デ
アリマシテ、サウ云フ勞働黨ノ内
閣ノ下デ、比較的勞働者ニ有利ナ
判定ガ下サレテ居ルト云フコトデ
アル、ソレニシテ尙ホ且ツ斯ウデ
アル、況ヤ日本ノヤウナ、マダ勞
働階級ノ全勢力ヲ背後ニ控ヘテ勞
働階級ノ利害ヲ代表スルニ足ルダ
ケノ遺憾ナガラ政黨ガ發達シテ居
ナイ、隨テ斯ウ云フ政黨ノ政界ニ
於ケル力モ弱イ、サウ云フ日本ニ
於テ訴フルニ所ノナイ、爭議ニ訴
フルヨリ外ニ自己ノ正當ナル要
求、單ニ主觀的ナ要求ダト云フバ
カリデハナイ、今日ノ社會ノ一般
ノ水準カラ見マシテ正當ナル要求
ヲ貫徹スル、ソナ部分のナ貫徹
ヲ遂ゲルニサヘモ尙且ツ數箇月ノ
日子ヲ要スルト云フヤウナサウ云
フ無力ナ勞働階級ノ狀態ニ於キマ

シテ、斯ウ云フ法律ニ依ツテ拘束
スルコトガ果シテ所期ノ目的ヲ達
シ得ラレルカドウカ、寧ろ反對ノ
結果ヲ生ムヤウナ事態ヲ惹起スル
ノデハナイカト私ハ考ヘル、其ノ
點ニ付テノ御所信ヲ伺ヒタイト存
ズルノデアリマス
○吉武政府委員 御答ヘ申上ゲマ
スガ、只今引例サレマシタ濠洲ノ
制度ハ御話ノヤウニ恐ラク殺倒シ
タカモ知レマセヌ、ソレハ濠洲ハ
調停ニ致シマシテモ仲裁ニ致シマ
シテモ私ノ知り得ル範圍ニ於キマ
シテハ強制調停又ハ強制仲裁ヲヤ
ツテ居ル、而モ其ノ制度ハコ、ニ
アリマスル公益事業ノ強制調停ト
ハ違ヒマシテ、其ノ決定ノ強制ヲ
シテ居ルノデアアル、全ク裁判所ト
同ジヤウナヤリ方ヲ執ツテ居ル、
是ハ御話ノヤウニ濠洲ノ政治情勢
ハ勞働黨ガ政權ヲ持ツテ居ルヤウ
デ、其ノ點多少事情ハ違ヒマスノ
デ餘リ不平モナク行ハレテ居ルヤ
ウニ私共ハ聞イテ居リマス、唯サ
ウ云フ強制的ノ解決ヲヤツテ居リ
マスカラ、恐ラク事件ハ皆ソコヘ
持込マレル爲ニ殺倒シタカト思ヒ
マスガ、私共ガ此ノ法案ニ於テ企
圖致シテ居リマスノハ斡旋ニシマ
シテモ調停ニシマシテモ、仲裁ニ
致シマシテモ、原則トシテハ斯ウ
云フ機構ヲ一應考ヘテ居ルト云フ
コトデアリマス、爭議ハ出來得ベ
クバ兩當事者ガ自治的ニ解決スル
コトヲ望ムノデアリマス、其ノ點

ヲ二條ニ明瞭ニシテ居ルノデアリマシテ、之ヲ先日モ、單ナル此ノ總則ノ數箇條ハ全クノ飾リモノデハナイカト云フコトヲ言ハレマシタケレドモ、其ノ點ハ私共深クソコニ中心ヲ置イテ居ルノデアリマシテ、特ニ茲ニ規定シテ居ルヤウナ譯デアリマス、而モ各章、詰リ韓旋ノ章ノ終リニ於キマシテモ、調停ノ章ノ終リニ於キマシテモ、又仲裁ノ章ノ終リニ於キマシテモ、皆茲ニ規定シテ居ル、此ノ制度ハ若シオモヒ同士ガ合意力或ハ協定ニ依ツテ、別ノ方法ヲ考ヘテ、ソレデ解決ヲシタイト云フナラバソレニ依ツテ宜シイト云フコトヲ、尙ホ念ノ爲ニ書イテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ制度ヲ置キマスルト、一切合切皆此ノ中ヘ追込ムヤウナ印象ヲ與ヘマスルケレドモ、實ハ趣旨ハサウデナクシテオモヒ同士デ解決スルナラバ、出來ルダケソレデヤツテ欲シイ、併シソレデモ解決シナイ場合、或ハ是等ノ制度ヲ利用サレルナラバ御利用ナサルヤウニト云フノガ趣旨デアリマス、又現在ニ於キマシテモ、組合法デ労働委員會ガ各府縣及ビ中央ニモ出來テ居リマスガ、是等ヲ、ソレデハ労働者側ガ利用シテ居ナイカ云フト、隨分利用サレテ居リマス、マダ出來マシテ日ニチモ少イノデアリマスケレドモ、使用者側ガ之ヲ專ラ利用シテ居ルノデハナクテ、寧ロ労働者側

ガ利用シテ居ルヤウナ感ジヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、ソレハドウカト申シマスルト、爭議ヲヤツテ、皆ク行ケバ宜イノデスケレドモ、段々コレレテ長クナリマスルト、ヤハリ組合デモ困ル場合ガアリマス、爭議ガ目的デハゴザイマセヌ、ヤハリ労働條件ノ正當ナル主張、解決ガ目的デアリマスルカラ、サウ云フ場合ニハ、ヤハリ調停ニ掛ケマスルト、現在ノ労働委員會ニ付テハ色々御批判ハアラウカト思ヒマスルケレドモ、併シヤハリ色々ナ使用者代表、労働者代表、サウシテ中立、斯ウ云フヤウナ仕組デ出來テ居リマスルシ、又一般ノ輿論モ注意シテ居リマスルカラ、労働者側ノ全面的ナ満足デ解決スルト云フ譯ニハ行カナイカモ知レマセヌケレドモ、大體ノ所ハ公正ニ探上ゲテ解決シテ居ル例ガ、私ハ多イヤウニ存ジテ居ルマシテ、決シテ私ハ労働者側ニモサウ害ヲナスモノデハナイ、寧ロ御利用ニナル機會ハ多カラウカト存ズル譯デアリマス

○荒烟委員 最後ニ、私ハ今度ハ河合厚生大臣ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、河合厚生大臣ニハ先日豫算總會デ或ル委員ノ質問ニ御答ヘニナツテ、資本ノ繁榮ハ即チ労働ノ繁榮デアアル、斯ウ云フ意味ノコトヲ御述ベニナツタ、併シナガラ私ノ信ズル所デハ、是ハ全ク事實ト逆デアリマス、資本繁榮ハ決シテ労働ノ繁榮ヲ伴フモノデハナクシテ、却テ反對ニ労働ノ搾取、労働階級ノ窮乏ノ上ニ打立テラレテ居ルノデアリマス、是ガ資本主義制度ノ根本原則デアリマス、資本ノ繁榮ト労働ノ繁榮トガ正比例致シマスナラバ、資本主義經濟ニ固有ノ周期的ナ恐慌デアアルトカ、或ハ不景氣トカ云フヤウナ現象ハ起ラナイ、資本家の産業ガ益々榮エテ労働者ノ生活ガ愈々窮迫スル、國內市場モ購買力ガ衰ヘテ十分ナル利潤ガ得ラレナイカラコソ、商品ヤ資本ノ輸出ニ必要ナ海外市場ヲ獲得セントスル國際的競争ガ起ルノデアリマス、サウシテ其ノ結果ガ帝國主義戦争ヲ不可避トスルニ至ツテ居ル、隨テ河合厚生大臣ノ仰シヤルヤウニ、資本ノ繁榮トハ即チ労働ノ繁榮デアアルト云フヤウナコトハ、一片ノ謊辯ニ過ギナイ、河合厚生大臣ガ、國民ノ生活、國民ノ經濟ノ上ニ最も大キナ關係ヲ有スル厚生省ノ長官トシテ、殊ニ労働者ノ生活ニ深甚ナル關係ヲ有スル斯様な法案作成ノ責任者トシテ、斯ウ云フ考ヘノ上カラ常ニ物ヲ考ヘラレ、法律作成シヤラレルトスレバ、労働階級ニ取ツテコソナ危險ナコトハナイト私ハ斷言セザルヲ得ナイ、日本ヲ現在ノヤウナ有史以來會テナイ亡國ノナ状態ニ陥レタ支那事變、太平洋戦争、斯様なモノモ畢竟ハ

斯ウ云フ資本主義制度ノ必然的ナ趨向ニ、軍閥ヤ官吏ノ野心ガ結付イタ結果デアリマス、サウシテ國民一般、就中労働階級ハ其ノ犠牲ニ供セラレテ參ツタノデアリマス、決シテ資本ノ繁榮ニ伴ツテ労働ガ繁榮シテ居ル譯デハナイ、戦争中「ブルジョアジ」ハ鼓金ノ糞ヲ垂レ流スヤウナ暴富ヲ積ンダ、利益ヲ得テ居ル、其ノ後ドレ程ノ損害ヲ受ケタカハ別ト致シマシテ戦争中ソレダケノ利益ヲ得テ居ルノデアリマス、其ノ間労働階級ハ自己ノ權利ト自由トヲ守ル所ノ自治的ナ労働組合サヘモ禁止セラレテ、天降リ的ナ産業報國會ノ制度ノ下ニ奴隸化セラレテ居ツタノデアリ、而モ終戦ト同時ニ、資本家ハ僅カノ涙金ヲ呉レドシ、労働者ヲ解雇シ、其ノ爲ニ政府自身ガ、無暗勝手ニ労働者ヲ解雇シテハイカスト云フ聲明ヲ發シタノデアリ、或ル資本家ハ、労働者ハ難草ミタイナモノダカラ、踏ミ付ケレバ踏付ケル程大ニナルモノデ幾ラ踏付ケテモ構ハヌト言ウテ放言ヲシテ解雇シタ位デアリマス、殊ニ今日企業整理デアルトカカ何ト、サウ云フコトヲ口實ニシ、理由ニシテ、既ニ労働階級ニ對スル資本ノ攻勢ガ全面的ニ展開セラレテ居ルノデアリ、現ニ私ノ關係致シテ居リマス關東金屬労働組合ニ加ハツテ居リマス正田製作所ト云フヤウナモノデモ、經營協

議會ガ出來テ居ルニモ拘ラズ、労働協約ガ締結サレテ居ルニモ拘ラズ、一方のニ工場閉鎖ヲ宣言シテ居ル、サウ云フ例ガ頻繁ニ起リツツアリ、又今後モ起ルト云フコトガ豫想セラレルノデアリ、少シモ資本ノ繁榮ト一致シテ居ル事實ハナイノデアリマス、古往今來、逆ニ行ツテ居ル事實コソアレ、決シテ調和ハシテ居ラナイ、サウシテ労働階級ハ、今ヤ軍閥、官僚、財閥ノ抱合ニ依ル政治ノ特殊ナ形態、即チ所謂軍國主義ノ犠牲ニナツテ、未曾有ノ生活不安ニ脅カサレテ居ル、敗戦ニ依ル産業ノ崩壊、生産ノ癱瘓、賠償ノ爲ノ工場施設ノ撤去、企業整理、「インフレーション」ノ促進、サウ云フモノノ犠牲トナツテ、大量失業、生活水準ノ全面的低下ノ脅威ニ曝サレテ居ルノデアリマス、サウ云フ状態ニアル労働者ガ此ノ當面ノ困難ニ對抗スル唯一ノ手段方法ハ爭議ヨリ外ハナイ、善イニ拘ラズ惡イニ拘ラズ、ソレハ現在マデ繼カニ労働者ガ其ノ生活難、生活ノ窮迫ニ堪ヘテ來タ唯一ノ手段デアツタコトハ、厚生省ノ勞政局ノ調査ニ依ツテ明白ナデアリマス、私ガ先程申上ゲタヤウニ、厚生省ノ調査其ノモノガ之ヲ立證シテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ此ノ法律ノ強行ニ依ツテ労働者ノ爭議權ヲ制限スル、政府委員ハ決シテ是ハ制限デハナイ、唯猶豫ヲ置

タダケデアル、或ハ其ノ點ガ濠洲ト違フトカ、色々ナ理由ヲ擧ゲテラレマスガ、併シナガラ私ノ申上ダタ三十日間ノ制限ト云フコトガ一方デハ労働者ヲ手モ足モ縛シテ少シモ行動ノ自由ヲ與ヘナイ、資本家ハ其ノ三十日間ニ解決ニ到達セラレナカッタ曉ニ備ヘテ幾ラデモ手段ヲ講ジテ置ク自由ガアルノデアリマス、サウ云フ不公平ニ對シテ労働者ニハ何ノ補償モナイデハナイカト云フコトニ對シテハ少シモ御答辯ガナイノデアリマシガ、サウ云フ狀態ニ在ル労働者ニ更ニ爭議權ヲ、法文ノ上デハドウデアツテモ、實際的ニハ是ハ禁止ト少シモ違ハナイ、サウ云フ結果ヲ招來スルヤウナ法律ヲ、労働者ノ反對ヲ抑切ツテ強行シヨウトスルコトハ不公平デアル、不合理デアル、ノミナラズ隨分情ヲ知ラナイヤリ方デハナイカ、厚生大臣ハ財閥資本家ノ利益ヲ代表シテ居ルノデアツテ、労働者ノコトハ意トスルニ足ラナイ、資本主義的ナ産業ノ復興、財閥的ナ生産ノ再建、サウ云フコトガ當面政府ニ取ツテ目的デアツテ、國家ノソレガ目標ナノデアツテ、労働者ノ意思、労働者ノ感情、労働者ノ利害ト云フヤウナコトハ二ノ次デアル、サウ仰シタルナラバ又何ヲカ言ハンヤデアリマスガ、併シナガラ今日此ノ亡國ニ瀕シテ居リマス日本ヲ再建致ス爲ニハ産業ノ復興、生産ノ

再建ト云フコトハ何ヨリモ必要デアル、根本デアル、サウシテソレニ労働ト云フ要素ガ重要ナ位地ヲ占メルコトハ、アナタ日身ガ昨日當委員會ノ席上デ、勤勞ヲ重視シテ勤勞一本デ進ミタイト云フコトヲ仰シヤツタノニ徴シテモ明カデアラウト思フ、然ラバ労働階級ノ全幅的ナ全面的ナ協力ヲ政府ガ獲得シナイデハ、労働階級ノ支持、信任、熱心ナル援助ヲ労働階級カラ得ラレナイデハ、斯ウ云フ國家再建ノ大事業ガ圓滿ニ解決進行シナイコトハ明白デハナイカト存ズルノデアリマス

「イギリス」ノ「ロイド・ジョージ」内閣ハ戦争ヲ有利ニ遂行致シマス爲ニ労働組合ニ對シテ、産業ヲ縛ツテ居リマス労働組合規則ノ一時的撤廢ヲ要求シタノデアリマス、戦争ガ濟ンダラバ必ズ無條件ニ復舊スルト云フ國家トシテノ公約ヲ與ヘテ、サウシテ從來種々ナル制限ヲ産業ニ加ヘテ居リマシタ労働組合規則ヲ一時止メサシテ、サウシテ自由ニ、如何ナル機械ヲ用ヒヨウトモ、如何ナル労働者ヲ用フルコトヲ自由ニシテ、戦争ヲ遂行ヲ有利ニヤツタノデアリマス、若シ此ノ際「ロイド・ジョージ」内閣ガ戦争遂行ト云フ當時ノ「イギリス」ニ取ツテノ國家最高ノ目的ヲ達成致シマス爲ニ、労働組合ノ一切ノ自由ヲ禁止致ス

ヤウナ法律ヲ作りマシタト致シマシテモ、恐ラク労働組合ハ黙ツテ居ツタカモ知レナイ、政府ニ協力シタカモ知レナイケレドモ、ソレニモ拘ラズ、労働組合ト協議ラシテ、法律ニ依ツテ縛ルノデハナクシテ、諒解ニ依ツテヤツタノデアリマス、サウシテ「イギリス」ハ「ドイツイ」ニ勝ツコトガ出來タノデアリマス、是ハ當ツテ居ルカドウカハ別ト致シマシテ、日本ガ戦争ニ負ケタノハ労働組合ヲ潰シテ産報ヲ以テ之ニ代ヘタカラダト云フ批評ヲ下シタ人ガアリマス、ソレガ當ツテ居ルカドウカハ別デアリマスガ、斯ウ云フ風ニシテコソ、此ノ「イギリス」ニ見ラレルヤウナ方法ヲ執ツテコソ、今日此ノ超非常時ノ日本ヲ再建スル爲ニ、労働階級ノ信任ヲ贏チ得ル所

以デハナイデアリマセウカ、モツト大キナ政治的ナ見地ニ立ツテ、唯一片ノ法律ヲ以テ労働階級ノ反對ヲ抑切ツテ之ヲ制定スルト云フノデハナクシテ、進ンデ政府ガ労働組合ト協議ラシテ、労働組合ヲ腹中ニ信ヲ置イテ、サウシテ労働階級ニ今日ハ斯ウ云フ時代デア

ル、今日ハ労働組合ト云フモノハ單ニ労働者ノ利害ヲ擁護スルト云フ労働組合本來ノ任務以外ニ、今日ノ日本ガ置カレテ居ル四圍ノ條件其ノモノガ労働組合ニ別個ノ任務ヲ課シテ居ルノデアアル、ソレハ即チ労働階級ガ率先シテ、労働階級ガ指導シテ、労働階級ガ主唱シテ、工場ノ生産ノ隘路ヲ發見シテ、ドウ云フ風ニスレバ是ガ打開出來ルカト云フコトヲ、政府ノ役人モ呼ンデ、關係資本家ノ代表モ呼ンデ、關係労働組合タリノ代表ヲ出シテ、サウシテ混合委員會ヲ作ツテ、自分達ノ平生働イテ居リマス工場内デ何ガ果シテ生産ノ隘路デアるか、何ガ本當ニ産業復興ノ基礎ヲ脆弱ナラシメテ居ル原因デアるか、サウ云フコトヲ自分ノ方デ調ベルナリシテ、サウシテ是ガ原因デアるか、資材ノ關係デアるか、資金ノ關係デアるか、人員ノ關係デアるか、施設ノ關係デアるか、其ノ原因ヲ確メテ、サウシテ之ヲ排除スルコトニ資本家モ、労働者モ、技術家モ一緒ニナツテ努力ヲスル、或ル場合ニハ關係當局ニ懇ヘテモ宜シイデアラウ、又或ル場合ニハ進ンデ「マツカーサー」司令部ニ行ツテ懇ヘテモ宜シイデアラウ、斯ウ云フ風ニ労働者ガ「イニシアティブ」ヲ取ツテ資本家ノ尻ヲ引イテ産業復興ノ實ヲ擧ゲルコトガ、今日ノ労働組合ニ課セラレテ居ル任務デアル、斯

ノ會合ニ於テ、今日ハ労働組合ト云フモノハ單ニ労働者ノ利害ヲ擁護スルト云フ労働組合本來ノ任務以外ニ、今日ノ日本ガ置カレテ居ル四圍ノ條件其ノモノガ労働組合ニ別個ノ任務ヲ課シテ居ルノデアアル、ソレハ即チ労働階級ガ率先シテ、労働階級ガ指導シテ、労働階級ガ主唱シテ、工場ノ生産ノ隘路ヲ發見シテ、ドウ云フ風ニスレバ是ガ打開出來ルカト云フコトヲ、政府ノ役人モ呼ンデ、關係資本家ノ代表モ呼ンデ、關係労働組合タリノ代表ヲ出シテ、サウシテ混合委員會ヲ作ツテ、自分達ノ平生働イテ居リマス工場内デ何ガ果シテ生産ノ隘路デアるか、何ガ本當ニ産業復興ノ基礎ヲ脆弱ナラシメテ居ル原因デアるか、サウ云フコトヲ自分ノ方デ調ベルナリシテ、サウシテ是ガ原因デアるか、資材ノ關係デアるか、資金ノ關係デアるか、人員ノ關係デアるか、施設ノ關係デアるか、其ノ原因ヲ確メテ、サウシテ之ヲ排除スルコトニ資本家モ、労働者モ、技術家モ一緒ニナツテ努力ヲスル、或ル場合ニハ關係當局ニ懇ヘテモ宜シイデアラウ、又或ル場合ニハ進ンデ「マツカーサー」司令部ニ行ツテ懇ヘテモ宜シイデアラウ、斯ウ云フ風ニ労働者ガ「イニシアティブ」ヲ取ツテ資本家ノ尻ヲ引イテ産業復興ノ實ヲ擧ゲルコトガ、今日ノ労働組合ニ課セラレテ居ル任務デアル、斯

様ニ私ハ常ニ宣傳シテ居ルノデアリマス、サウシテ之ニ對シテ會テ一人モ反對シタ者ハアリマセヌ、労働者ハ國家再建ノ意欲ニ燃エテ居ルノデアリマス、資本家ノ出方一ツ、政府ノ態度一ツデハ此ノ少クトモ當面亡國ニ瀕シテ居ル日本國家ヲ再建スルト云フ上ニハ、政府ニ援助ヲ與ヘ、政府ヲ支持スルト云フ意欲ニ決シテ各カナル者デハナイノデアリマス、唯一片ノ法律ヲ以テ無理ヤリニ抑ヘル、サウ云フコトニ對シテ、労働階級ガ全面的ニ反對ヲ表明シテ居ル、是ハ私ノ關係シテ居ル組合デアリマセヌガ、同ジク労働總同盟ニ屬シテ居リマス化學關係ノ組合ノ私共ノ友人デアリマス組合長ノ日向野ト云フ人が、是ハ花王石鹼ノ工場ヲ經營シテ居ル人デアリマス、労働者デアツテ、又工場管理ヲヤツテ經營ラシテ居ル、石炭ガナクナツテ産業ヲヤツテ行クコトガ出來ナイ、生産ヲ續ケテ行クコトガ出來ナイ、ソコデ私が會テ「マツカーサー」司令部デモ、何處ヘデモ行ツテ、産業再建ノ爲ニハ談判スルガ宜イト言ツタコトヲ覺エテ居リ「マシテマツカーサー」司令部ヘ出掛ケテ行ツテ、サウシテ當路ノ人ニ會ヒマシタ、所ガ冬寒イ中デアリマシタガ、部屋ノ中ハ皆「ワイシヤツ」一枚デ仕事ラシテ居ル位ニ温カイ、ソコデ日向野君ガ申シマスノハ、此ノ温度ハ七十

度ニ私ハ常ニ宣傳シテ居ルノデアリマス、サウシテ之ニ對シテ會テ一人モ反對シタ者ハアリマセヌ、労働者ハ國家再建ノ意欲ニ燃エテ居ルノデアリマス、資本家ノ出方一ツ、政府ノ態度一ツデハ此ノ少クトモ當面亡國ニ瀕シテ居ル日本國家ヲ再建スルト云フ上ニハ、政府ニ援助ヲ與ヘ、政府ヲ支持スルト云フ意欲ニ決シテ各カナル者デハナイノデアリマス、唯一片ノ法律ヲ以テ無理ヤリニ抑ヘル、サウ云フコトニ對シテ、労働階級ガ全面的ニ反對ヲ表明シテ居ル、是ハ私ノ關係シテ居ル組合デアリマセヌガ、同ジク労働總同盟ニ屬シテ居リマス化學關係ノ組合ノ私共ノ友人デアリマス組合長ノ日向野ト云フ人が、是ハ花王石鹼ノ工場ヲ經營シテ居ル人デアリマス、労働者デアツテ、又工場管理ヲヤツテ經營ラシテ居ル、石炭ガナクナツテ産業ヲヤツテ行クコトガ出來ナイ、生産ヲ續ケテ行クコトガ出來ナイ、ソコデ私が會テ「マツカーサー」司令部デモ、何處ヘデモ行ツテ、産業再建ノ爲ニハ談判スルガ宜イト言ツタコトヲ覺エテ居リ「マシテマツカーサー」司令部ヘ出掛ケテ行ツテ、サウシテ當路ノ人ニ會ヒマシタ、所ガ冬寒イ中デアリマシタガ、部屋ノ中ハ皆「ワイシヤツ」一枚デ仕事ラシテ居ル位ニ温カイ、ソコデ日向野君ガ申シマスノハ、此ノ温度ハ七十

度ニ私ハ常ニ宣傳シテ居ルノデアリマス、サウシテ之ニ對シテ會テ一人モ反對シタ者ハアリマセヌ、労働者ハ國家再建ノ意欲ニ燃エテ居ルノデアリマス、資本家ノ出方一ツ、政府ノ態度一ツデハ此ノ少クトモ當面亡國ニ瀕シテ居ル日本國家ヲ再建スルト云フ上ニハ、政府ニ援助ヲ與ヘ、政府ヲ支持スルト云フ意欲ニ決シテ各カナル者デハナイノデアリマス、唯一片ノ法律ヲ以テ無理ヤリニ抑ヘル、サウ云フコトニ對シテ、労働階級ガ全面的ニ反對ヲ表明シテ居ル、是ハ私ノ關係シテ居ル組合デアリマセヌガ、同ジク労働總同盟ニ屬シテ居リマス化學關係ノ組合ノ私共ノ友人デアリマス組合長ノ日向野ト云フ人が、是ハ花王石鹼ノ工場ヲ經營シテ居ル人デアリマス、労働者デアツテ、又工場管理ヲヤツテ經營ラシテ居ル、石炭ガナクナツテ産業ヲヤツテ行クコトガ出來ナイ、生産ヲ續ケテ行クコトガ出來ナイ、ソコデ私が會テ「マツカーサー」司令部デモ、何處ヘデモ行ツテ、産業再建ノ爲ニハ談判スルガ宜イト言ツタコトヲ覺エテ居リ「マシテマツカーサー」司令部ヘ出掛ケテ行ツテ、サウシテ當路ノ人ニ會ヒマシタ、所ガ冬寒イ中デアリマシタガ、部屋ノ中ハ皆「ワイシヤツ」一枚デ仕事ラシテ居ル位ニ温カイ、ソコデ日向野君ガ申シマスノハ、此ノ温度ハ七十

五度ダ、寒暖計ヲ見レバ七十五度ダ、人間ニ快適ナ温度ハ六十五度ガ最もハ好イ譯デアル、諸君ハ「シヤツ」一枚デ仕事ヲシテ居ルノデヤナイカ、諸君ガ十度モ高ク煖爐カ煖房カノ氣温ヲ上ラセテ、サウシテ集ツテ居ル、「シヤツ」ヲ脱イデ働イテ居ル程温カイ思ヒヲシテ居ル傍ラデ、日本ノ産業ハ今日石炭ガナイ爲ニ工場ガ閉鎖シヨウトシテ居ルノデアルト云ツテ談判致シマシタ所ガ、私ハ今其ノ名前ヲ忘レマシタガ、「マツカール」司令部ノ當路ノ人ガ非常ニ感心ヲシテ、君ノヤウナコトヲ今マデ此處ニ來テ言ツタ者ハナイ、君ガ初メテサウ云フコトヲ言ツタト云ツテ、早速石炭ヲ廻シテ呉ル手續ヲシテ貰ツタノデアアル、左様ニ組織者ハ實際ニ産業ヲ經營シテ行ク産業ヲ再建シテ行ク、生産ヲ再開シテ行クト云フ上ニ假令小サナ例デアリマシテモ、實際ニ資本家ヤ政府ト違ツテ實踐シテ居ルノデス、ソレ程ニ勞働階級ハ日本ノ今日ノ狀態、明日ノ運命ト云フコトニ對シテ非常ニ熱意ヲ持ツテ居ルノデアアル、サウ云フコトニ政府ハ思ヒヲ致シテ、眞ニ勞働階級ノ全面的ナ協力ヲ得ル爲ノ方法手段ヲ講ズルコトガ先決問題デハナイカ、コンナコトハ後デモ宜インダ、コンナコトハナクテモ宜イノデアアル、モット勞働者ノ基本的ナ權利自由ヲ保障スル所ノ、例ヘバ

今厚生省デ審議サレテ居リマスガ、勞働保護法ト云ヒマスカ、勞働基準法ト云ヒマスカ、サウ云フモノヲ先ニ出スガ宜シイノデアアル、コンナモノハ其ノ後デ宜シイ私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ヲ厚生大臣カラ御伺ヒシタイ

○河合國務大臣

御答ヘ致シマス

其ノ前ニ一言御斷ハリ致シマスガ、先程私ノ答辯ガ外ノ委員會其ノ他デ不親切ダト云フコトデ荒知君カラ叱リヲ受ケマシタガ、實ハ始メ不慣レデアリマシタコト、ソレカラ厚生省ノ仕事ニハ經驗モ淺カツタモノデスカラ相當勉強ハシテ居ル積リデスカレドモ、追付ケマセヌデ甚ダ至ラヌ所ガアツタコトハ恥入ル次第デアリマス、其ノ後注意モ受ケマシタノデ、段々出來ルダケノベストヲ盡シテ答辯ヲ致シテ居リマス、是レ以上ハ出マセヌ(笑聲)此ノ點ハドウカ一ツ御勘辨ヲ御願ヒラシタイト思ヒマス

ソレデ今荒知君ノ色々御熱烈ナル御話ヲ承リマシテ、皆體驗ニ基イテ居ル御話ト傾聴致シテ居ル次第デアリマス、色々私共ニ幾多ノ示唆ヲ御與ヘ下サイマシテ、厚ク御禮申上ゲマス、且ツ此ノ場合ドウシテモ國家再建ノ目的カラ勞働者ノ積極的ノ協力ヲ得テ國ヲ建直シテ行カナケレバナラヌト云フコトニ對シテハ全ク御同感デアリマ

ス、政府モ出來ルダケ其ノ線ニ沿ウテヤツテ行ク積リデアリマス、唯御承知ノヤウニマダ二箇月シカ現政府ハ經テマセヌ、ソコヘ直グ議會ダ、マア朝カラ晩マデ實ハ之ニ一パイ掛カツテ居リマシテ、人間トシテソコマデ參ラヌ、實ハ端のナ話ヲ申シマス、此ノ企業整理、其ノ他ノ問題ニ付テモ、勞働組合ナドノ御方トモ御懇談サウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、此處ニモソレヲ先方ニ傳ヘル爲ニ組合首腦者協議會ト云フモノヲ持ツテ居リマスガ、之ヲ忘レテハ書キ、忘レテハ書キト云フコトデ、實ハサウ云フコトモ考ヘテ居ル、考ヘテ居リマスルケレドモ、實ハ本當ニモウ一分間モ暇ガナイト云フコトデ、人間トシテ苦シンデ居ル、マア弱イ人間ノコトデアリマスカラ、八面六臂ト云フ譯ニモ行キマセヌ、其ノ點モ御諒承願ヒタイ、出來ルダケノコトヲ致シテ、此ノ國難ヲオモヒニ日本國民ガ切抜ケテ行クト云フ誠意ニ付テハ、政府モ一ツモ變ハリゴザイマセヌ、御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ色々私ノ考ヘテ居ルコトニ付キマシテノ御批判モアリマシタガ、私ハ決シテ資本家ノ代表デハアリマセヌ、又サウ云フ意味ニ於テ此ノ職ヲ汚シテ居ル譯デモ絶對アリマセヌ、申サバ國民全體ノ代表ノ積リ、又代表ニナリタイ積リデヤツテ居リマス、サウシテ一

ツノ階級ヲ代表シテ居リマセヌト云フコトヲハツキリ申上ゲテ置キマス、ソレエラ資本ト勞働トノ共榮ト云フカ、資本家ノ繁榮ハ勞働者ノ繁榮ダト云フヤウナ意味ノコトヲ言ウタト云フコトデアリマシタガ、ドウ云フ言葉ヲ用ヒマシタカ記憶ハアリマセヌガ、私ノ肚ニ考ヘテ居リマスノハサウ云フコトデヤアリマセヌ、私ハ「ウエージフアンド」ト云フコトヲ申シテ居リマス、ト云フノハ、物が足りナイ、物が足りナイノヲ引張り合ツテハ困ルデヤナイカ、一枚ノ蒲團ヲオ互ヒニ引張り合ヘバ何處カ又足ダノ肩ダノ出ルンダ、ソコデ此ノ蒲團ヲ大キクシヨウデヤナイカ、何枚モ一ツ蒲團ヲ拵ヘヨウデヤナイカ、サウスレバ皆スク／＼ト着テ行ケルンデヤナイカ、斯ウ云フコトニ一ツ中心ヲ置カナケレバナラヌ、世話ニ碎ケテ申セバサウ云フ意味デアリマス、サウ云フ意味ノコトヲ、或ハ資本ト申シマシタカ、或ハ經營ト申シタカ、或ハ勞働者ト申シマシタカ、或ハ組合ト申シマシタカ、其ノ用語ハ知リマセヌガ、茲ニ明瞭ニ申上ゲテ置キマス、是ハ古イ言葉デ言ヘバ「ウエージフアンド・セオリ」ト云フ「セオリ」ガ「イギリ」スニアツタト云フコトヲ例ニ引イテ私ハ申上ゲテ居ル、サウ云フ意味ニ此ノ問題ヲ御諒解下サレバ、ソレ以外ニ決シテ他意ノナイ

ト云フコトヲ私ハ申上ゲル次第デアリマス
ソレカラ勞働者ニハ斯ウ云フ法律ナドヨリモ直チニ本當ニ肺肝ヲ吐露シタ懇願ニ行ツテヤルベキモノダ、此ノ法律ハ勿論見方ニ依ツテハサウダト思ヒマス、ケレドモ、此ノ法律ハ、度々申上ゲテ居ル通り何モ一ツモ彈壓ト云フ目的モ持タナケレバ、何ニモ持チマセヌ、全ク國民全體ノ利益ノ爲ト云フ一語ニ盡キルノデアリマス、國民全體ノ利益ノ爲ニハ他ノ國民全體ハ、又部分トシテノ、階級トシテノ國民ハ、同意ヲシテ下サルモノト云フ氣持ダケデアリマシテ、ソレ以外ニハ一ツモ意圖ハ持タヌデアリマス、ソレデハドウシテ法律ヲ出シタカト云フト、是ハ何ト申シマスカ、甚ダ言葉ハ惡イガ、自然的ニ出タト申シマスカ、前ニ勞働組合ヲ拵ヘテ、サウシテ「アジヤストメント・ロー」ヲ作ラナケレバナラヌト云フコトデ是ガ早ク出來、勞働保護法ハマダ御承知ノ通りニ手續ヲ踏ンデ居ル最中デアリマス、ヤハリ簡單ナモノカラ先ニ出タト云フコトデアリマシテ、決シテ此ノ間ニ之ヲ先ニシテ勞働保護法ヲ後ニスルト云フ意圖モ何ニモ持チマセヌ、是ハ色々中央委員會ナドニ立案ヲ願ヒマシテ、其ノ時ノ經過カラモ荒知君モ御存知ノコトト思ヒマスガ、是ハ政府ノ意圖シテヤツタモノデハナ

ト云フコトヲ私ハ申上ゲル次第デアリマス
ソレカラ勞働者ニハ斯ウ云フ法律ナドヨリモ直チニ本當ニ肺肝ヲ吐露シタ懇願ニ行ツテヤルベキモノダ、此ノ法律ハ勿論見方ニ依ツテハサウダト思ヒマス、ケレドモ、此ノ法律ハ、度々申上ゲテ居ル通り何モ一ツモ彈壓ト云フ目的モ持タナケレバ、何ニモ持チマセヌ、全ク國民全體ノ利益ノ爲ト云フ一語ニ盡キルノデアリマス、國民全體ノ利益ノ爲ニハ他ノ國民全體ハ、又部分トシテノ、階級トシテノ國民ハ、同意ヲシテ下サルモノト云フ氣持ダケデアリマシテ、ソレ以外ニハ一ツモ意圖ハ持タヌデアリマス、ソレデハドウシテ法律ヲ出シタカト云フト、是ハ何ト申シマスカ、甚ダ言葉ハ惡イガ、自然的ニ出タト申シマスカ、前ニ勞働組合ヲ拵ヘテ、サウシテ「アジヤストメント・ロー」ヲ作ラナケレバナラヌト云フコトデ是ガ早ク出來、勞働保護法ハマダ御承知ノ通りニ手續ヲ踏ンデ居ル最中デアリマス、ヤハリ簡單ナモノカラ先ニ出タト云フコトデアリマシテ、決シテ此ノ間ニ之ヲ先ニシテ勞働保護法ヲ後ニスルト云フ意圖モ何ニモ持チマセヌ、是ハ色々中央委員會ナドニ立案ヲ願ヒマシテ、其ノ時ノ經過カラモ荒知君モ御存知ノコトト思ヒマスガ、是ハ政府ノ意圖シテヤツタモノデハナ

クシテ、當時ノ考ヘト致シマシテハ、出來ルダケ民間側ノ意圖ヲ酌シテ、勿論是ハ多數決定シナケレバナラヌ問題デアリマスカラ、多數ノ意見、少數ノ意見ト云フ意見ノ決定ハアリマシタケレドモ、大體會議ニ於テ政府ガ最モ民意ヲ代表シタモノデアルト云フ形ノモノヲ通ツテ來タ、今日ノ狀態デ行ケバ又今日之ニ處スル途モアツタデセウガ、當時ノ狀態ニ於テハサウ云フ意圖ヲ以テ決メタト云フコトハ、衝ニ當ツテ居ル此處ノ吉武君モ恐ラク證人トシテ言ツテ呉レルコトダト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、何等ノ意圖ヲ持タヌ、ソコデ私共ハ偶然ニモ此ノ衝ニ當ツテ、勿論政府ニ於テモ宜イト認メテ居リマスガ故ニ、大イニソレヲ丁度被告ノヤウナ立場デ辯明ヲシテ居ル狀態デアリマシテ、信念ハ其處ニアリマスコトヲドウゾ御承知願ヒタイト思ヒマス

○荒畑委員 大變長イ時間ヲ御分チ下サイマシテ有難ウゴザイマス、是デ終ルコトニ致シマスガ、最後ニ申上ゲタイト思ヒマスコトハ、私ハ繰返スヤウデアリマスガ、爭議ノ主因ガ生活不安ニアラ、ソレカラサウ云フ狀態ニアツテハ爭議ハ不可避デアリマス、爭議ニ依ツテノミ初メテ要求ガ實現サレテ居ルヤウナ實情ニアル、隨テ斯ウ云フコトハ社會一般ノ常識

カラ考ヘマシテモ、爭議ハ正當デアルト言ハナケレバナリマセヌ、ソノ限リデハ官公吏モ公益事業ノ勞働者モ一般勞働者モ差別ガナイ、業態業種ニ依ツテ爭議權ノ行使ニ差別ヲ立テル理由ハナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ申シテ參ツタ積リデアリマス、所ガ主トシテ吉武政府委員ノ御答辯ハサウ云フコトニ對シテ一々御尤モダ、又氣ノ毒ダガ是ハ何トモ致シ方ナイ、我慢シテ貰フヨリ仕様ガナイト云フヤウナ御答辯デハ甚ダ是ハ曖昧デア

希望ヲ表明シテ置キタイノデアリマスガ、政府ハモツト大乗の見地ニ立ツテ、斯ウ云フ法律ヲ撤回ナスツテ、勞働者ノ基本ノ權利、自由ヲ確保スル法律ヲ先ニ出シナサイ、コンナモノハモツト後ニナサイ、ソレカラ若シ公益事業ト云フモノニ對シテ、特別ナ扱ヒヲナサラウト云フノナラバ、之ニ對シテハ勞働組合ノ經營ニ對スル參加權、發言權ヲ御認メニナルト云

フヤウナ御用意ガアツテ欲シイノデアリマス、又性質ハ公益事業デア

松岡君 遲タナツテ居リマスカラ、サウシテ先程殘サレテ居リマス生産管理ノ問題ニ付テ厚生大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、日ハ覺エマセヌガ、此ノ委員會ノ討議ガ行ハレマシタ際ニ、經營者ノ意見ニ反シテ、若シハ經營者ヲ排シテ行ハレル生産管理、斯ウ云フ所マデ話ガ進ミマシテ、サウシテ厚生大臣ハ、例ノ如ク先

刻私ノ申シマシタヤウナ意味合ニ於テ之ヲ否認サレタノデアリマシタガ、經營者、企業家ノ意見ニ反シテ、若シハ之ヲ排シテ行ハレル生産管理デナクテ、先ニモ一寸觸レマシタケレドモ、實ハ是ハ今日膳國務大臣ニモ來テ載イテ其ノ點ヲ聽キタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、會テ膳國務大臣ガ「ラジオ」討論會デ——私直接聽イタコトデアリマセヌガ、私ノ友人ノ言フ所ニ依ルト、生産管理ナルモノハ認メラレヨウ答ガナイデヤナイカ是ハ國務大臣ニオナリニナツタ後ノコトデアリナイノデアリマスガ、例ヘバ召使ガ一家ノ主人ヲ追出シテ、家庭ヲ占領スルノトマルデ同ジヤウナコトニナルデハナイカ、サウ云フコトヲ誰ガ一體容認出來ルカ、斯ウ云フ話モアツタサウデアリマスガ、友人ノ曰ク、中々旨イコトヲ言ツテ居ル、「ラジオ」討論會デ膳サン流石ニ光ツテ居ツタデスヨ、私ハサウ云フ話ヲ聽カサレタノデアリマス、私ハサウ云フコトヲ思出スノデアリマスガ、今日デハ是トハ逆ニナツテ、ウツチヤラカシテ逃出工場主、經營者ガアルノデアリマス、ソレデ私ハ朝カラ膳サンニ是非トモ出テ載イテ其ノ所見ヲ聽キタイト思ツテ居ツタノデアリマス、此ノ問題ハ先般赤松君ノ質問デシタカ、意ニ反シ或ハ之ヲ排シテト云フヤウナ所マデ行キマシテ、ソレ

カラ先ハツキリシナカツタ、勞働者ヲ捨テ兒ニシテシマフヤウナ調子デ工場ニ置去リニシタ場合ニ、サウ云フ場合ニ於ケル生産管理ト云フモノハ資本家ノ意見ニ反シテト云フコトハ或ハ言ヒ得ルカモ知レマセヌガ、資本家ヲ排シテヤルノデカナイ、斯ウ云フ場合ニ付テノ見解ヲ一ツ聽カシテ載キタイ

○河合國務大臣 松岡君ノ御尋ネニ御答ヘ致シマス、生産管理ガ正當デナイト云フコトハ、日本ノ制度、又日本ノ現在ノ法制其ノ他ニ於キマシテ、自他ノ區別ヲ付ケナクテハナラヌト云フコトノ一語ニ盡キルト思ヒマス、ソレデ今ノ御話ノヤウナ問題ニ觸レテ參ルノデアリマスガ、結局契約デヤラレタノナラバ一切差支ヘナイコトデアリマスカラ、本人ガ承知スル、承知セヌト云フコトノ區別ヲ、意ニ反シ、意ヲ排シテト云フヤウニ申シタノダラウト思ヒマスガ、承知シヨウニモ承知スル相手ガナカツタト云フヤウナ場合ノ問題ヲ民事的ニ見テドウ云フ風ニ行クモノカト云フコトハ非常ニ難カシイ、客觀的ニ承知シ得ベキ狀態ニ於テ承知シナカツタナラバ惡意ダトカ、或ハ是ハ不可抗力的ニ承知シ得ナカツタトカ、色々茲ニ細カキ區別ガ出マセウカラ、此ノ一語モ、ソレデ此ノ問題ノ法律的ノ見解ヲハツキリスル問題デハナイカト思ヒマス、御指摘ノ場合ハ、實ハ正田

第六期第十一號 勞働關係調整法案委員會報告 第十回 昭和二十一年八月六日

ヒスルコトモアルカモ知レマセヌ
○吉武政府委員 只今松岡委員ノ
ヤウニ、生産管理ハ政府ハ認めナ
イガ、若シサウ云フモノガ起ツタ
時ニ、ソレヲドウ云フ風ニスルカ
ト云フ風ナ御尋ネカト思ヒマス、
政府ト致シマシテハ、生産管理ニ
付テハ厚生大臣ナリ其ノ他外ノ關
僚カラモ御話致シマシタヤウニ、
是ハ正當ナル爭議行爲トハ認めマ
セヌ、隨ヒマシテソレハ行ヒマ
シタモノニ付テハ、或ハ必要ニ應
ジテ取締ルモノガアレバ取締リマ
セウシ、或ハ民事上ノ問題ニナル
問題ニ付キマシテハ民事上ノ手續
ヲ執ル場合ガアラウカト思ヒマス、
併シ事實起ツタモノヲ違法ガ
カラト云フコトデ、ソレニ何等ノ
手ヲ觸レナイデ放ツテ置ク譯ニ參
リマセヌカラ、解決出來ルモノハ
勿論委員會ナリ調停ナリニ依ツテ
解決スベキ努力ヲ拂フゴトハ起リ
得ルト存ジマス

○松岡(駒)委員 ソコデ私ハソコ
ヲスツキリトシタコトニスル必要
ガアルト云フノデアリマス、工場
管理ニ類スルガ如キ生産管理ハ一
體私共ハ反對ナノデアリマス、生
産管理ニ藉口シテ自分達ガ工場會
社ノ資産ヲ勝手ニ處分スルガ如キ
コトハ、是ハ明カニ違法ダト私共
自身考ヘ、大イニ慎ムベキダト我
我ハ仲間ヲ制シテ居ルノデアリマ
ス、一々申上ゲレバキリガナイ、
要ハ一定ノ限界ヲ定メル必要ガ

アル、今更否認サレテ居ル後ニ於テ繰返スヤウデアリマスガ、ソレヲ取消シテ戴カウト云フノデハナリ、此ノ種ノ問題ノ扱ヒ方ヲ先カラ申上ゲテ居ル通り、勞働組合法第十五條トノ關係ニ於テ、是非ハ非常ニ大切ノ問題デアリマスカラ、勞働委員會ガ個々ニサウ云フ問題ノ成否ヲ審査シ得ルヤウナコトニ付テノ道ヲ開クト云フコトニ付テ御考慮願ヒタイコトヲ私ハ重ネテ此處デ質問デヤナク申上ゲテ、是デ此ノ問題ヲ濟マシタイト思ヒマス

次ニハ補償基金ノ問題或ハ賠償清算處理ノ進行ニ依ツテ龐大ナ失業業者ガ出ルコトハ是ハ厚生大臣自ラ明瞭ニ答辯サレテ居ルノデアリマスガ、今日デモ既ニ數百萬ノ失業業者ガアル、之ヲ厚生大臣トシマシテハ、所謂三段構ヘデ以テ國家的ナ事業ヲ大ニ起シテ、ソレデ其處ニ吸收スル、ソレハ、變ニ結構ナコトデアリマスカラ大ニニヤツテ戴キタイ、ガ、私ガ厚生大臣ニ御尋ネシタイコトハ、技術職工ヲ、例ヘバ開拓事業ガ行ハレル、或ハ「ダム」ガ建設サレルカラ其處ヘ君行ツテ一ツ働イデ呉レナイカト言ハレテ、甚ダ價レナイ仕事デアルケレドモ、我慢ラシテヤルト言フ、ソコデ大ニ努力シテヤル人ノアルコトモ私ハ聞イテ居リマスガ、ソレハ國ニ取ツテモ損デアリマス、ナゼカト云フト、技術

職工ハ技術デ働クコトノ出來ルヤウニ仕向ケテヤルコトガ本當デアリマス、機械職工ナドガ「ダム」ノ建設ナンカニ出掛ケテ行ツテ、ソシテ土工ト一緒ニ働クナント云フコトハ成ベク避ケタイコトデアリマス、本人ノ生活ノ爲ニ同情ヲ以テ考ヘ、國ノ爲ニモ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、ソコデ私ノ考ヘルコトハ、是ハ何トカ一ツ勞働時間ヲ短縮シマシテ、出來ルダケ短時間勞働ニ於テ大勢ノ者ガ交替シテ働クト云フ必要ガアルノデハナカラウカ、殊ニ一方生産機關ガ極度ニ燒キ盡サレ、或ハ破壊サレマシテ、何分ノ一カニ減ジテ居ル現狀ニ鑑ミマシテ、全然戰爭ノ爲ニ必要ノモノナンカハ生産ノ必要モナクナツタノデアリマスケレドモ、サウデナクテ、多々益益生産シナケレバナラナイニ拘ラズ、生産ノ機關ヲ失ツテ居ルモノモアルノデアリマス、サウ云フ事實ト關聯シテ、是ハ短時間勞働デ、出來ルナラバ其ノ少クナツタ生産機關ヲ「フル」ニ運轉シテ、サウシテ此ノ國民ノ間デモウ喉カラ手ノ出ル程欲シイ衣料ニ致シマシテモ、其ノ他ノ日用雜貨ニ致シマシテモ、或ハ見返物資ノ生産等ニ於テモ、生産ヲ盛ンナラシメナケレバナラナイコトハ、是ハ私ガ喋々スルマデモナイト思フノデアリマス、ゾコデ御尋ネシタイコトハ、或ルモノハ六時間ニシテ四交

替制ヲ執ル、或ハ紡績工場ノ如キハ、四交替制ト云フト深夜業ニナリマスカラ、少年少女ヤ婦人ニ深夜業ヲヤラスト云フ譯ニ行キマセヌノデ、是ハ六時間ヲ三交替ニシテ十八時間、アト六時間深夜ヲ控除スルコトガ出來ルノデアリマス、唯之ヲヤレバ色々ト言フベクシテ中々困難ナ交通機關ノコトナシカモアリマスシ、或ハ深夜ニ通勤スルト云フコトモ困難デアツタリナンカスルノデ、寄宿舎ノ設備ナンカモ必要デアルコトモ考ヘラレルノデアリマス、私ハ成ベク簡單ニシタイ爲ニ一緒ニ申上ゲマスガ、商工大臣ノ居ラレナイコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、サウ云フ場合ニハ本當ニ必要ナモノナラバ、國家ガ補助シテサウ云フ施設ヲセシメテモ、短時間勞働ノ交替制ヲ實施スルト云フコトガ此ノ際必要デハナイカ、私ハ唯勞働者ノ勞働時間ヲ短縮シタイト云フヤウナコトノ爲ニ言ウテ居ルノデハナイノデアリマシテ、失業問題ノ對策トシマシテ、是ハ一應考ヘテ實ツテ宜イコトデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ付テ一ツ厚生大臣ノ所信ヲ伺ヒタイノデアリマス

ルコトハ言フマデモナイノデアリマスガ、大臣ハ頻リニ生活保護法ノコトヲ言ハレルノデアアル、私ハ今度ノ憲法ト云フモノハ、一體國民ノ中ノ勞働ノ能力ガナクテ、或ハ其ノ意思スラナイヤウナ者ニ付テハ、ドウシテモ之ヲ何トカシテ國ガ飽クマデ負擔シテ、國ノ全負擔ニ於テデモ、一般ノ國民ハ斯ウ云フ者ノ生活ヲ保障シナケレバナライ、斯ウ云フ精神ガ新憲法ノ精神ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今日此ノ生活保護法ナルモノハ、サウ云フ者ヲ含メテソレカラ私ガ前ニ申上ゲタヤウナ、失業業者ノ、働ク意思モアレバ能力モ立派ニアル者モゴツチャニシテノ生活保護法ノ適用ナノデス、何遍聽イデ見テモサウナノデアリマス、私ハ多クノ理窟ヲ言ハウト云フノデハアリマセヌガ、元來ハサウ云フ者ヲ一緒ニスベキモノデナイコトハ言フマデモナイノデアリマス、懶惰デアルトカ何トカ云フコトデナク、年取ツテ働カウニモ働ケナイ人ガアル、併シ日本ノ國民デアル以上ハ國家ガ其ノ生活ヲ保障シテ差上ゲルト云フ精神ノ上ニ立ツノガ生活保護法デアリマス、而モ失業業者ハ前ニ言ツタヤウナ合ニ、職業ヲ求メテモ、又働ク能力モアルケレドモ、職業ハナイノデアリマス、ソレヲ今日一體二百五十圓程度デ、我々ガ主張スル所ノ失業手當ト云フモノハ一向御考

ヘニナラナイデ、ソレデ宜イノデアルカ、生活保護法一本デヤラウト御考ヘニナルナラバ、仕事ヲ求メテ、サウシテ自分モ失業業者デアルコトヲ登録シタニ拘ラズ、國家ガ責任ヲ以テ仕事ヲチヤント振分ケテ貰ヘヌト云フ人ニ對シテハ二百五十圓以上ノモノヲ據出し負擔シテヤラウト云フコトニナツテ居ルナラバ、法律ハ一本デアリマシテモ、サウ云フ取扱上ノ相違ガアル譯デアリマシテ、失業業者ノ問題ノ扱ヒ方ガ稍ミ正シイト云フコトニ考ヘルコトモ出來ルノデアリマスガ、厚生大臣ノ説明ヲ聽イテ居リマス、頻リニ三段構ヘト言ヒマスガ、失業問題ニ對シテノ三段構ヘトシテハ、私共ニハドウモ承服出來得ナイモノガソコニアルノデアリマス

更ニモウ一ツ、斯ウ云フ機會ニ失業保險法ナンカヤルト云フコトハ、景氣ノ好イ時ニ失業保險法ヲヤツタ方ガ宜イ位ノコトハ誰デモ分リ切ツタコトデアリマスケレドモ、幾ラ不景氣デアリマシテモ、日本ノ産業ガ全部自滅スルノデハナイノデアリマス、一定ノ者ハ必ズ職業ニ就クノデアリマスケレドモ、ドウシテ努力シテモ就ケナイ者ガ出來ルノデアリマス、政府ガ如何ニドンナ事業ヲ始メルトカ何トカ言ウテ見マシタ所ガ、ドウシテモ吸收シ切ラヌデ殘サレル失業業者ガゴザイマス、サウ云フ失業業者

ハ、四交替制ト云フト深夜業ニナリマスカラ、少年少女ヤ婦人ニ深夜業ヲヤラスト云フ譯ニ行キマセヌノデ、是ハ六時間ヲ三交替ニシテ十八時間、アト六時間深夜ヲ控除スルコトガ出來ルノデアリマス、唯之ヲヤレバ色々ト言フベクシテ中々困難ナ交通機關ノコトナシカモアリマスシ、或ハ深夜ニ通勤スルト云フコトモ困難デアツタリナンカスルノデ、寄宿舎ノ設備ナンカモ必要デアルコトモ考ヘラレルノデアリマス、私ハ成ベク簡單ニシタイ爲ニ一緒ニ申上ゲマスガ、商工大臣ノ居ラレナイコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、サウ云フ場合ニハ本當ニ必要ナモノナラバ、國家ガ補助シテサウ云フ施設ヲセシメテモ、短時間勞働ノ交替制ヲ實施スルト云フコトガ此ノ際必要デハナイカ、私ハ唯勞働者ノ勞働時間ヲ短縮シタイト云フヤウナコトノ爲ニ言ウテ居ルノデハナイノデアリマシテ、失業問題ノ對策トシマシテ、是ハ一應考ヘテ實ツテ宜イコトデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ付テ一ツ厚生大臣ノ所信ヲ伺ヒタイノデアリマス

更ニモウ一ツ、斯ウ云フ機會ニ失業保險法ナンカヤルト云フコトハ、景氣ノ好イ時ニ失業保險法ヲヤツタ方ガ宜イ位ノコトハ誰デモ分リ切ツタコトデアリマスケレドモ、幾ラ不景氣デアリマシテモ、日本ノ産業ガ全部自滅スルノデハナイノデアリマス、一定ノ者ハ必ズ職業ニ就クノデアリマスケレドモ、ドウシテ努力シテモ就ケナイ者ガ出來ルノデアリマス、政府ガ如何ニドンナ事業ヲ始メルトカ何トカ言ウテ見マシタ所ガ、ドウシテモ吸收シ切ラヌデ殘サレル失業業者ガゴザイマス、サウ云フ失業業者

ハ、四交替制ト云フト深夜業ニナリマスカラ、少年少女ヤ婦人ニ深夜業ヲヤラスト云フ譯ニ行キマセヌノデ、是ハ六時間ヲ三交替ニシテ十八時間、アト六時間深夜ヲ控除スルコトガ出來ルノデアリマス、唯之ヲヤレバ色々ト言フベクシテ中々困難ナ交通機關ノコトナシカモアリマスシ、或ハ深夜ニ通勤スルト云フコトモ困難デアツタリナンカスルノデ、寄宿舎ノ設備ナンカモ必要デアルコトモ考ヘラレルノデアリマス、私ハ成ベク簡單ニシタイ爲ニ一緒ニ申上ゲマスガ、商工大臣ノ居ラレナイコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、サウ云フ場合ニハ本當ニ必要ナモノナラバ、國家ガ補助シテサウ云フ施設ヲセシメテモ、短時間勞働ノ交替制ヲ實施スルト云フコトガ此ノ際必要デハナイカ、私ハ唯勞働者ノ勞働時間ヲ短縮シタイト云フヤウナコトノ爲ニ言ウテ居ルノデハナイノデアリマシテ、失業問題ノ對策トシマシテ、是ハ一應考ヘテ實ツテ宜イコトデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ付テ一ツ厚生大臣ノ所信ヲ伺ヒタイノデアリマス

が現ニアルシ、而モ今日此ノ一定
量ノ者ハ職業ニ就キハ致シマスル
ガ、一方既ニ今日存在スル失業
者ガアルコトカラ來ル全體ノ失業
ノ脅威ト云フモノ、ソレガ勞働者
ニドウ云フ心理的影響ヲ及ボスカ、
是ハ勞働者ノ生活ニ取リマシテ
大ナル脅威、極メテ深刻ナ脅威デ
アリマスガ、工場ニ現ニ勤務シ
居ル者達ニハ、失業保險ノ掛金位
負擔スル收入ハアルノデアリマス
カラ、サウ云フ者達ニ失業者ノ掛
金ヲ負擔サセテ、サウシテ將來
ウ云フコトガアツテ、現ニ働キ
ツアツテモ失業スルト云フヤウ
コトガアツタ場合ニ保險ノ制度
ニ於テヤハリ最低ノ生活ガ保障サ
ルト云フコトニナツテ居ルナラ
バ、必ズ是ハ今ドウヤラ働イテ居
ル人達ニ餘程ノ安心ヲ與ヘルコト
ガ出來ルデアリマセウ、一方カラ
言ヘバ、働イテ居ル人達が被保險
者トシテヤハリ或ル程度ニ掛金ヲ
負擔スルコトニ於テ、相互扶助ノ
精神ガソコニ具現スルノデアリマ
ス、縱令ンバ今日ノヤウナ時ニア
リマシテ、保險シタ初メカラ直
サマ保險經濟ガ案ニナルト云フヤ
ウナコトハナイト假定致シマシ
テモ、是ハ國家ガヤルト云フノデ
アリマスカラ、赤字ニナツタツテ
イノデヤナイカト私ハ思フノデ
アリマス、極端ニ言ヘバ借入金デ
經營シテ行キマシテモ、將來失
業者ガ段々出ナクナルト云フコトニ

ルナラバ、其ノ時ニ保險經濟ガ
段ト確立サレテ參リマシテ、投資
シタヤウナモノデアリマシテ、其
ノ赤字ハ總テ消スコトガ出來ル
デアリマセウ、保險經濟ガカラ
ツテ、何モ十年間失業業者ガ出
ナイヤウナ時ニ於テ保險ヲ始メ
テ、基金ガ出來タカラ大丈夫
デ、サウ云フコトデナケレバ失
業保險ト云フモノハ出來ナイノ
ダト云フヤウナ考ヘ方ハ、往々
ニシテ議論ヲスルノデアリマス
スケレドモ、私ハ間違ヒデヤ
ナイカト思フ、或ル一定ノ期間
ハ赤字デ經營シテモ、今日ノ
場合ニ於テ失業保險法ト云フ
モノヲ實施サレル所ノ重大ナ意
義ガアルノデハナイカ、私ハ
斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、
之ニ付テノ厚生大臣ノ御所見
ヲ伺ヒタイノデアリマス

○河合國務大臣 松岡君ノ御質問
ニ御答ヘ致シマスガ、第一ノ技
術職工ノ點ニ付キマシテモ、是
ハ御尤モデアリマシテ、今度ノ
計畫ニ依ツテモ知識階級ノ失
業ニ準ジマシテ、何トカ此ノ技
術職工ニ付テ特別ノ方法ヲ執
ツテ行キタイト云フ考ヘハ實ハ
持ツテ居ルノデアリマス、ソレ
デ工場「アバート」ノヤウナ
モノヲ先ヅ作りマシテ、ソ
シテ出來ルダケ技術職工ノ技
術ニ對スル場所ヲ與ヘルト云
フヤウナコトナドモ、一應ノ
考ヘトシテ考ヘテ居ル譯デア
リマスガ、其ノ外御示シノ通
リ、時間短縮ノ問題

ト關聯シテモ考究シナク
チヤナラヌト思ツテ居リマス、
唯ヤハリ御話ノ通り單純ニ時間
ヲ唯詰メテ、仕事ハ一ツノモ
ノデアアル、其處ヘ勞働者ヲ
唯餘計人レルト云フコトハ、
是ハモウ出來ルダケ避ケベ
キコトデアリマシテ、ドウシ
テモモウ少シ積極的増産ト云
フコトヲ育マシテ行カナク
チヤナラヌ、ソレニハ何
交替ト云フヤウナ問題ナ
ドモ玆ニ出テ來ル譯デア
リマスガ、不幸ニシテ問題
ハ原料ノ問題、資材ノ問題
ト云フ點ヲ考ヘナクチヤナ
ラヌ、特ニ原料ノ問題ヲ
考ヘル必要ガアリマスノ
デ、マア例ヘバ棉花ニ致シ
マシテモ、モウト餘計人
ウツテ呉レマスレバ、色々
是ハ手モアリマセウ、併
シ棉花モ餘計人ラズサウ
シテ紡績ノ機械ノ能力モ
一定ノ能力シカナイト云
フコトニナルト、玆ニ交代
制度ノ問題モ起キテ來ル、
サウ云フヤウニ問題ヲ、
總テ現實ニ即シテ解決シ
テ行カナケレバナラヌノ
デアリマス、又如何ニシテ
原料ノ餘計費ヲカト云フ
點ニ付テモ、一段ノ努力
ヲ致サナケレバナラヌ
問題デアリマス、色々サ
ウ云フ點ニ付テモ考ヘテ
居リマス、併シ是ハ主トシ
テ商工大臣ノ分野ノコト
デアリマシテ、私カラ餘
リ詳シク申上ゲル知
識モアリマセヌガ、大體
私共モヤハリサウ云フ
線ニ沿ウテ物ヲ考フベ
キモノデアアル、御趣旨
ヲ點ハ商工大臣ニモ傳
ヘマシテ、出來ルダ

ケ考慮スベキモノデア
ルト云フ風ニ考ヘテ居
リマス、ソレカラ其ノ次
ノ問題ハ生活保護法ノ
性格カラ見テ、働コ
トノ出來ナイ寡婦トカ、
孤兒トカ、或ハ怪我
ヲシタ人トカ、又働
コトノ出來ナイ「
デイセーブル」ト申
シマスガ、サウ云フ
人ヲ目標トシタモノ
デアラウ、所ガ失業
ノ問題トソレヲ絡
ンデ、何カ失業ノ
第三線トシテ之ヲ考
ヘテ居ルデハナイ
カ、ソレガドウモ趣
旨ガ通ラヌト云フ
御話、御尤モデア
リマス、其ノ通り
デアリマス、是ハ
私共モヤハリ成
ベク狭ク解スル
ノカ生活保護法
ノ目的トハ思ヒ
マスケレドモ、
今度起キマス失
業ノ問題ハ御承
知ノ通り急ニ起
キタ問題デア
リマス、ソレデ
共ノ次ニ申シ
マス失業保險
制度其ノ他ノ
コトハマダ出
來テ居ナイシ、
殊ニ失業手當
ト云フコトニ
ナリマス、是
ハ非常ニ財政
上ノ負擔モ大
キナリマス、
又中々今日サ
ウ云フコトデ
問題ガ解決ガ
出來ルカト云
フト、「インフ
レーション」ノ
問題モアリマ
スノデ、マア
謂ハハ一寸折
衷的ノ考ヘ
テ之ニ入レテ
居リマス、ソ
レヲ御指摘ニ
ナツタノデア
リマス、カ
ラ、論理トシ
マシテハ明白
ヲ缺イテ居
ルコトハ御意
見ノ通りデア
リマス、併シ
ナガラ御質問
トシマシテハ、
先ヅ東京デ五
人家族ニ――
五人家族ト云
フノハ、三十
一歳ノ寡婦ガ
六十ノ親、六
歳、三歳、一
歳ノ三人ノ子
供ヲ持ツテ、
其ノ食糧ヲ中
心ニシタ「カ
ロリー」ナド
ヲ考ヘテ三百
圓トシテ居ル
譯デアリマス
シテ、是デハ
足ラヌノデ
ス、足ラヌカ
ラ、餘程足ラ
ヌ場合ニハ又
何ドカソレヲ
考ヘナクチヤ
ナラヌ、彈力
ハ持ツテア
リマスケレド
モ、併シ又失
業ノ人ニシテ
モ、一家全體
失業シテ居
ル場合モアレ
バ、サウデ
ナイ場合モ
アル、何トカ
親戚交友ノ
關係モアラ
ウト云フコト
デ、兎モ角五
人家族デ三百
圓ト云フコト
ニナリマシ
テ、正確ニ失
業保險トカ、
失業手當トカ
云フコトニハ
行カヌデモ、
幾ラカ相當
ノ助けニナル
デアラウト云
フ意味デ、是
モ失業對策ノ
第三線ト、事
實ノ働キカラ
考ヘテ裁キ
タイ、一面ニ
於テハ國家財
政「インフ
レーション」
ナドノ問題ヲ
頭ニ置イテ、
斯ウ云フ政
策ヲ執ツテ
居ルト云フ
コトヲ特ニ御
諒願ヒタイ
ト思ヒマス

ソレカラ第三番目ニハ失
業保險ノ問題
デアリマスガ、
是ハ少シ日本
ノ事情ノ變化
ヲ俟チマシ
テ、是非之ヲ
實行シタイ
モノダト云
フ意昧ニ於
テ、調査ヲ
進メテ居
リマスガ、
是ハ結局社
會補償或ハ
完全雇傭
ト云フヤウ
ナ線ニ沿
ウタ問題
ヲ裏付ケ
テシテ、
ドウシテ
モ斯ウ云
フ問題ヲ
考ヘテ行
カナケレ
バナラヌ
ノダト云
フ考ヘデ
居リマス、
唯時ノ問
題デアリ
マシテ、
ヤハリ御
指摘ノ如
クニ、私
モ保險ヲ
ヤツテ

保險ノ算盤ハ存ジテ居リマスガ、今一番惡イ時ニ之ヲヤリマス、ト、保險受取者バカリニナツテシマヒマス、サウシテ結局國家ガ全部負擔シナクチヤナラス、是ハ借入金ニシテモ、何ニシテモ國家ノ負擔ニナリマシテ、國家ノ財政ナリ「インフレーション」ニ非常ナ拍車ヲ掛ケルコトニナリマス、ヤハリ中々ソコマデハ行カヌ、失業保險トシテ起スニハ、ヤハリ之ヲ「スタート」スル時ヲ選ブ必要ガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、マダ時期ガ早イノデヤナイカト云フ氣持ヲ持ツテ居リマス、併シナガラ其ノ時期ノ問題如何ヨリモ、調査ガ完全ニ行ツテ居ラヌ、案ガ立ツテ居ラヌト云フコトガ最も重要ナ問題デアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松岡(駒)委員 商工大臣ガ居ラレナイノデ甚ダ残念デハアリマスガ、實ハ原棉ノ問題ノ如キハ、今日ノ日本ノ紡績ノ錘數ヲ以テシテ、輸入サレル原棉ヲコナスコトガ出來ルカ出來ナイカ、甚ダ疑問ナ現狀ニアルノデアリマス、而モ戰爭中勞働時間餘リヤカマシク監督サレナカツタセイデ、隨分此ノ頃諸方ニ於テ亂暴ナコトガ行ハレテ居ルカノヤウニ私共ハ耳ニシテ居ルノデアリマス、一方豫想以上ノ原棉ノ輸入ガ許サレテ居ル、サウシテソレダケノ物ヲ或ル部面ニ於テハコナサナケレバナラナイ

責任ヲ持ツテ居ルト云フコトト、ソレカラ勞働時間ニ付テモ餘リ嚴重ナ監督ガ戰爭以來ナイト云フヤウナコトカラ致シマシテ、イタイケナイ子供達ニ、相當無理ナ長イ時間ヲ働カシテ、深夜業ニ近イヤウナヤリ方ヲヤツテ居ル所モアルノデアリマス、サウ云フ點カラ私ハ先刻申上ゲタノデス、短時間勞働ノ三交代制ト云フコトモ申上ゲタ譯デアリマシテ、此ノ點ハ産業行政ノ方デハナイニ致シマシテモ、産業政策的ニ重要ナ問題デモアリマスシ、尙ホ厚生行政トシマシテモ、言フマデモナク是ハ厚生大臣ニ取リマシテ重大ナ問題ダト思フノデアリマスガ、成ルベク勞働時間ヲ短クシテ、多クノ人ヲ吸收シテ失業者ヲナカラシメル一助ニシタイ、而モソレガ産業政策上亦大切ナ問題ノ一ツデハナイカト云フノデアリマス、殊ニ原棉ノ如キハ、只今私ガ申上ゲタ通りノ現狀ニアルノデアリマスカラ、特ニ其ノ點ノ御考慮、研究ヲ望ンデ已マナイ次第デアリマス、私ノ聴キタイコトハマダ實ハナイデハアリマセヌガ、餘リ遅ナリマシテ、マダ原君ノ御質問モアルヤウデスカラ之ヲ以テ打切ルコトト致シマス

○達澤委員長 中原君ニ御伺ヒシマスガ、アナタハマダアルト云フヤウナ御話デシタガ、極ク簡單デシタラ許シマスガ

○中原委員 實ハ昨日散會ノ時ニ、政府カ事務局ノ人ニ、首相又ハ首相ガイケナケレバ首相代理シ得ル國務大臣竝ニ商工大臣、司法、內務、厚生大臣、斯ウ云フコトヲ申入レテ置キマシタ、又本日モ早朝早速繰返シテ此ノコトヲ申入レタト思ヒマスガ、委員長ノ取計ヒニ依リマシテ、商工大臣ノ顔ダケハ見タノデアリマスガ、マダ他ノ方ノ發言中デアリマシタノデ、遠慮致シテ居リマシタ、其ノ間ニ何時ノ間ニカ姿ヲ擡キ消シテシマツタノデアリマス、特ニ私ガ御尋ネ致シタイト思ヒマス重要ナ對象ハ、商工行政ヲ擔當スル商工大臣デアアルノデアリマシテ、其ノ商工大臣ガ出テ來ナイコトニナリマス、質問ガ可ナリ中途半端ナモノニ相成ルノデ、甚ダ遺憾ニ思ヒマス、少クトモ委員ノ質問ノ申入レニ對スル政府當局ノ態度トシテハ、甚ダ遺憾デアルト云フコトヲ、私申上ゲテ置キタイト思ヒマス、併シ折角御好意ニ依リマシテ、僅カノ時間デ宜ケレバ許スト云フコトデアリマスノデ、甘エマサウデアリマスグレドモ、私共此ノ生産管理ニ關聯致シマシテ、是非トモ商工並ニ厚生兩當局ノ御意見ヲ承リタイト思ツテ居リマシタノデ、跋行的ナ妙ナコトニナルカモ知レマセヌケレドモ、取敢ヘズ厚生大臣ガオイデニナリマスノデ、厚生當局ニ對スル質問ヲ極メ

テ簡單ニ——私ノ構想カラ申シマスト一時間以上掛カリマスガ、十分程デ切上ゲル程度デ致シタイト思ヒマス

○達澤委員長 五分カ十分デ御願ヒ致シマス

○中原委員 只今モ生産管理ノコトニ付キマシテ、先輩松岡氏トノ間ニ相當込入ツタ質疑應答ガ繰返サレタノデアリマスガ、此ノ生産管理ノ問題ニ付テ唯一點ダケ竝ニ摘出致シマシテ、厚生大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマスルガ、厚生大臣ハ企業權ト勞働權ヲハツキリト區分ヲ致シタイ、此ノ區別ニ立ツテ物ヲ考ヘテ行クノデアルト云フコトヲ屢々繰返サレタト思ヒマス、成程一應論理的ニハサウデモアルカノヤウニ考ヘラレラノデアリマスガ、今日ノ段階カラ申シマスルト、先ヅ目標ハ生産ノ増強、日本ノ再建ノ爲ノ經濟ノ興隆、斯ウ云フ目標ニ集中サレテ總テノコトガ考ヘラレヨウトシテ居ル段階デアルト思ヒマス、其ノ場合ニ、企業權ガ或ル特定者ノ私有物トシテ、私有財産トシテ考ヘラレヨウトスル強イ傾キハ、果シテ妥當デアルカドウカ、勿論私有權ヲ否定スルモノデハゴザイマセヌガ、其ノヤウナ目的モ、其ノヤウナ方向ヲ認識スル今日ト致シマシテ、唯獨リ遮ニ無ニ一途ニ企業權ニ重點ヲ置イテ、之ニ關聯スル一切ノコトヲ取扱ヒ、考ヘヨウト

スル行キ方ガ果シテ妥當デアラウカ、果シテ妥當デアラナラバ、其ノ妥當ナ根據ヲ明カニサレタイ、斯様ニ思フノデアリマス

○河合國務大臣 是ハ端のニ申シマスレバ、物ヲ平面的ニ考ヘマスルノト、立體的ニ考ヘマスルノトノ區別ガアリマシテ、是ハ現下ノ日本ノ法制デ、之ヲ法律問題トシテ處理致シマスニハ、自他ノ區別ト申シマスカ、私有財産權ノ尊重ト申シマスカ、ト云フコトデ、ソコヘ線ヲ引カナクテハ物ノ秩序ガ立ツテ參ラナイト云フコトデアリマス、隨テ其ノ根據ハ憲法ニモアリマスレバ、ソレカラ今度ノ改正憲法ニモ出テ居リマスルシ、ソレニ基クテ民法、刑法ニモ出テ居リマスレバ、民法ニモ出テ居ル、又改正サレルソレヲ法律ニモ當然出ルコトト思ツテ居リマス、サウ云フ風ニ根據ハアルト思ヒマス、併シナガラ之ヲ立體的ニ考ヘル、立體的ニト申シマスノハ將來是ハドウ云フ傾向ヲ持ツデアラウカ、斯クアツテ欲シイトカ、斯ウアルベキモノダト云フヤウナ一ツノ將來性ト云フモノ、時ト云フモノヲ入レテ縱ニ考ヘマスナラバ、是ハ色々ノ議論ガ立ツト思フノデアリマス、ソコデ是ハ平面的ノ法制ノ制度ガ變ラヌ以上ハ、ヤハリサウ云フ立體的ニ對スル希望ト雖モ、理想ト雖モ、ソレハ契約ニ依リマスガ、相手方ノ承諾ニ依リマスガ、

サウ云フ問題ガソコニ編込マレテ
來ルト云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマ
シテ、サウ云フ傾向ガ強クナツ
テ、社會ノ形勢トシテ、其ノ線ヲ
或ル程度マデ超エルコトガ認メテ
宜シト云フ社會情勢ニナリマス
レバ、自ラ法律モ變ツテ來ルト云
フコトニナリ、國ノ性格ガ變ツテ
來ルカモ知レナイト云フヤウナコ
トハ、將來ソレハアリ得ルカモ知
レマセヌ、併シ今ノ今、今ノ法制
ノ下デハ斯ウ解釋スルヨリ外ニ仕
方ガナイノダト云フ風ニ説明ヲ申
上ゲタイ、私ハサウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス

○中原委員 立體的ニ物ヲ考ヘル
ト、色々ナ見方モアルト云フ御言
葉デアリマシタガ、勿論今日我が
日本ノ狀態ハ、平面的ニ、一方的
ニ、固定的ニ物ヲ考ヘテヤツテ行
クヤウナ場合デハナイノデアリマ
ス、此ノ際靜カニ目ヲ四方ニ擴ゲ
テ見マスルト、日本ハ今ヤ全ク油
斷ノ出來ナイ重要ナ轉機ニ立ツテ
居ルノデアリマシテ、日本ヲ今後
如何ニ再建スルカト云フコトニ付
テハ、最早從來ノ慣習ヲ其ノ儘固
執シ、從來ノ形式ヲ其儘ニ繰返シ
テ行クコトガ、必ズシモ此ノ日本
ノ狀態ニ即應スル行キ方デハナイ
ト云フコトハ言ヘルト私ハ思ヒマ
ス、隨ヒマシテ、今大臣ハ、時代
ニ依ツテ、立體的ナ物ノ考ヘ方ニ
依ツテ解釋モ決メナケレバナラ
ナイコトモアル、サウナツテ來レバ

過去ノコトハ、過去トシテ、サウ
云フ情勢ニ即應シテ法律ノ改正モ
見ルニ至ルデアラウト言ハレマシ
タガ、私ハ寧ろサウ云フ時ガ今ヤ
來テ居ルノデハナイカ、其ノ大英
斷ニ依ツテコソ、初メテ徹底的ニ
破壊シ盡サレマシタ日本ノ再建ヘ
ノ方途ガ立ツノデハナイカ、斯様
ニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ
一人ノ企業者ガ、ソレガ現在ノ場
合カラ申シマス、國家再建ノ爲
ニ絕對必要ナ企業デアリマスルナ
ラバ、其ノ企業ハ特定個人ノ營利
ヲ追求スル爲ノ企業ト考ヘルノデ
ハナクテ、國家再建ノ爲ニ動員サ
ルベキ等ノ企業デアアル、斯ウ云フ
解釋ガ先ヅ必要ニナツテ來ルト思
ヒマス、サウデアアルナラバ、此處
ヘ若シ勞働階級ノ爭議ガ起ツタト
致シマシテ、其ノ爭議ノ手段ガ、
若シ是ガ何分公共性ヲ持ツ場合
ニハ、只今ノ此ノ法案ニ依ツテ相
當拘束サレルノデアリマスガ、何
レニ致シマシテモ勞働階級ハ今ヤ
殆ど爭議ノ手段ヲ否定サレ、法律
的ニ之ヲ拘束サレヨウト致シテ居
ル、此ノ時ニ方リマシテ、ソレデ
モ國家ノ目的ニ副ヒナガラ爭議行
爲ニ入ルト云フコトノ唯一ツ殘サ
レタ、而モ實ニ機宜ヲ得タ爭議手
段デアアル生産管理、此ノ生産管理
ガ私有權ヲ、或ハ企業權ヲ侵犯ス
ルカライケナイト云フヤウナ單純
ナ物ノ考ヘ方ニ依ツテ、否認シ盡
サレテ行クト云フコトニナリマス

ト、勞働階級ハ實際ハ國家ノ再建
ニ應ヘツ、自分ノ要求ヲ少シデモ
貫徹スル爲ノ手段ヲ奪ヒ去ラシテ
シマフノデアリマス、サウ云フコ
トニ對スル考慮ハ、少クトモ國家
ヲ全面的ニ心配スル當局デアリマ
スナラバ、御考慮ニ相成ルベキ等
ノモノデアアルト私ハ考ヘルノデ
アマス、然ルニ、之ヲ唯遮二無二
一方的ニ考ヘテ、所謂政府ノ聲明
ニ依ル如クニ妥當ナルコトデナク
シテ、即チ生産管理否認ト云フ絶
對的ナ方針ヲ以テ押切り、推進メ
ントシテ行カレルト云フ態度ハ、
餘リニモ反省ガナサ過ギルト私ハ
斯様ニ思フノデアリマス、偶ニ先
程司法大臣ノ言葉ノ中ニ、其ノ生
産管理ノ事情ニ依ツテハ、必ズシ
モ其ノ生産管理ヲ全面的ニ取締ル
ト云フ考ヘハ持ツテ居ラナイ、是
ハ速記録ニ載ツテ居ルト思ヒマス
ルガ、私ハ其ノ通りヲ書イタノデ
アリマス、生産管理ヲヤツタカラ
ト云ツテ直グニ取締ル考ヘハ毛頭
ナイ、生産管理ヲ風潰シニシテ行
カウト云フヤウナ考ヘハ毛頭持ツ
テ居ラナイ、唯暴力ヲ伴フヤウナ
場合ガ來レバ斷乎取締ル、斯ウ云
フヤウナコトヲ言ハレタト思フノ
デアリマス、是ハ速記録ニ明カデ
アリマスルガ、是ハ木村法相ノ所
謂良心的答辯デアリマシテ、私木
村法相ニ對スル認識ヲ新タニ致シ
マシテ、其ノ人格ノ高サニ敬意ヲ
感ジマシタ、大概此ノヤウナ方針

ガドノヤウニ獨斷サレヨウトモ私
ハ現在ノ時局ノ我ガ日本ニ於ケル
狀態ノ客觀的ナ諸情勢ヲ具サニ考
ヘマスルナラバ、生産管理ト云フ
此ノ事柄ニ對シテ、之ヲ全面的ニ
否認スルト云フ態度ハ決シテ機宜
ヲ得タ態度デハナイト云フコトヲ
繰返シ申上ゲテ置キタイ、勞働組
合ハ生産管理ヲ行ヒマスル場合ニ、
必ズシモ當局並ニ資本ニ協力スル
人々ノ考ヘマスルヤウニ、所謂秩
序ヲ紊亂シ、徒ラニ企業權ヲ侵犯
スルヤウナコトヲスルノデハナ
イ、唯其ノ企業内ニ於テ、其ノ企
業内ニ動員サレテ居ル勞働者ガ其
ノ組織サレタ組織體ヲ以テ便宜の
ニ、一時的ニ其ノ目的貫徹ノ爲ニ
ヤラレタ所ノタツタ一ツノ殘サレ
タ手段デアアルノデアリマス、隨ヒ
マシテ勞働組合ノ健全ナル發達ヲ
冀フト云フコトガ眞實デアリマス
ルナラバ、此ノ問題ニ付テハ十二
分ニ其ノ研究ガナサレタイ、現在
ノ政府並ニ其ノ方針ニ協力スル一
切ノ諸君ハ、此ノ問題ニ付テハ一
方的ナ考ヘ方カラダケデハナク致
シマシテ、所謂獨斷カラデハナク
致シマシテ、飽クマデ淡々タル氣
持デ國家ノ再建ニ燃エル熱意ヲ以
テ、此ノ問題ハ十分御檢討願ヒタ
イ、サウシテ我ガ日本ノ民主化ノ
爲ニ、勞働階級ヲ眞實ニ飛躍サセ
シメルヤウニ御考慮ガ願ヒタイ、
私ハ此ノ點ニ付テ敢テ次ノ答辯ヲ
求メヨウトハ考ヘマセヌ、此ノ點

ニ付テ答辯ヲ重ネテ聽クト致シマ
スナラバ、少クトモ一時間ノ時間
ヲ要スルノデアリマシテ、其ノ一
時間ノ時間ヲ要セザル限り、當局
ノ次ノ答辯ハ必要ト致シマセヌ、
隨ヒマシテ此ノ點ハ私ノ希望ト致
シマシテ一應御忠告ヲ申上ゲテ置
キマス

○逢澤委員長 原君ニ發言ヲ許シ
マス

○原(備)委員 私ハ先般委員長ニ
申上ゲマシタ通りニ、各委員ガ多
數アリマスノデ、時間ヲ守ツテ各
政黨トモ要ヲ得テ質問致ス事ガ必
要デアアル、而モ國策的ナ部分ヲ率
直ニ質問スベキモノト私ハ考ヘテ
居ツタノデアリマス、然ルニ人レ
代リ立チ代リ殆ど社會黨ノ方ニ質
問ヲ許サレマシタ、是ハ委員長ガ
野黨デアアル社會黨ノ御共鳴ヲ得
テ、何トカシテ此ノ法案ヲ通サナ
ケレバナラヌト云フ一ツノ方策デ
モアルヤウニ見受ケラレルノデア
リマス、又同時ニ一般カラ見マス
レバ、此ノ社會黨ノ方ハ勞働問題
ニ對シマシテハ長イ間ノ御經驗ガ
アリマスノデ、私ハ簡單ニ二十分
ノ間ニ御質問ヲ切ツテ載キ、同時
ニ大變御疲レニナツテ居ルヤウデ
アリマスノデ、厚生大臣モハツキ
リシタ答辯ヲ簡單ニ御願ヒシタイ
ト思フノデアリマス

第一ハ何ト云ヒマシテモ、誰モ
是ハ質問シテ居ナイノデアリマス
ルガ、一體政府當局ハドウ云フ主

義トドウ云フ思想トドウ云フ態度ヲ以テ勞働問題ニ臨ンデ居ルノカ、之ヲ私ハ質問致シタイノデアリマス、御存ジノ通りニ主義ト致シマシテハ共產主義、社會主義、自由主義、他ノ人達ニ言ハセルナラバ所謂自由主義ハ資本主義ダト言フ人ガアルノデアリマス、我々ハ自由主義ヲ以テ立ツテ居ル自由黨デアリマス、所謂修正資本主義ヲ以テ將來進ミタイト思ツテ居リマス、同時ニ高度ノ社會政策ヲ以テ進ミタイト考ヘテ居ルノデアリマス

第二ハ思想デアリマス、御存ジノ通りニ二十世紀マデノ歐洲ノ狀態ヲ見マシテモ、自由の民主主義思想ヲ以テ立ツテ居ルノデアリマス、現在アリマスル平等民主主義思想ヲ理想トシテ今日進ンデ居リマス、我々ハ民主主義思想ニ於キマシテモ、日本ニ於テハ搖籃期ダト思フノデアリマス、此ノ自由の民主主義思想ニ依ツテ、我々ハ今次ノ日本ヲ進メテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

何ナル態度思想及ビ主義ニ於テ、將來勞働運動ヲ御扱ヒニナルカ、此ノ點ヲ御聽キシタイノデアリマス

○河合國務大臣 日本ノ國ノ現狀ニ照シマシテ、國ヲ舉ゲテ國家再建ニ向ツテ行カナクテハナラヌノデアリマシテ、只今ノ主義、思想、態度ト云フ問題ニ付キマシテハ、大體原君ノ御主張ノ通りニ考ヘテ居リマス、引括メテ申シマストハ私ノ考ヘデハ日本再建主義トデモ申シマス、ソイツガ一番縮括ツタ所ソコヘ向ツテ行クト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○原(傳)委員 今ノ御答辯ニ對シマシテハ難シウゴザイマセウシ、言ヒ難イノデアルカラソレヲ以テ私ハ満足致シマス

第二ハ勞働運動ガ經濟交流ニ對シテ寄與スル、之ヲ主體ニ致スカ、或ハ人格權ノ向上ヲ主體ニ致シテ經濟社會的或ハ政治的、文化的向上ヲ促スカドウカ、勿論經濟交流ニ寄與スルコトヲ以テ主體ニセラレテ居リマス、現時ノ此ノ勞働運動ノ實情ヲ見マス、一種ノ政治的ナ運動化シマシテ、經濟ノ交流ニ豫期セラレ、ガ如キ運動ヲナシテ居ル點ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ政府トシテハ將來政治ノ上ニ考慮致サナケレバナラヌト云フノガ大キナ原因ヲナシテ居ヤシナイカト思フノデアル、ソレカラ御存ジノ通り三

月ニハ三千七百四十六組合、百六十萬九百八十五人デアリマシタガ、四月ノ末ニナリマス、ソレガ七千三百組合ニナリ、二百七十萬ノ勞働者ノ數ニナリ、七月ニ至リマシテ三百萬人ノ勞働攻勢ヲ今日執ラレテ居ルノデアリマス、過去ニ於キマシテハ資本攻勢デアツタガ、御存ジノ通りニ財閥ガ解體スル今日ハ寧ロ勞働攻勢ニ變リツ、アルト思フノデアリマス、資本攻勢ト云フヨリモ勞働攻勢ヲ執リツツアルト云フノガ今日ノ實情デアリマス、此ノ重大ナル組合組織及ビ勞働者ノ自覺ニ基カカスカハ別ト致シマシテ、勞働組合ガ出來、今日マデノ勞働運動ノ經過ヲ見マス、私ハ荒畑氏ガ言ハレルヤウニ外國デ見ラレルガ如キ勞働運動デナク致シマシテ、洵ニ地ニ着カザル勞働運動ノ姿ヲ私ハ今日見テ居ルノデアリマス、其ノ一ツハ御存ジノ通りニ總同盟ノ松岡氏ガ此處ニ居ラレマシテ、比較的長イ間ノ御經驗ヲ持タレテ、「アメリカ」ノ總同盟ニ於ケル所ノ姿ハ私ハ是ハ妥當ダト思フノデアリマス、勞組及ビ今日産別ノ勞働運動ニ對シマスル指導者ガ、所謂一ツノ思想ノ上ニ立ツテ地下工作ヲナシ、地下運動ヲ以テ終始致シテ居ルト云フ實情ヲ私ハ見ザルヲ得ナイノデアル、此ノ「フラクシオン」組織ニ對スル將來ノ勞働問題ニ對シマシテハ十分我々モ監

視致シマス、政府當局ト致シニハ之ニ思ヒヲ深クセラル、必要ガアルト思フノデアリマス、質問ノ第二點ト致シマシテハ、此ノ政治進出ヲナシツ、アル地下工作ニ對シテ政府ハ如何ナル對策ヲ持ツテ居ルカ、之ヲ私ハ御質問シタイト思フノデアリマス

○河合國務大臣 勞働組合ガ主要目的ヲ離レテ餘リニ政治運動化スルコトハ好マシクナイコトダト思ツテ居リマス、併シ政治運動ニ關係スルコトヲ取締ル考ヘハ持チマセヌ、尙ホ少數ノ者ハ特ニ利己的考ヘテ持チマシテ多數ヲ巧ミニ指導シテ行クコトハ「デモクラシー」ノ本體デハナカラウト云フコトニ於テ好マシイモノトハ考ヘテ居リマセヌ、又只今御指摘ノヤウナ色々ノ運動ニ對シテハ、一面ニ於テ憲法ニ保障セラレタ思想ノ自由ト云フ點ハ、今度終戦後日本ノ國ガ「デモクラシー」ニスツカリ變ツテヤツテ行ク上ニ於テ最モ尊重スベキ所デアリ、是ハ徹底的ニ守ツテ行カナクテハナラヌコトデアリマス、色々政治運動ノ實際ノ面ニドウ云フ問題ガ起キ、ソレニドウ云フコトガ起キルカ、ソレニ對シテドウ云フ取締方針ヲ採ルカト云フ御質問ニ對シテハ色々具體的ナ場合デナイト申上ガ兼ネマスガ、大體ニ於テ思想ノ自由ト云フコトノ憲法上ノ精神ヲ尊重スルト云フコトヲ前提トシテ適當ノ措置

ヲ採ツテ行クト云フコトヨリ外ニ申上ガヤウガナイノデアリマス

○原(傳)委員 第三ハ失業問題デアリマス、之ニ付テハ前委員カラ御質問ガアリマシタカラ私ハ唯一點希望トシテ申上ガテ置キマス、金ヲヤレバ何トカ一時事が收マルト云フ失業對策ハ止メナケレバナラヌト思ヒマス、今日失業者ニナツテ居ル海外同胞引揚者ニシテモ、其ノ他我ガ民族ノ血ノ通フ人達ノ中ニ於テハ、金ヲ貰ツテ其ノ日ノ生活ヲ弄ブト云フ觀念ノ者ハ比較的少イノデアリマシテ、働ク職ヲ與ヘテ貰ツテ生キテ行キタイ、斯ウ云フ觀念ヲ引揚同胞者モ其ノ他ノ失業者モ持ツテ居ルト思フ、同時に引揚同胞者ハ特ニ長イ間海外ニ於テ命ヲメニヤツタ人達デアリマス、此ノ人達ノ意氣ヲ買フベキモノハ此處ニアリマス、唯千圓ヤルトカ三百圓ヤルトカ云フコトノミニ依ツテ失業問題ガ解決スルト云フ感ジヲ全面的ニ捨テラレテ、生キタ人間ヲ如何ニシテ指導スルカ、此ノ精神ヲ如何ニ昂揚スルカト云フコトニ是非御著眼ヲ願ヒタイト思ヒマス

第四ハ勞働委員會デアリマス、中央勞働委員會ヲ見マス、御存ジノ通りニ中立、使用者、勞働者ノ中ニハ殆ド松岡サン、西尾サン、荒畑サン、徳田球一君マデ入ツテ居リマス、ハツキリ言ヒマス、ト勞働者ノ本當ノ代表者デアレバ

別デアリマスガ、寧ろ政黨代表者ヲ出シテ居ルト云フヤウナ感ガ私ハ深イト思フ、此ノ第八條ニ「各ミノ過半数の同意がなければならぬ」と云フコトガ書イテアリマ

スガ、「各ミノ過半数」と云ヒマスト、勞働者ノ代表者モ過半数、中立モ過半数、使用者モ過半数デアル、私ハ此ノヤウナ條文ヲ初メテ見タ、恐ラク多數決ト云フコトニナルト、十五人デアレバ七人、八人ニ分レル、奇數ニナツテ居

ル、ドコノ條文ヲ見テモ「各ミ」ト云フヤウナ協議體ハ初メテ見ル、此ノ「各ミ」ヲ取ル必要ガアルヤウニ考ヘル、恐ラク斯ノ如キ狀態デハ纏マリニクイ、全部ガ賛成シナケレバ出來ニクイ狀態ニナツテ、中々決議ガムツカシイノデハナイカト思フ、此ノ點ニ付テ御答辯願ヒタイ

○河合國務大臣 第一點ノ失業者ニ對スル御注意、御希望ハ御尤モデアリマシテ、御話ノ通り、日本人ハ唯金ヲ貰フト云フコトデ満足スル國民デアリマセヌ、ドウシテモ働キタイト云フコトヲ熱心ニ希望シテ居ル國民デアリマスカ

ラ、其ノ線ニ沿ツテヤツテ行クコトニ出來ルダケ注意致シマス
次ノ問題ハ勞働委員會ノ第八條第三項ノ過半数ト云フ問題デアリマスガ、御話ノ通り勞働委員會ノ集團的ノ意思ヲ茲ニ一ツトシテ認メナガラ、更ニソレヲ三ツノ「フ

ラグメント」ニ分ケテ、其ノ「各ミノ過半数」ト云ツタノハ形ノ上ニ於テハドウモ意思ノ分裂ヲ來シタヤウナ外見ノアルコトハ御話ノ通りデアリマス、一寸立法トシテハ珍ラシイ立法ダト云フ風ニ考ヘマス、併シナガラ是ハ物事ヲ慎重ニスル必要デ、特ニ斯ウ云フ方法ヲ取ツタノデアリマスカラ、其ノ點御諒察願ヒタイと思ヒマス

○原(傳)委員 第三十八條デアリマスガ、團結權ヲ持ツタケレドモ爭議權ヲ持タナイト云フ官吏ニ對シテ、教職員ニ爭議權ヲ與ヘナガラ、官吏ニ之ヲ與ヘナイト云フコトハ撞着モ甚シイト考ヘル、併シナガラ全文ヲ見テ主體ニナルノハ何處カト思フト、是ガ分レル所デア

アル、ドウシテモ爭議權ヲ與ヘルコトガ出來ナケレバ、他ニ方法ヲ何カ考ヘヨウト云フコトデハ、私ハ駄目ダト思フ、ドウシタラ宜イカト云ヘバ、斯ウシタラドウカト考ヘルモノヲ申上ゲテ置キタイ、内閣ニ生活ヲ保障シ裏付ケル委員會ヲ作ル意思ガアルカドウカ、各省ニ於ケル團結權ヲ持ツタ代表者及ビ第三者共ノ他ニ於テ首肯セラ

ルベキ委員會ヲ作りマシテ、爭議權ノ代リニスル、其ノ意思ガ政府ニアルカドウカ、是ガナケレバ、恐ラク爭議權ヲ要求スルコトハ當リ前ダト私ハ考ヘル、此ノ點ニ付テ厚生大臣ノハツキリシタ御答辯ヲ願ヒタイ

○河合國務大臣 教職員ト官吏トノ區別ヲ致シマシタ所以ハ、前ニ御説明申上ゲタ通り、官吏ガ「ゼネスト」ヲヤルト、國務ガ停滯シテ、政府ノ運命ニ係ハルト云フコトニ直グナツテ來ル、併シナガラ教職員ノ「ストライキ」ハ好マシイコトデハナイガ、ソレヲヤツタト云フコトデ、直チニ國務ノ停滯ニナラヌト云フコトニ區別ヲ求メマシテ是ガ教職員ヲ書カナカウタ意味デアリマス、官吏ノ生活保障ノ問題ニ付テ委員會ヲ設ケルカト云フ御説デアリマシタガ、此ノ點ハ官吏ノ「ストライキ」ヲ禁止致シマシタ以上ハ國民全般ニ政府ハ生活保障ノ責任ヲ持ツテ居ルトハ申シナガラ、特ニ爭議權ノナイ官吏ニ付テ考ヘテ行カナクチャナラヌト云フコトニ付キマシテハ深ク考ヘテ居ル點デアリマスカラ、何等カノ方法ニ依ツテ御考ヘノヤウナ線ニ沿ウタコトヲヤリタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○原(傳)委員 アト三分ゴザイマスルカラモウ一ツ申上ゲテ置キマス、生産管理ノ問題デアリマスルガ、是ハ松岡先輩ガ言ハレルヤウニ、所謂生産「サボ」及ビ生産逃避ト言ヒマセウカ、サウ云フ狀態ガ起ツタ時ニ於ケル勞働者ノ立場、生活權ノ擁護ト云フモノニ對シマシテハ、私ハ生産管理ニ對スル所ノ同情ヲ禁ゼザルヲ得ナイノデアリマス、併シナガラ之ニ對シテ司令部カラ七月十六日デアリマスルガ、生産管理ハ財産ノ占守占有デアリ、事實上ノ無償沒收ニ外ナラズ、財産權ニ關スル法律、即チ正當ナル補償ヲ付シテハ財産ヲ押收シ得ズト云フ法律ヲ蹂躪スルモノデア

アル、我々ノ知ル限りデハ世界ノ如何ナル國ニ於テモ財産ノ無償沒收ヲ許ス規定ハナイ、「ソ」聯ニ於テスラスカル規定ガアリ、或ハ許容サレテ居ルト云フコトハ恐ラクナイト思フト云フト司令部ガハツキリ言ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ線ニ沿ツタ生産管理ノ否定デア

アルカドウカ、或ハソレ以外ニ或ル程度ヲ認メテ、何カノ方法ニ依ツテ生産管理ト云フモノヲ認メルカドウカ、此ノ點ニ付キマシテ質問ヲシタイト思フノデアリマス

○河合國務大臣 其ノ司令部ノ發表ノ趣旨ノ通りニ政府トシテ考ヘテヤツテ居リマス

○原(傳)委員 二十分參リマシタカラ御約束ニ依ツテ質問ヲ打切りマス、私ハ二時間デモ三時間デモ質問スベキ材料ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、最後僅カニ二十分間ニ御質問ヲシマシテ、唯一ツ満足ニ感ズルノハ、官吏ニ對スル生活保障ヲスル所ノ委員會ヲ作ツテ戴キタイ、其ノ線ニ沿ヒタイト云フ所ノ御意見ニ對シマシテ洵ニ満足スル所デアリマス、是ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○達澤委員長 此ノ際委員諸君ニ御諮リ致シマスガ、委員外ノ布利秋君カラ質疑ガ致シタイトノ旨ノ申出ガアルノデアリマス、併シナガラ既ニ時間モ非常ニ經過致シテ居ル時デアリマスルカラ一應ノ御斷リハ申上ゲタノデアリマスルガ、唯時間ガ二分カ三分ト云フヤウナ申出デアリマスルノデ餘リ短時間ノコトデゴザイマスルシ、折角ノ御申込デアリマスルカラ皆サシニ御諮リ致シマス、如何デゴザイマセウカ、ソレデハ布サン、約二、三分ノ豫定御願ヒシマス

○布利秋君 最後ノ委員會ト聞キマシタノデ、一寸述べサシテ戴イテ贊否ヲ決定サセテ戴キタイ、私ハ制度ト義務ト云フ問題ニ付テ二分間ダケ觸レタイト云フ譯デアリマス、第一トシマシテハ、外國ノ「ストライキ」ヲ平面的ニ御研究ニナツテ詰リ制度ノミヲ御研究ニナツテ、實際的ナ「ストライキ」ノ現狀、其ノ狀態ヲ平面的ニ立體的ニ御研究ニナツテ居ツテ、サウシテ此ノ法案ガ出來タノデア

アルカ、先ヅ私ノ意見トシテ述バマス、詰リ外國ノ工場デハ、特ニ「ストライキ」ノ模範的ナルモノハ「アメリカ」ヲ指イテ以外ニ現狀ニ於テハナイ、シテ見レバ、勞働者ガ働キマス時ニハ話サナイ、煙草ヲ喫マナイ、油ヲ賣ラナイ、絶對的ニ勞働ノ時間ダケハハツキリト守ルガ、時間ガ來タラバ一

秒ヲ間ハズ引揚ゲルト云フ組織アル正シイ勞働ノ狀態ヲ審サニ河合サンハ御研究ニナリマシタカ、サウシテ此ノ勞働法案ヲ作り出サウト云フ氣持が出タノデスカ、ソレカラ「ストライキ」ト云フ命令ノ下ル時ヲ屢ミ見テ來マシタガ、一ツノ暗號が出マスレバ、自分ガ機械ノ場所ニ居ルトスレバ、ドンドン仕事ヲシテ居ル時ニ汽笛ガ鳴レバ、其ノ時ニ若シ「ハンマー」ヲ持ツテ居ルトシタラ、時間限リバツタリ落シテシマツテ置タ、サウシテ油ヲ後カラ拭イテ行クト云フコト、如何ニ忠實ニ機械ニ對シテ自分ノ生活ヲ維持スル「パン」デアルト云フ上カラシテ、此ノ機械ヲ守ツテ行クト云フ義務的觀念ヲ御研究ニナツタカ、器物ヲ愛スルト云フコトハ詰リ自分ノ生命デアルト云フ建前カラ出テ居ルト私ハ見ル、アト一點、「ストライキ」ニナリマス、實ニ秩序整然タルモノガアル、亂暴ヲシナイ、歌ダケハ唱ヒマス、斯ウシタコトヲ能ク御考ヘニナツテ一體此ノ法案ヲ作ラウト云フ所ニ立至ツタモノカ、勞働ト資本ト云フモノガドウモ日本ニハ餘リニドチラモ封建的デアルヤウナ感じヲ私ハ受ケマス、オ互ヒニ譲リ合ハナイ、ソコニ教育ノ差ガアルと思フ、「アメリカ」ノ教育ト云フモノト日本ノ教育ト云フモノニ差ガズツトアツテ來マシタカラ、「アメリカ」人

ハ自主的ニ建前ヲ置イテ決シテ煽動ニ乘ラナイ、他人ガドウ言フカラ俺ハ煽動サレルト云フコトハ敢テ目ヲ辱シメルモノトシテ居ル、日本ノ場合ハ一體厚生大臣ドウ御考ヘニナルノデスカ、サウ云フ建前ヲ十分ニ御考ヘニナツテ、サウシテ是ガ一番良イ法律デアルト云フノ立案サレタノデアアルカ、質問ダカラ斯ウ云フ風ニ申上ゲルノデスカ、ソレデ私ノ最後ノ一言ハ、協調シテデナケレバドウシテモ日本ノ再建ハ出來ナイモナダト思フ、ソレデ是ダケノコトヲ丁度二分半言ハシテ戴イタ、御約束通りノ時間ガ來マシタカラ止メマスガ、若シ出來マスコトナラバ河合厚生大臣ハドノ程度ノ研究ガサレテ居ツタカ、君ヨリモモツトシテ居ツタト仰シヤルナラ一ツ仰シヤツテ戴キタイ

○河合國務大臣 私ハ古ク「アメリカ」ニ參ツテ、「アメリカ」ノ工場ヲ見タコトモアリマス、ソレカラ多少「アメリカ」ノ本ヲ讀ミマシテ「ストライキ」ノ狀況ナドヲ書物デ見タコトガアル程度デアリマシテ、斯ウ云フ問題ニ對シテ今御尋ネノコトノ自信ヲ持ツタ人間デハナイノデアリマス、併シ此ノ法律ハズツト前カラ色々専門家

ニ依ツテ研究サレマシテ、役所ニモ随分分ツタ人ガ澤山居リマシテ、サウシテソレデズツト築キ上ゲタ儘此ノ現内閣ニナリマシテ引

繼イデ茲ニ提案シタ意味デアリマシテ、私ハ極メテ淺イデスケレドモ、全般ニ付イテサウ云フモノヲ能ク考ヘテ、日本ノ國情ニ合ハセテ作ラレタ法律ナリト信ジテ居リマス

○達澤委員長 是ヲ以テ本案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、討論採決ノ日時ハ追ツテ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、委員各位竝ニ政府當局ハ連日ニ互リ、且ツ長時間ニ互リマシテ御努メ下サイマシタコトニ對シテ茲ニ厚ク御禮ヲ申上ゲマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後七時五分散會

昭和二十一年九月十一日印刷

昭和二十一年九月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局